



下水道モニター

平成 30 年度 第 4 回アンケート結果

目 次

1. 調査の概要	1
2. 結果の概要	2
2.1 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』について	2
2.1.1 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への理解度	2
2.1.2 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』の各施策への理解度が低い理由	2
2.1.3 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への評価	2
2.1.4 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』の各施策への評価が低い理由	2
2.1.5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への期待度	2
2.1.6 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』に対する感想や意見	2
2.2 下水道モニターの感想について	3
2.2.1 下水道モニターアンケートの頻度	3
2.2.2 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ	3
2.2.3 下水道モニターアンケートがわかりにくい（答えにくい）理由	3
2.2.4 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価	3
2.2.5 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価が低い理由	3
2.2.6 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について	4
2.2.7 下水道モニターになってからの意識や行動の変化	4
2.2.8 下水道モニターの感想	4
2.2.9 下水道モニターに関しての感想や意見	4
3. 回答者属性	5
4. 集計結果	7
4.1 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』について	7
4.1.1 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への理解度	7
4.1.1.1 【区部の下水道、多摩の下水道】への理解度	8
4.1.1.2 【再構築】への理解度	9

4.1.1.3	【浸水対策】への理解度	10
4.1.1.4	【震災対策】への理解度	11
4.1.1.5	【コラム① 「難しい！」東京の下水道工事】への理解度	12
4.1.1.6	【合流式下水道の改善】への理解度	13
4.1.1.7	【高度処理】への理解度	14
4.1.1.8	【エネルギー・地球温暖化対策】への理解度	15
4.1.1.9	【東京下水道の「応援団」の獲得】への理解度	16
4.1.1.10	【コラム②東京下水道の「見える化」】への理解度	17
4.1.1.11	【企業努力と財政収支】への理解度	18
4.1.1.12	【コラム③解説！下水道事業の財政のしくみ】への理解度	19
4.1.1.13	【事業指標の達成状況一覧】への理解度	20
4.1.1.14	【事業効果の状況】への理解度	21
4.1.2	『東京都下水道事業 経営レポート 2018』の各施策への理解度が低い理由	22
4.1.3	『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への評価	24
4.1.3.1	【再構築】への評価	25
4.1.3.2	【浸水対策】への評価	26
4.1.3.3	【震災対策】への評価	27
4.1.3.4	【合流式下水道の改善】への評価	28
4.1.3.5	【高度処理】への評価	29
4.1.3.6	【エネルギー・地球温暖化対策】への評価	30
4.1.3.7	【東京下水道の「応援団」の獲得】への評価	31
4.1.3.8	【企業努力と財政収支】への評価	32
4.1.4	『東京都下水道事業 経営レポート 2018』の各施策への評価が低い理由	33
4.1.5	『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への期待度	36
4.1.5.1	【再構築】への期待度	37
4.1.5.2	【浸水対策】への期待度	38
4.1.5.3	【震災対策】への期待度	39
4.1.5.4	【合流式下水道の改善】への期待度	40
4.1.5.5	【高度処理】への期待度	41
4.1.5.6	【エネルギー・地球温暖化対策】への期待度	42
4.1.5.7	【東京下水道の「応援団」の獲得】への期待度	43

4.1.5.8	【企業努力と財政収支】への期待度.....	44
4.1.6	『東京都下水道事業 経営レポート 2018』に対する感想や意見	45
4.2	下水道モニターの感想について	48
4.2.1	下水道モニターアンケートの頻度	48
4.2.1.1	下水道モニターアンケートの頻度【実施数（4回／年）】	49
4.2.1.2	下水道モニターアンケートの頻度【設問数（15～20問）】	50
4.2.1.3	下水道モニターアンケートの頻度【実施期間（約2週間）】	51
4.2.1.4	下水道モニターアンケートの頻度【実施間隔（約2か月ごと）】	52
4.2.2	下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ	53
4.2.3	下水道モニターアンケートがわかりにくい（答えにくい）理由	54
4.2.4	下水道事業に広く関心をもっていたいただくための取組への評価.....	56
4.2.4.1	【メールマガジン】への評価	57
4.2.4.2	【施設見学会】への評価	58
4.2.5	下水道事業に広く関心をもっていたいただくための取組への評価が低い理由	59
4.2.6	下水道モニターアンケート終了時の謝礼について	61
4.2.7	下水道モニターになってからの意識や行動の変化	62
4.2.8	下水道モニターの感想.....	67
4.2.9	下水道モニターに関しての感想や意見	68

1. 調査の概要

(1) 調査目的

第4回アンケートでは、『東京都下水道事業 経営レポート2018』に対するご意見と、下水道モニターの感想等を把握するために実施した。

(2) 調査対象

- ① 調査対象：東京都下水道局「平成30年度下水道モニター」
* 東京都在住20歳以上の男女個人
- ② 調査対象の数：781名
- ③ 調査対象の抽出：インターネット上から「平成30年度下水道モニター」を募集

(3) 調査方法

インターネットによる自記式アンケート

(4) 回答回収率

モニター件数	： 781名
回答者数	： 404名
回答率	： 51.7%

(5) 調査項目

- ① 『東京都下水道事業 経営レポート2018』について
- ② 下水道モニターの感想について

(6) 調査期間

平成30年12月3日（月）～ 平成30年12月16日（日）

(7) 集計上・表記上への注意事項

- ① 本文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率（%）は全て「n」を基数として算出している。また、比率を小数点第二位で四捨五入し「0.0%」となる項目については、グラフ上の表記を省略する。
- ② 本文中の性別、年代、地域、子供と同居有無別分析において、性別、年代、地域、子供と同居それぞれにおける「無回答」「不明」は省略する。

2. 結果の概要

2.1 『東京都下水道事業 経営レポート2018』について

2.1.1 『東京都下水道事業 経営レポート2018』への理解度

『東京都下水道事業 経営レポート2018』の理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』の割合は、「1. 【区部の下水道、多摩の下水道】」が82.7%と最も高く、次いで「5. 【コラム① 「難しい！」東京の下水道工事】」が79.7%となった。一方、実施内容が見えづらい施策では理解度が低い傾向があり、「11. 【企業努力と財政収支】」は59.9%と最も低い結果となった。

2.1.2 『東京都下水道事業 経営レポート2018』の各施策への理解度が低い理由

『東京都下水道事業 経営レポート2018』への理解度が低い理由について、「理解できた/ほぼ理解できた」が54.8%と最も高く、次いで「専門用語が多く内容が難しい」が10.4%となった。

2.1.3 『東京都下水道事業 経営レポート2018』への評価

『東京都下水道事業 経営レポート2018』への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』の割合は、「2. 【浸水対策】」が74.0%と最も高く、次いで「3. 【震災対策】」が68.1%、「5. 【高度処理】」が67.9%となった。一方、「8. 【企業努力と財政収支】」は53.2%となり、理解度と同様に、実施内容が見えづらい施策では評価も低い傾向となった。

2.1.4 『東京都下水道事業 経営レポート2018』の各施策への評価が低い理由

『東京都下水道事業 経営レポート2018』の各施策への評価が低い理由について、「(選択肢がない区分だが)高い評価」が60.4%と最も高く、次いで「その他」が22.5%、「内容が分かりづらい」が9.9%となった。

2.1.5 『東京都下水道事業 経営レポート2018』への期待度

『東京都下水道事業 経営レポート2018』への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』で「2. 【浸水対策】」が78.5%と最も高く、次いで「3. 【震災対策】」が76.3%、「1. 【再構築】」と「5. 【高度処理】」が同率で72.8%となっている。一方、理解度や評価と同様に、実施内容が見えづらい施策では期待度も低い傾向にあり、「8. 【企業努力と財政収支】」は54.9%と最も低い結果となった。

2.1.6 『東京都下水道事業 経営レポート2018』に対する感想や意見

『東京都下水道事業 経営レポート2018』に対する感想や意見については、「活動に期待している/がんばってください等の激励や感謝」の割合が24.4%と最も高く、次いで「知ることができてよかった/理解することができた」の割合が17.2%となった。

2.2 下水道モニターの感想について

2.2.1 下水道モニターアンケートの頻度

下水道モニターアンケートの頻度について、「1.【実施数（4回／年）】」では、「適当」の割合が82.4%と最も高く、次いで「少ない（短い）」が15.1%、「多い（長い）」が2.5%となった。

「2.【設問数（15～20問）】」では、「適当」の割合が80.7%と最も高く、次いで「多い（長い）」が18.6%、「少ない（短い）」が0.7%となった。

「3.【実施期間（約2週間）】」では、「適当」の割合が84.2%と最も高く、次いで「少ない（短い）」が10.6%、「多い（長い）」が5.2%となった。

「4.【実施間隔（約2か月ごと）】」でも、「適当」の割合が85.4%と最も高く、次いで「少ない（短い）」が9.4%、「多い（長い）」が5.2%となった。

下水道モニターアンケートの頻度については、多くのモニターが適当と考えていることがわかった。

2.2.2 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ

下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさについては、「わかりやすい」が63.9%、「わかりにくい」が16.8%、「どちらとも言えない」が19.3%となった。

男女別にみると、「わかりやすい」の割合は、男性が65.5%、女性が62.0%となり、男性が女性より3.5ポイントと若干高い結果となった。

年代別にみると、「わかりやすい」の割合は、50歳代が70.5%と最も高く、次いで60歳代が68.0%、20歳代が66.7%となった。一方、70歳以上は50.0%と低く、今後の課題となった。

地区別にみると、「わかりやすい」の割合は、23区部が65.7%、多摩地区が61.2%となり、23区部が多摩地区より4.5ポイント高い結果となった。

2.2.3 下水道モニターアンケートがわかりにくい（答えにくい）理由

下水道モニターアンケートがわかりにくい（答えにくい）理由について、「資料の専門用語や内容が難しい」が18.8%と最も多く、次いで「設問や資料をよく読まない/時間がかかる」が17.5%となった。

2.2.4 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価

下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価について、

1.「【メールマガジン】」では、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が62.9%、「どちらとも言えない」が32.9%、「やや低い評価」と「極めて低い評価」を合わせた『低い評価』が4.2%となった。

一方、「2.【施設見学会】」では『高い評価』が62.4%、「どちらとも言えない」が32.9%、『低い評価』が4.7%となった。

2.2.5 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価が低い理由

【メールマガジン】の評価が低い理由は、「興味がわからない」が13.2%と最も高く、次いで「文字が多い」が10.5%となった。

【施設見学会】にて評価が低い理由は、「都合がつかず参加できなかった」が26.4%と最も高く、次いで「参加していない」が18.9%となった。

2.2.6 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について

下水道モニターアンケート終了時の謝礼について、「適当である」の割合が 86.7%と最も高く、次いで「少ない」が 9.9%、「必要ない」が 2.2%、「多い」が 1.2%となった。

男女別にみると、「適当である」の割合は、男性が 84.5%、女性が 89.1%となり、女性が男性に比べ 4.6 ポイント高い結果となった。

年代別にみると、どの年代も「適当である」の割合が 8 割を超えたが、中でも 60 歳代が 93.4%と最も高く、次いで 70 歳以上が 89.6%、50 歳代が 87.5%となり、50 歳代以上で高い結果であった。

地区別にみると、「適当である」の割合は、23 区部が 87.9%、多摩地区が 84.9%となり、23 区部が多摩地区より 3.0 ポイントと若干高い結果となった。

2.2.7 下水道モニターになってからの意識や行動の変化

下水道モニターになってからの意識や行動の変化について、「油污れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」の割合が 56.2%と最も高く、次いで「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」が 50.5%、「使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった」が 39.6%となった。

地区別にみると、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」の割合は、23 区部が 52.3%、多摩地区が 47.9%となり、23 区部が多摩地区より 4.4 ポイントと若干高く、「使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった」でも、23 区部が 41.0%、多摩地区が 37.6%と、23 区部が多摩地区より 3.4 ポイント高かった。一方、「トイレの水を流すときは、「大」と「小」を使い分けるようになった」の割合は、23 区部が 29.7%、多摩地区が 32.7%となり、23 区部が多摩地区より 3.0 ポイントと若干低い結果となった。

2.2.8 下水道モニターの感想

下水道モニターの感想について、「満足している」が 80.4%、「不満足である」が 3.0%、「どちらとも言えない」が 16.6%となった。

年代別にみると、「満足している」の割合は 20 歳代が 93.3%と最も高く、次いで 30 歳代が 89.8%、50 歳代が 84.1%となった。

2.2.9 下水道モニターに関する感想や意見

下水道モニターに関する感想や意見では、「下水道について関心・興味を持つようになった」の割合が 12.0%と最も高く、次いで「勉強になった」が 11.6%、「下水道について知ることができてよかった」が 11.2%となった。

3. 回答者属性

第4回モニターアンケートは、平成30年12月3日(月)から12月16日(日)までの14日間で実施した。その結果、404名の方から回答があった。(回答率51.6%)

■ 回答者数(性別、年代別、職業別、地区別)

性別	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
男性	220	419	52.5%	54.5%
女性	184	362	50.8%	45.5%
合計	404	781	51.7%	100.0%

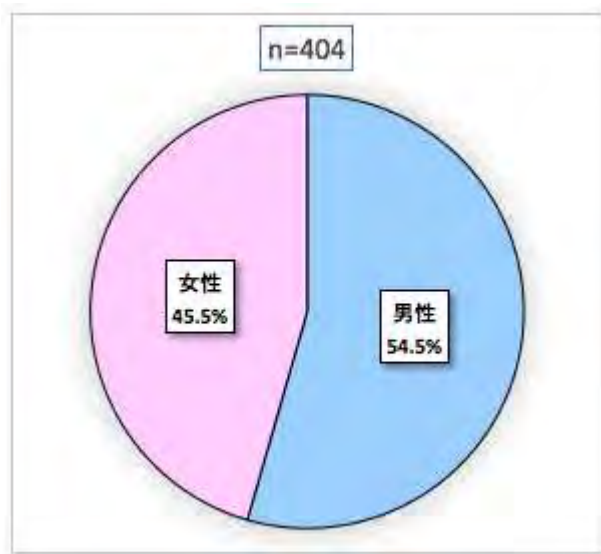
年代	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
20歳代	15	44	34.1%	3.7%
30歳代	59	117	50.4%	14.6%
40歳代	119	250	47.6%	29.5%
50歳代	88	159	55.3%	21.8%
60歳代	75	131	57.3%	18.6%
70歳以上	48	80	60.0%	11.9%
合計	404	781	51.7%	100.0%

地域	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
23区部	239	467	51.2%	59.2%
多摩地区	165	314	52.5%	40.8%
合計	404	781	51.7%	100.0%

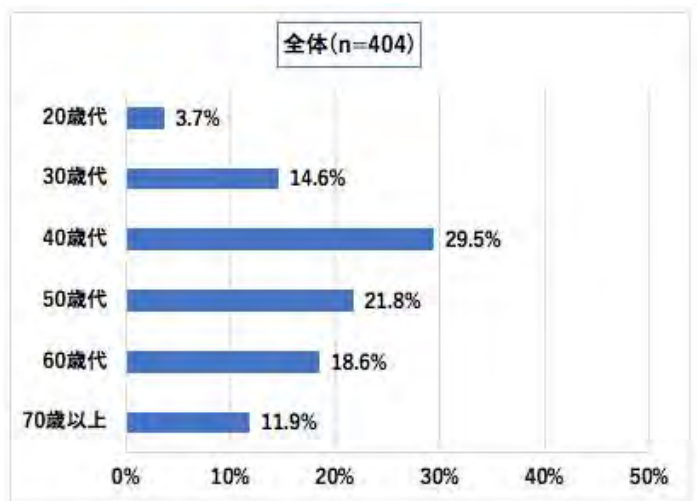
職業	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
会社員	178	337	52.8%	44.1%
自営業	29	56	51.8%	7.2%
学生	2	12	16.7%	0.5%
私立学校教員・ 塾講師	6	12	50.0%	1.5%
パート	36	74	48.6%	8.9%
アルバイト	9	19	47.4%	2.2%
専業主婦	74	143	51.7%	18.3%
無職	56	97	57.7%	13.9%
その他	14	31	45.2%	3.5%
合計	404	781	51.7%	100.0%

■ 回答者属性別グラフ

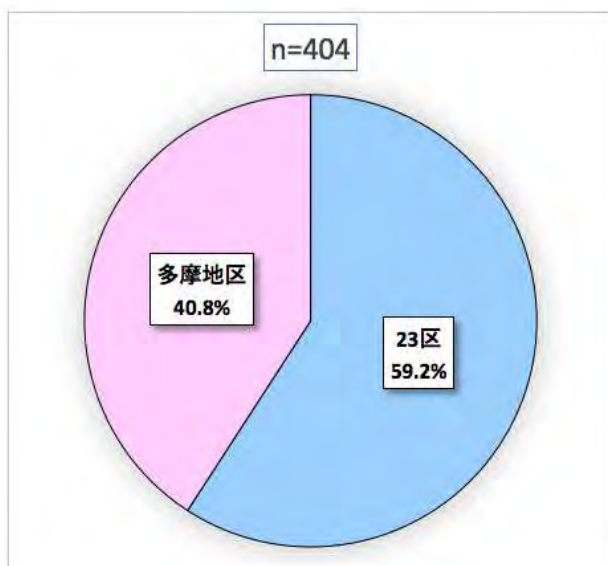
<性別>



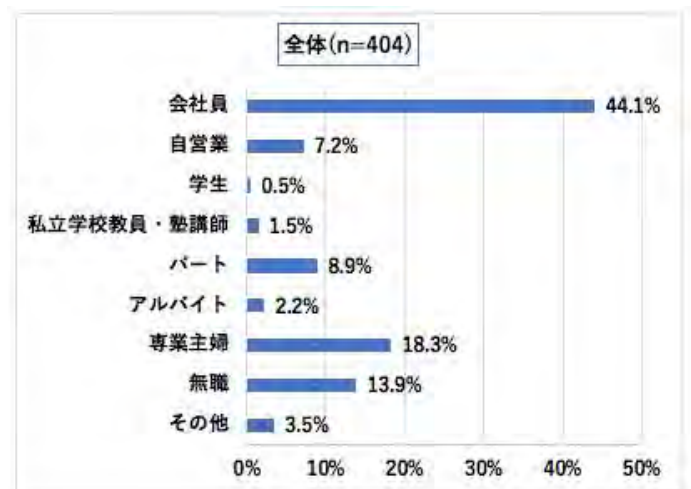
<年代別>



<地区別>



<職業別>



4. 集計結果

※ 文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率（%）はすべて「n」を基数（100%）として算出している。

※ 年代別集計結果において、20歳代母数は30未満の為、コメントを省略した。

4.1 『東京都下水道事業 経営レポート2018』について

4.1.1 『東京都下水道事業 経営レポート2018』への理解度

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート2018』の理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』の割合は、「1.【区部の下水道、多摩の下水道】」が82.7%と最も高く、次いで「5.【コラム①「難しい！」東京の下水道工事】」が79.7%となった。一方、実施内容が見えづらい施策では理解度が低い傾向があり、「11.【企業努力と財政収支】」は59.9%と最も低い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

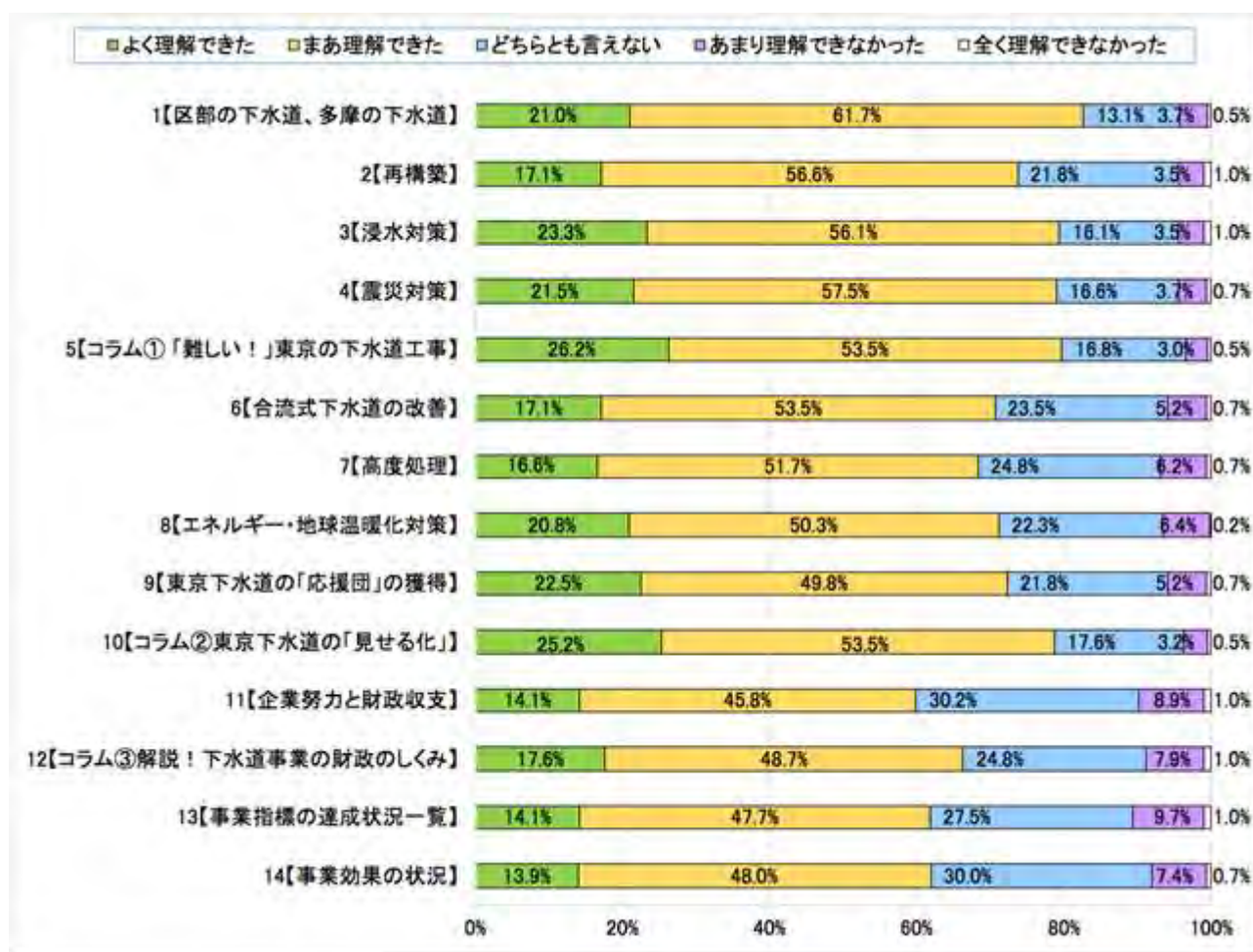


図4-1-1 『東京都下水道事業 経営レポート2018』への理解度

4.1.1.1 【区部の下水道、多摩の下水道】への理解度

- ◆ 【区部の下水道、多摩の下水道】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が82.7%、「どちらとも言えない」が13.1%、「あまり理解できなかった」が3.7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』の割合は、男性、女性ともに82.7%で、男女間で差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』の割合は、60歳代が最も高く92.0%となったが、『理解できた』の割合と年代との間に相関は見られなかった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』の割合は、23区部が83.3%、多摩地区が81.9%となり、23区部と多摩地区の間で差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

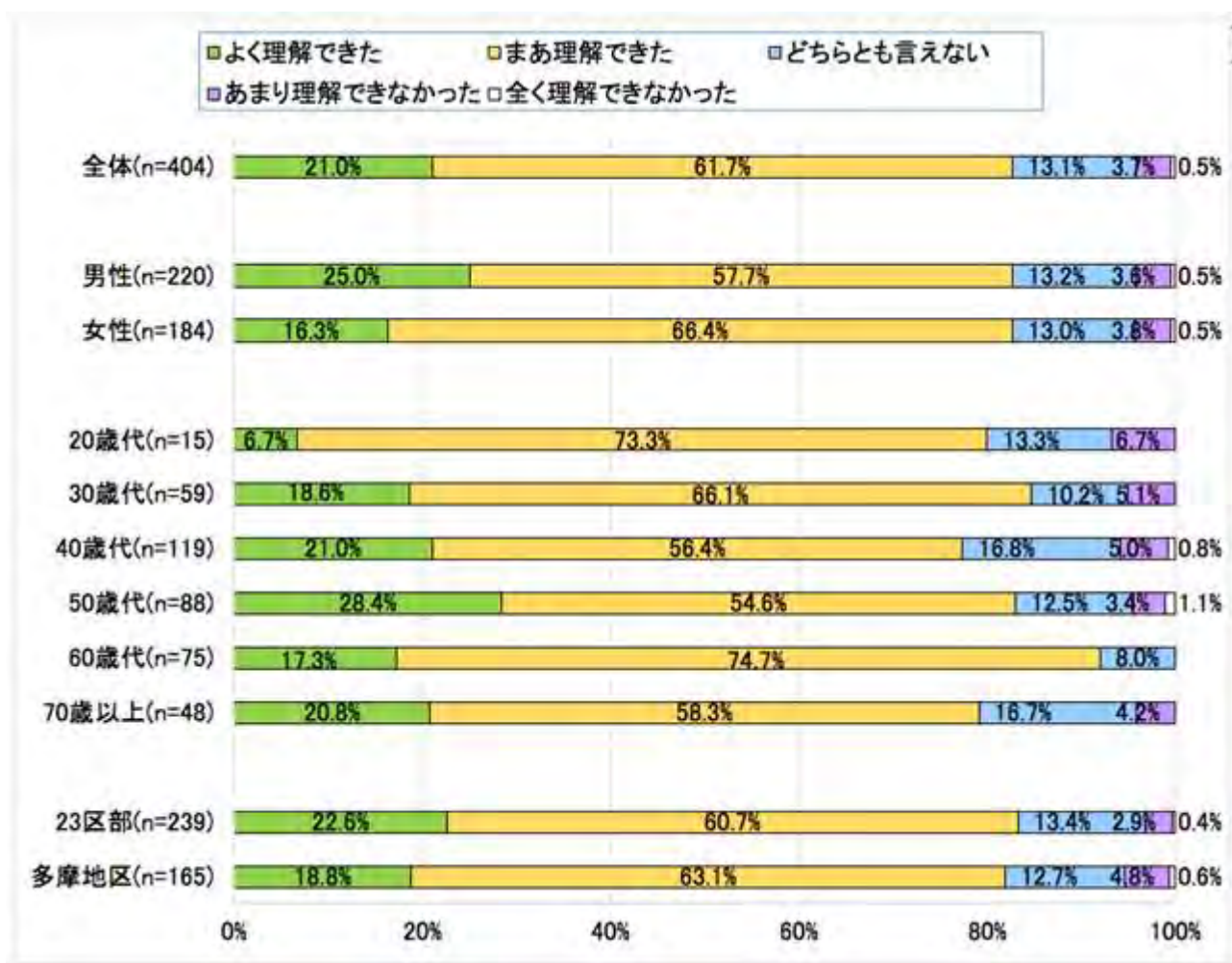


図4-1-1-1 【区部の下水道、多摩の下水道】への理解度

4.1.1.2 【再構築】への理解度

- ◆ 【再構築】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が73.7%、「どちらとも言えない」が21.8%、「あまり理解できなかった」が3.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が72.3%、女性が75.6%となり、大きな差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』は60歳代が最も高く80.0%となった。また、60歳代は、「【区部の下水道、多摩の下水道】への理解度」の結果と同様に、「あまり理解できなかった」、「全く理解できなかった」を合わせた『理解できなかった』の割合が0.0%となり理解度が高かった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』の割合は、23区部が76.2%、多摩地区が70.4%となり、23区部が多摩地区に比べ5.8ポイントと若干高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

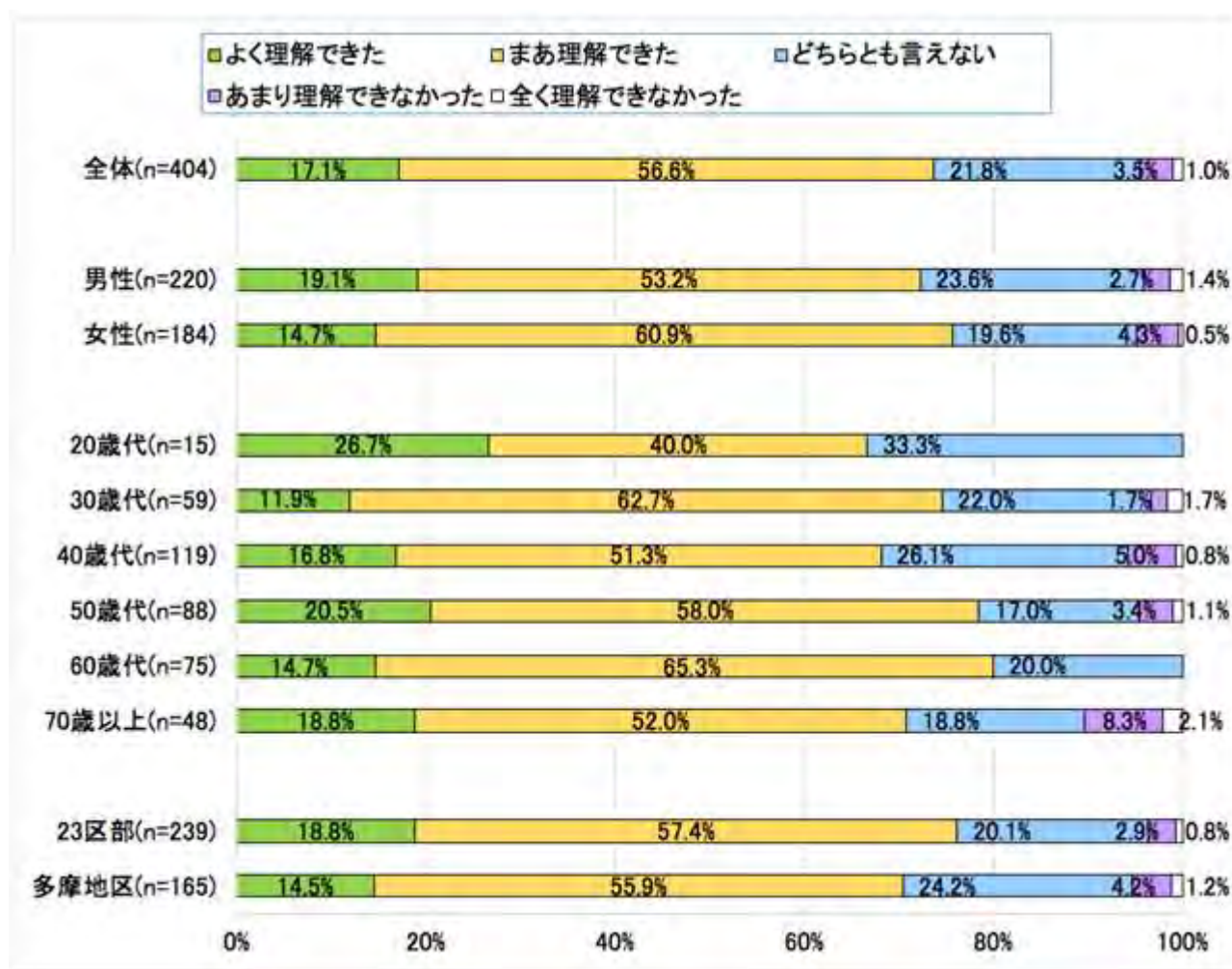


図4-1-1-2 【再構築】への理解度

4.1.1.3 【浸水対策】への理解度

- ◆ 【浸水対策】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が79.4%、「どちらとも言えない」が16.1%、「あまり理解できなかった」が3.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が76.8%、女性が82.7%となり、女性が男性に比べ、5.9ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』は50歳代が最も高く87.5%となった。一方、働いている人が多いと思われる30歳代と40歳代では、他の年代に比べ『理解できた』の割合が低く、これらの世代へのPR方法が今後の課題と考えられた。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が81.2%、多摩地区が77.0%となり、23区部が多摩地区に比べ4.2ポイント高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

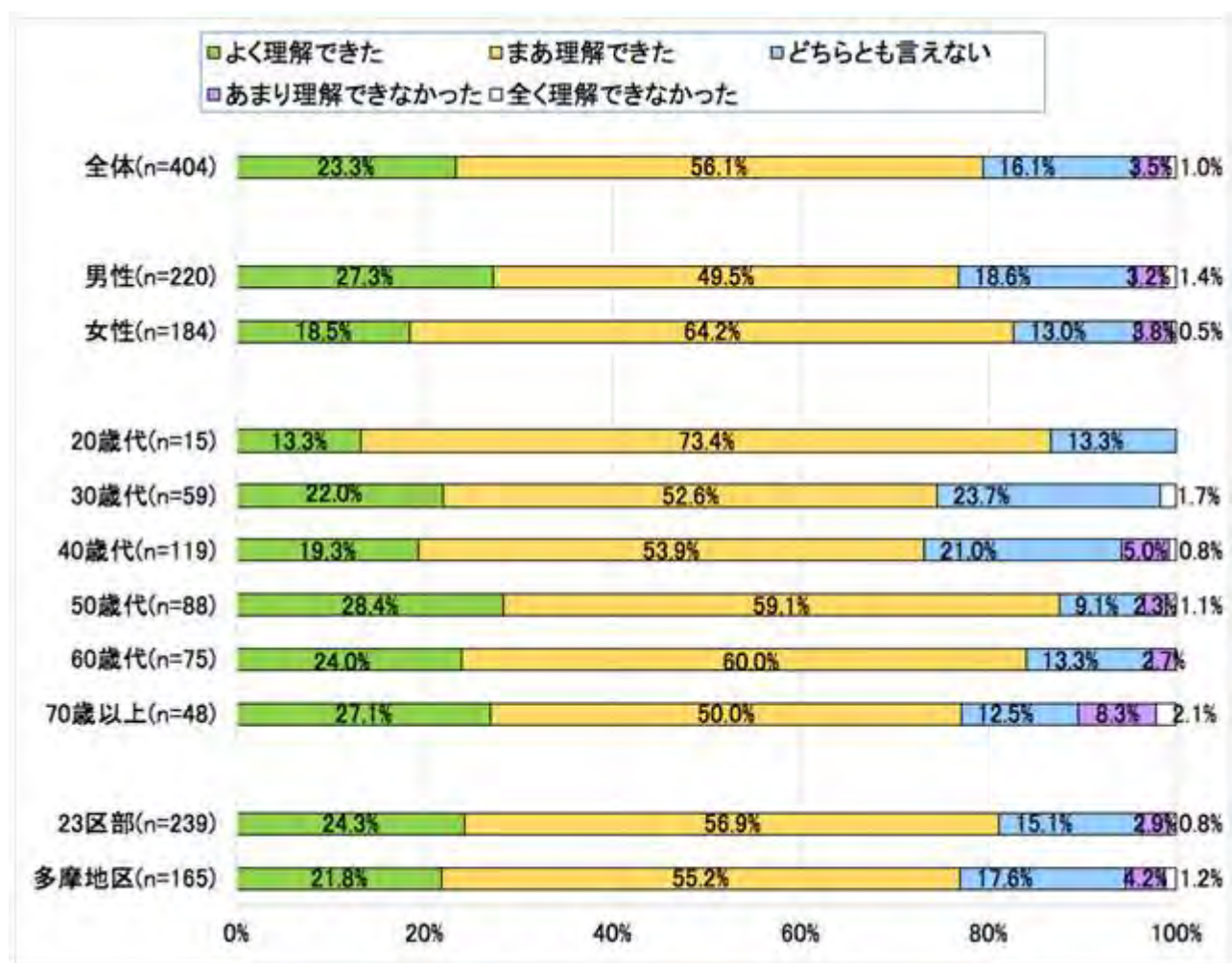


図4-1-1-3 【浸水対策】への理解度

4.1.1.4 【震災対策】への理解度

- ◆ 【震災対策】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が79.0%、「どちらとも言えない」が16.6%、「あまり理解できなかった」が3.7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が77.3%、女性が81.0%と、その差は3.7ポイントで、顕著な差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』は50歳代が最も高く87.5%となった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が78.7%、多摩地区が79.4%となり、23区部と多摩地区で差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

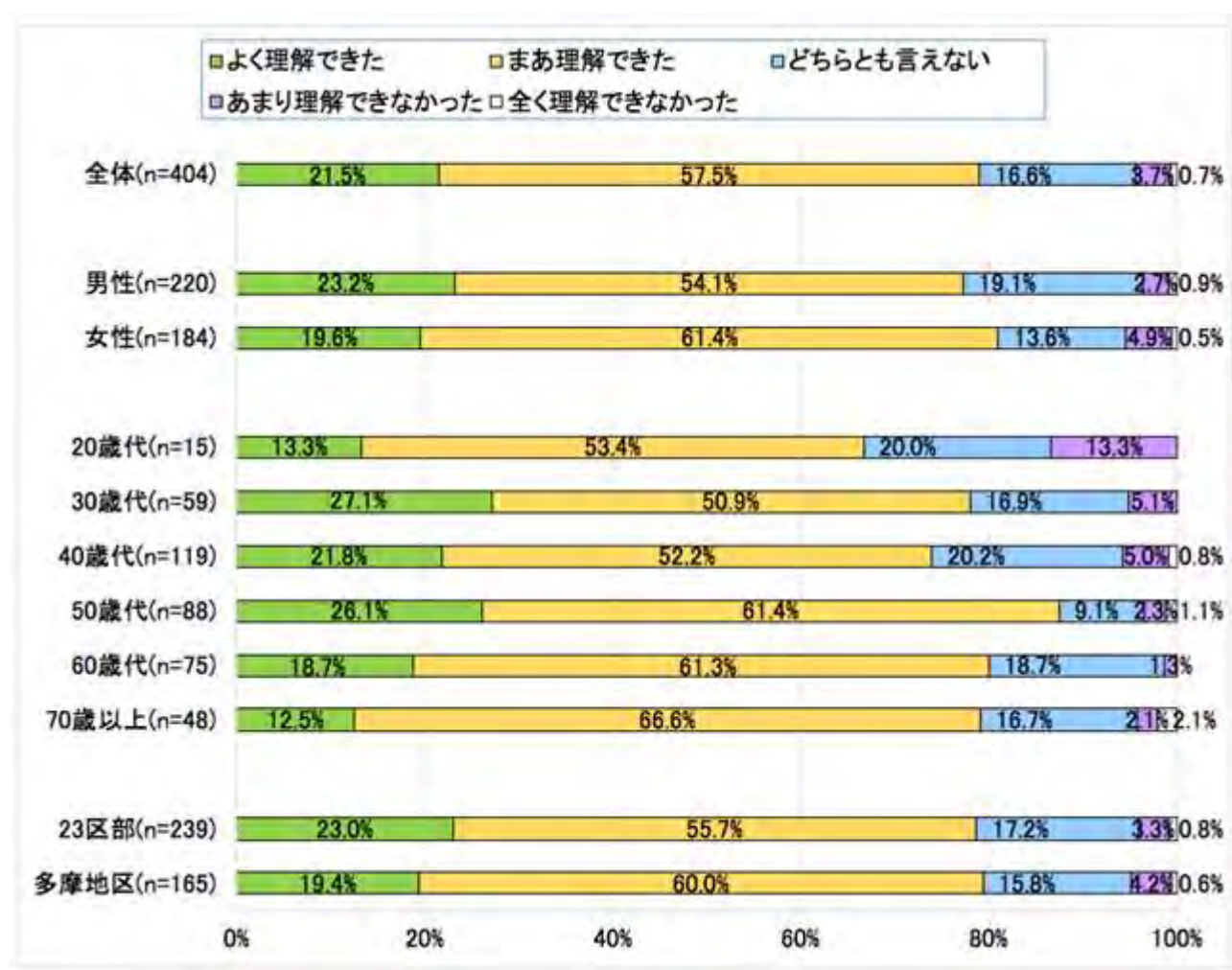


図4-1-1-4 【震災対策】への理解度

4.1.1.5 【コラム① 「難しい！」東京の下水道工事】への理解度

- ◆ 【コラム① 「難しい！」東京の下水道工事】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が79.7%、「どちらとも言えない」が16.8%、「あまり理解できなかった」が3.0%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が75.0%、女性が85.3%となり、女性が男性に比べ、10.3ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』は50歳代が最も高く87.6%となったが、どの年代も7割を超える高い割合を示した。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が79.5%、多摩地区が80.0%となり、23区部と多摩地区で差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

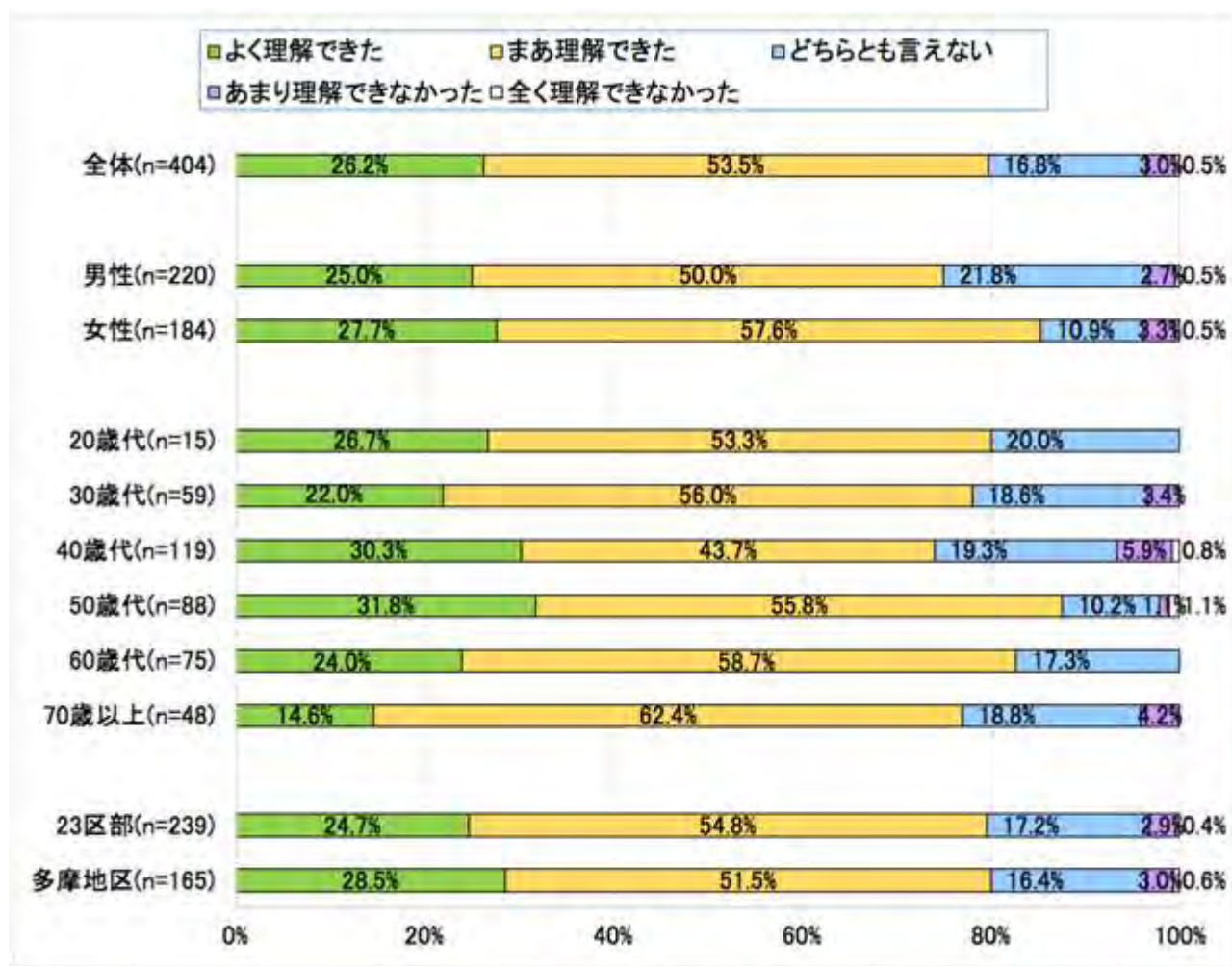


図4-1-1-5 【コラム① 「難しい！」東京の下水道工事】への理解度

4.1.1.6 【合流式下水道の改善】への理解度

- ◆ 【合流式下水道の改善】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が70.6%、「どちらとも言えない」が23.5%、「あまり理解できなかった」が5.2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が70.9%、女性が70.1%となり、男性と女性で差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』は、50歳代の79.6%を頂点に、50歳代から70歳以上は7割以上と高い割合を示したが、年代の低い20歳代から40歳代では5割から6割と低かった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が74.0%、多摩地区が65.5%となり、合流式処理区域が広い23区部の方が多摩地区に比べ、8.5ポイント高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

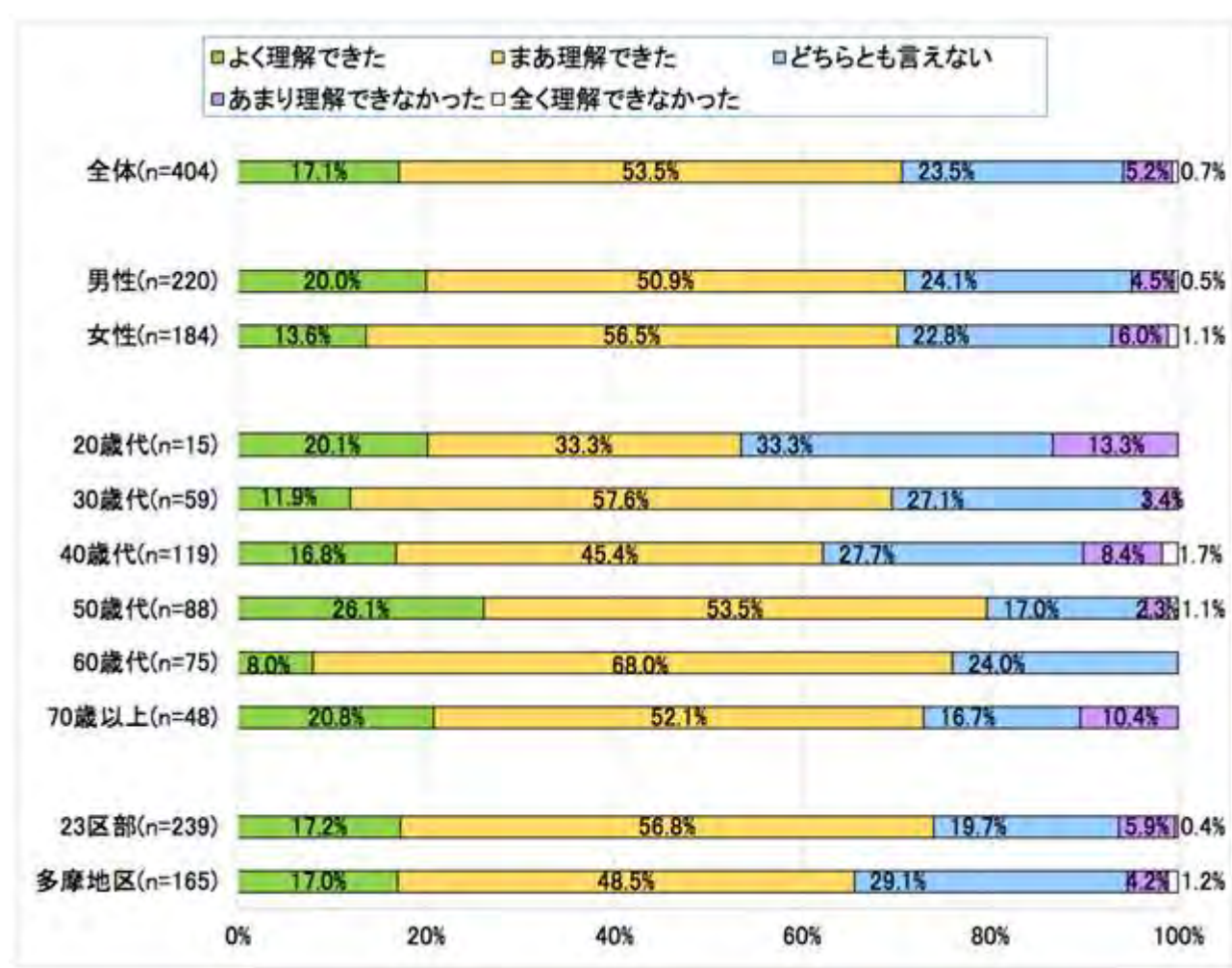


図4-1-1-6 【合流式下水道の改善】への理解度

4.1.1.7 【高度処理】への理解度

- ◆ 【高度処理】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が68.3%、「どちらとも言えない」が24.8%、「あまり理解できなかった」が6.2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が67.3%、女性が69.6%となり、女性と男性の間で顕著な差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』の割合は、年代とともに上昇する傾向が見られ、70歳以上が最も高く77.0%となった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が69.4%、多摩地区が66.6%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

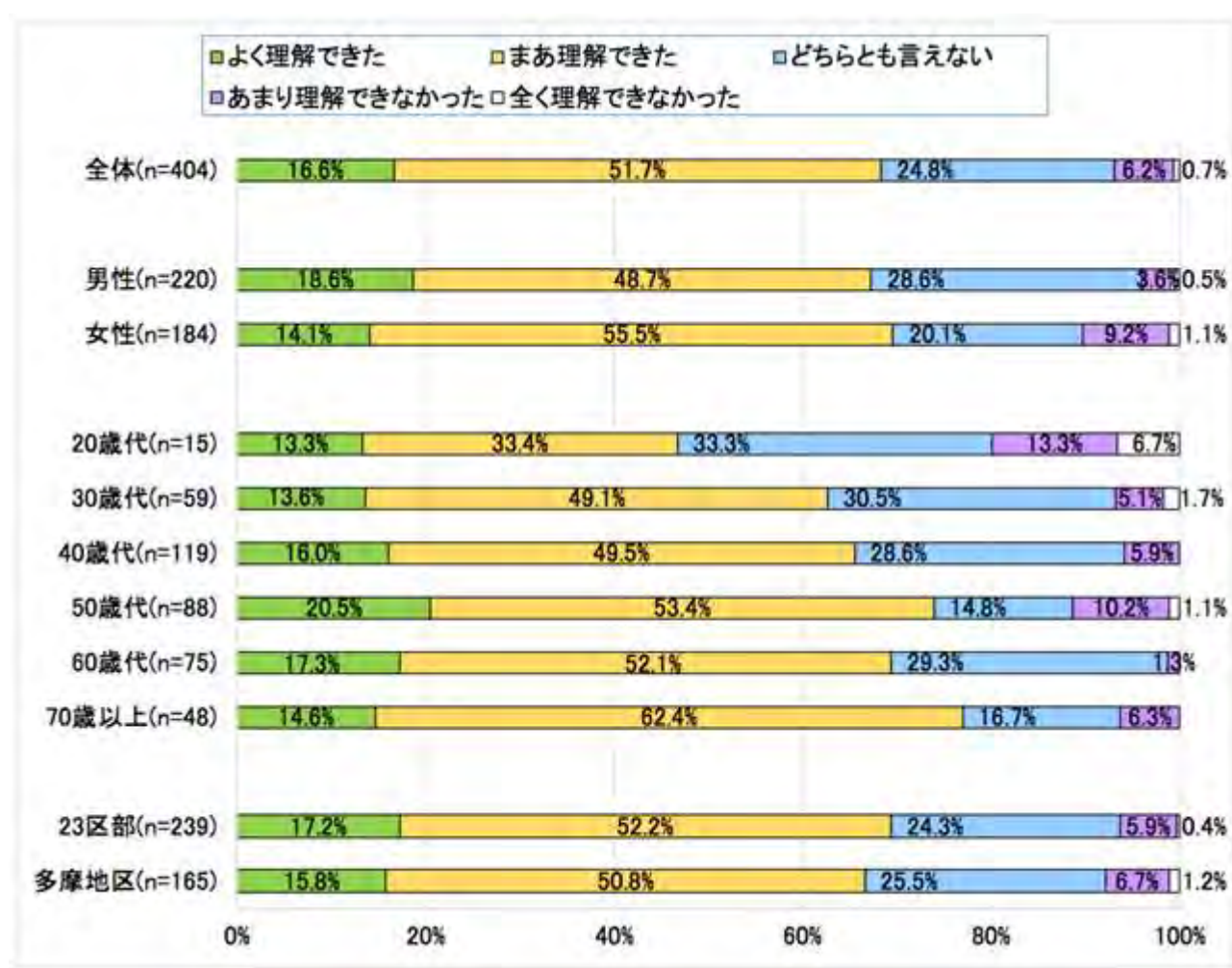


図4-1-1-7 【高度処理】への理解度

4.1.1.8 【エネルギー・地球温暖化対策】への理解度

- ◆ 【エネルギー・地球温暖化対策】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が71.1%、「どちらとも言えない」が22.3%、「あまり理解できなかった」が6.4%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が70.5%、女性が71.7%となり、男性と女性で差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』の割合は、年代の低い20歳代から40歳代が6割という結果に対し、50歳代から70歳以上は7割以上と高い割合を示し、特に50歳代は77.3%と最も高かった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が71.5%、多摩地区が70.3%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

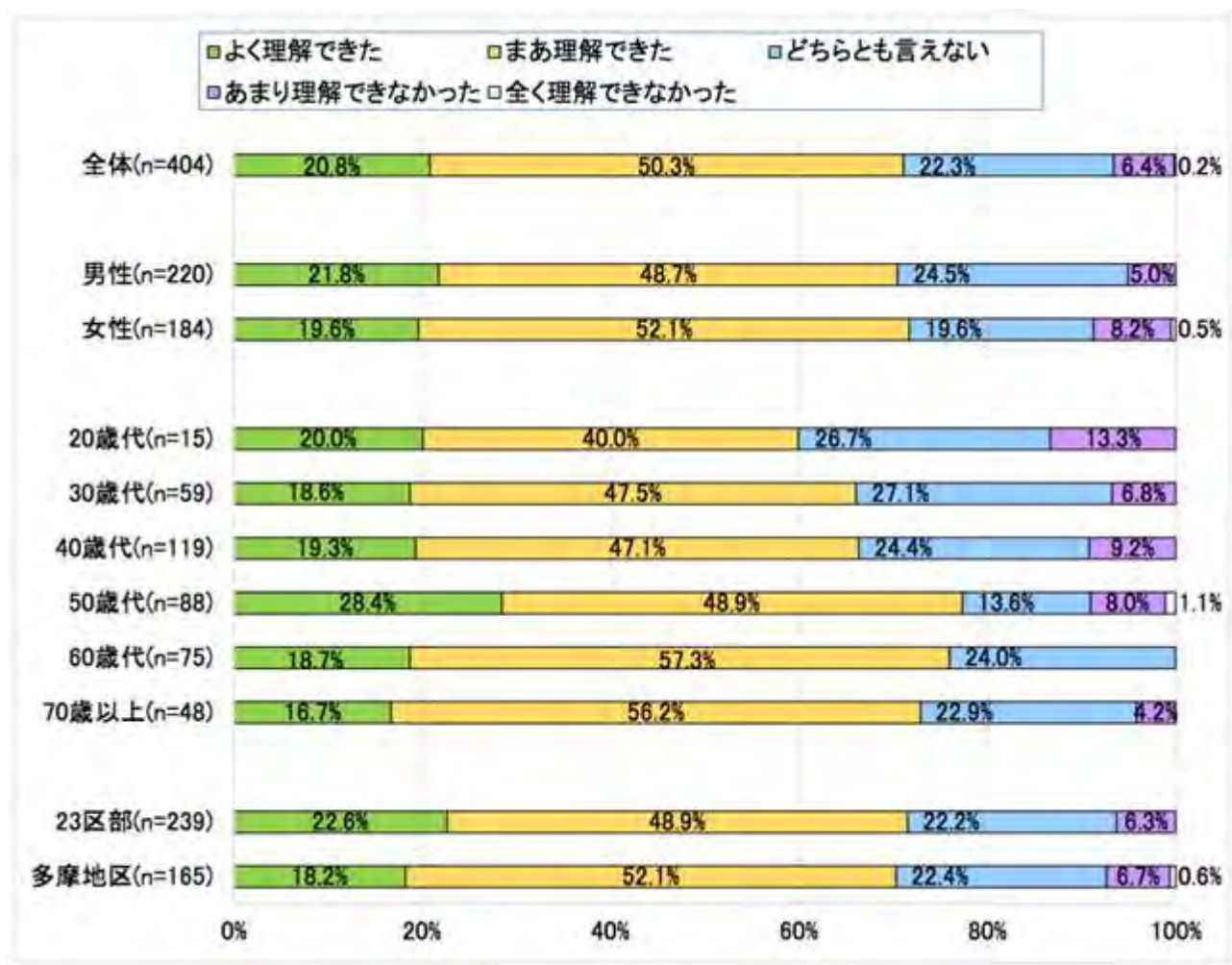


図4-1-1-8 【エネルギー・地球温暖化対策】への理解度

4.1.1.9 【東京下水道の「応援団」の獲得】への理解度

- ◆ 【東京下水道の「応援団」の獲得】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が72.3%、「どちらとも言えない」が21.8%、「あまり理解できなかった」が5.2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が70.0%、女性が75.0%となり、女性が男性に比べ5.0ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』の割合は、50歳代、60歳代が特に高く、50歳代が81.8%で最も高かった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が73.3%、多摩地区が70.9%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

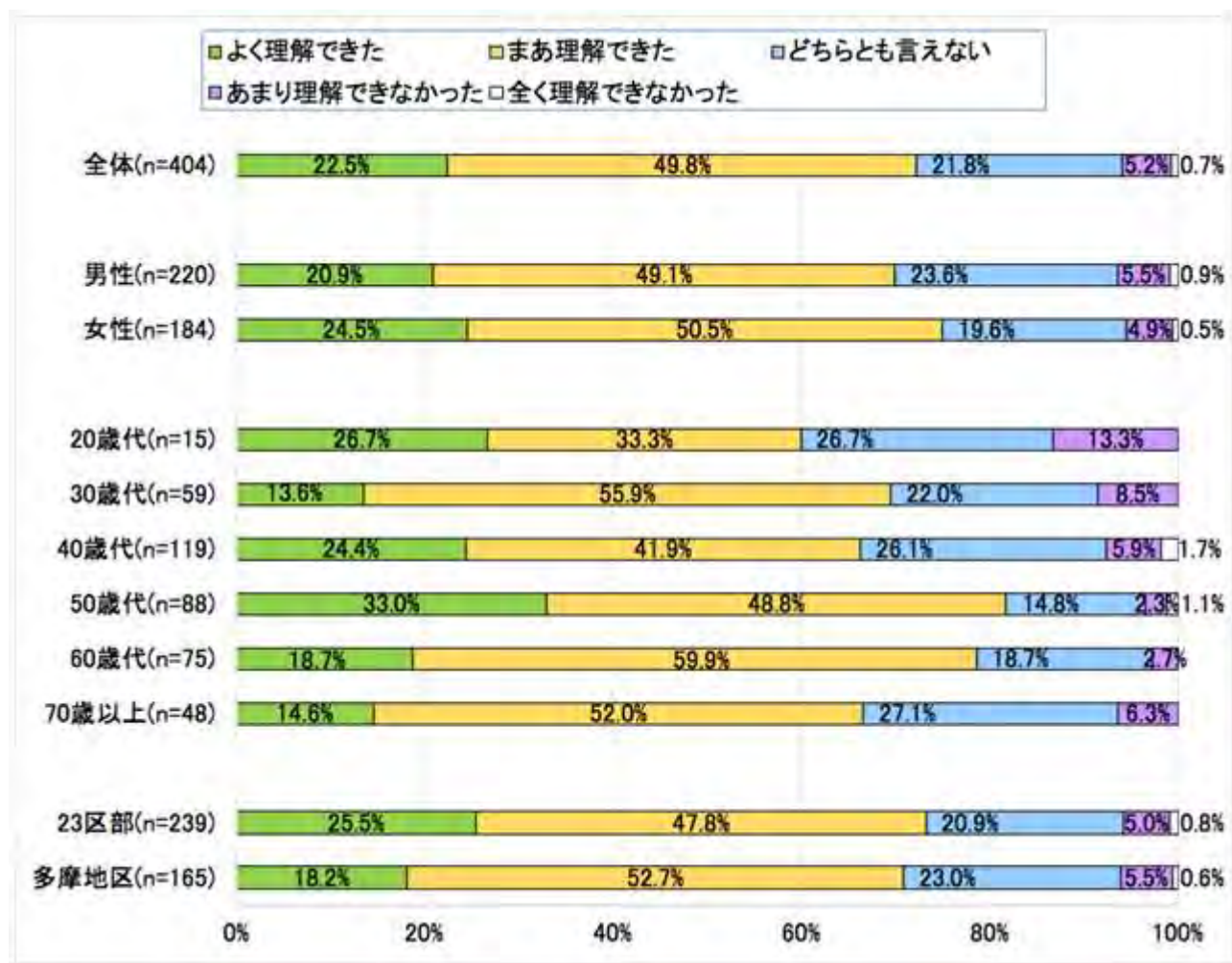


図4-1-1-9 【東京下水道の「応援団」の獲得】への理解度

4.1.1.10 【コラム②東京下水道の「見せる化」】への理解度

- ◆ 【コラム②東京下水道の「見せる化」】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が78.7%、「どちらとも言えない」が17.6%、「あまり理解できなかった」が3.2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が74.5%、女性が83.6%となり、女性が男性に比べ9.1ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』では50歳代以上が8割以上と高い割合を示し、中でも50歳代は85.3%、60歳代は85.4%となった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が79.5%、多摩地区が77.6%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

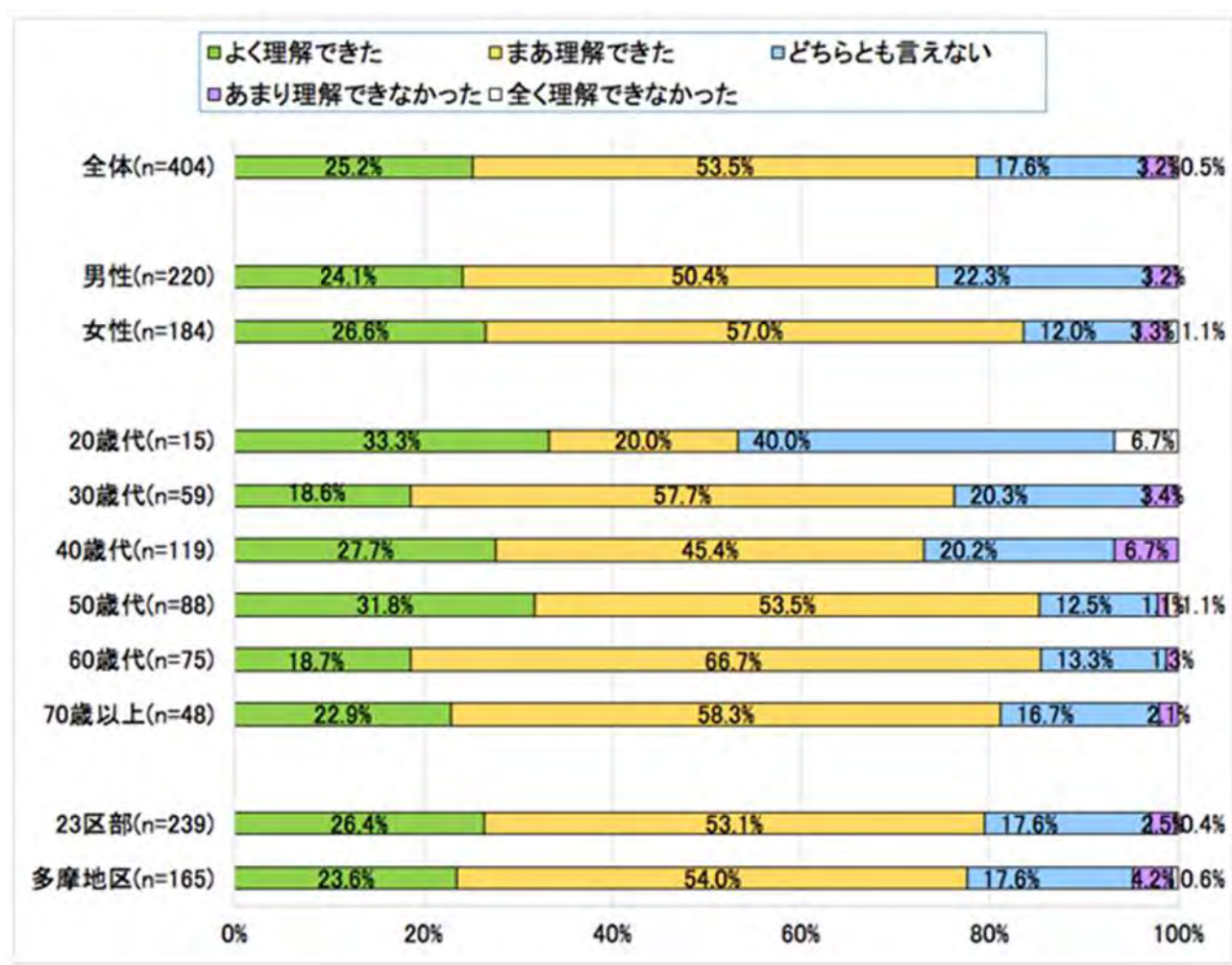


図4-1-1-10 【コラム②東京下水道の「見せる化」】への理解度

4.1.1.11 【企業努力と財政収支】への理解度

- ◆ 【企業努力と財政収支】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が59.9%、「どちらとも言えない」が30.2%、「あまり理解できなかった」が8.9%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が58.6%、女性が61.5%となり、男性と女性で顕著な差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』の割合は50歳代が最も高く64.8%となったが、どの年代も6割以下で、他の施策に比べ低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が63.2%、多摩地区が55.1%となり、23区部が多摩地区に比べ、8.1ポイント高い結果となった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

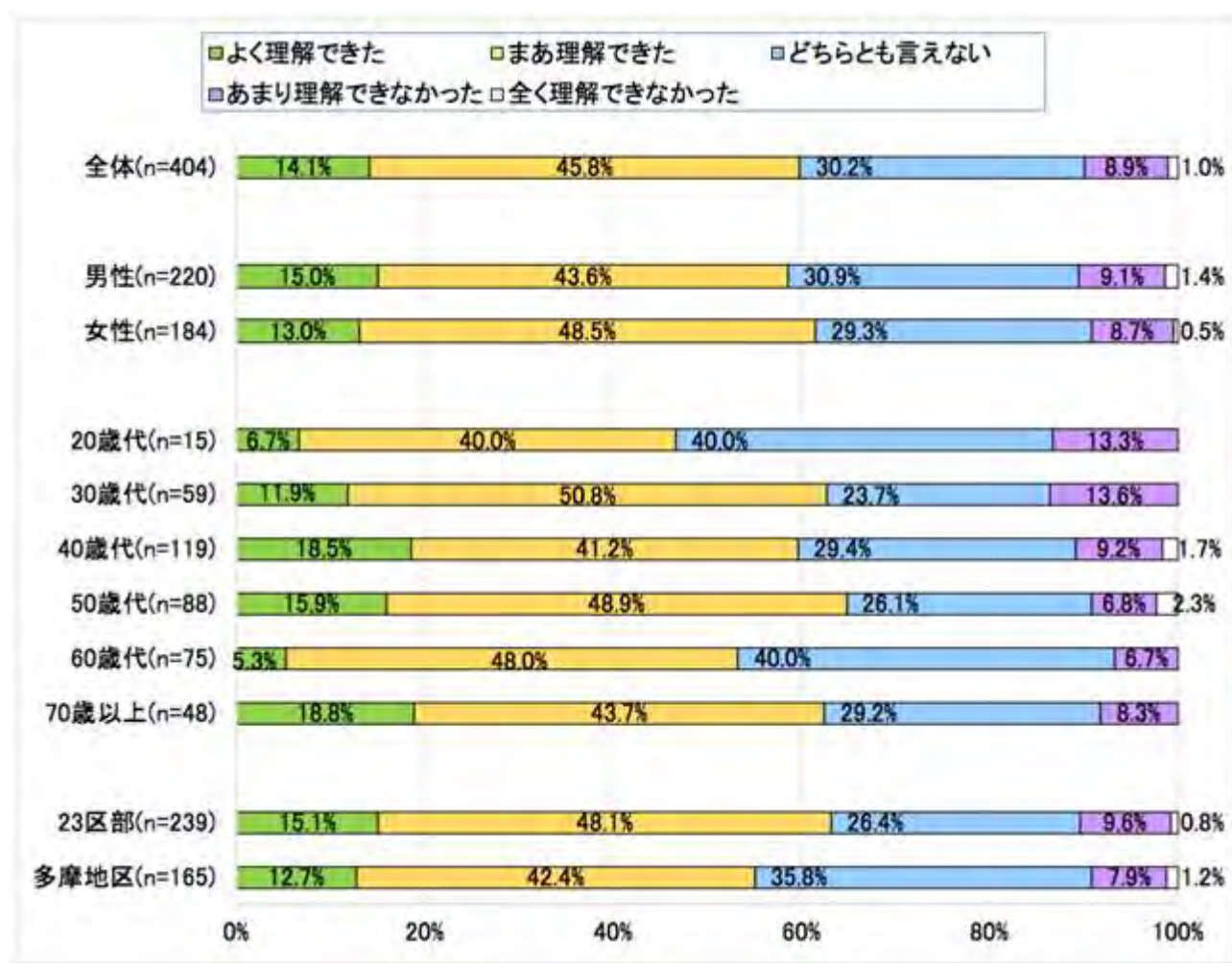


図4-1-1-11 【企業努力と財政収支】への理解度

4.1.1.12 【コラム③解説！下水道事業の財政のしくみ】への理解度

- ◆ 【コラム③解説！下水道事業の財政のしくみ】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が66.3%、「どちらとも言えない」が24.8%、「あまり理解できなかった」が7.9%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が62.8%、女性が70.6%となり、女性が男性に比べ7.8ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』の割合は、50歳代が最も高く70.5%となったが、各年代で大きな差は見られなかった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が66.6%、多摩地区が66.0%となり、23区部と多摩地区で差はなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

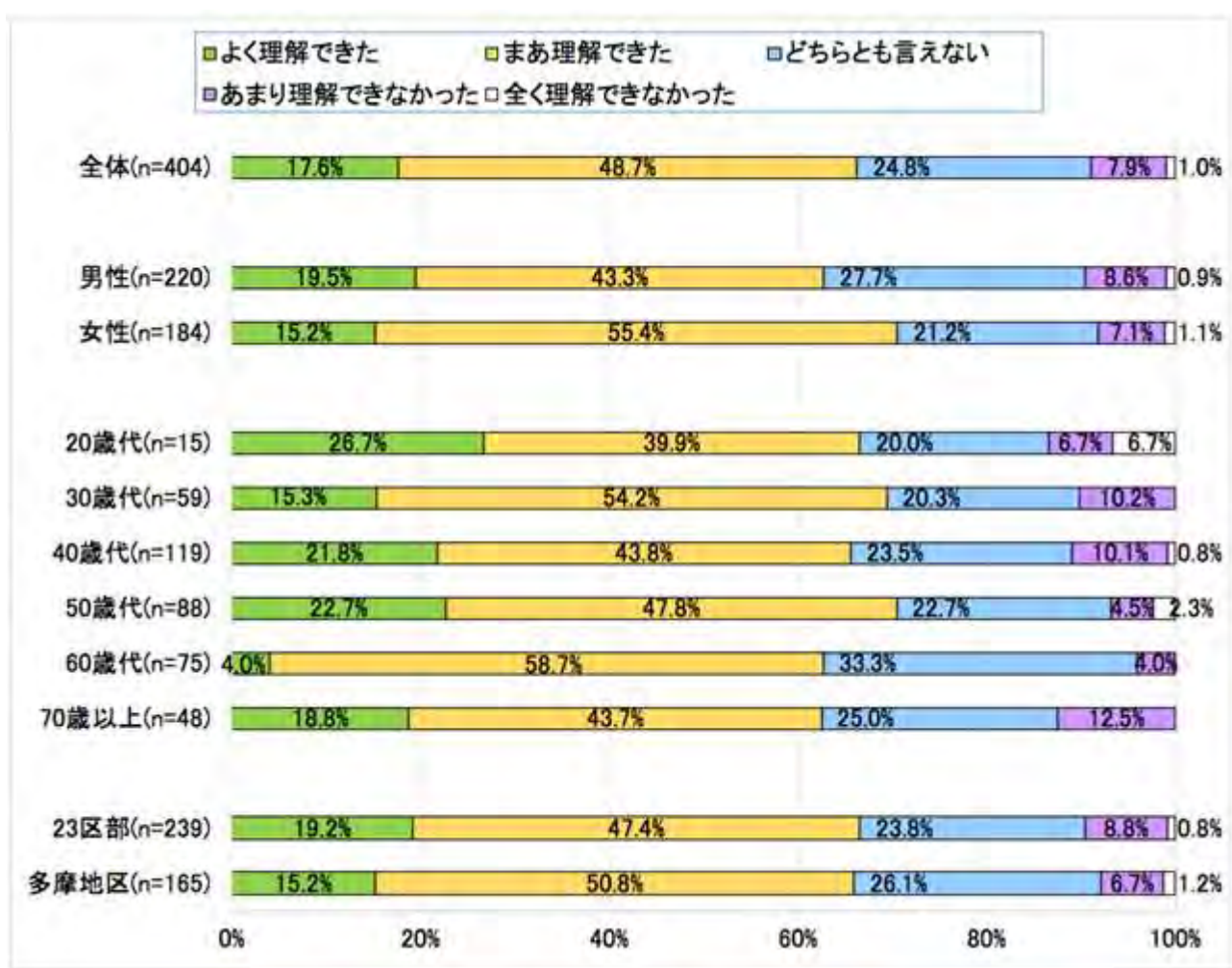


図4-1-1-12 【コラム③解説！下水道事業の財政のしくみ】への理解度

4.1.1.13 【事業指標の達成状況一覧】への理解度

- ◆ 【事業指標の達成状況一覧】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が61.8%、「どちらとも言えない」が27.5%、「あまり理解できなかった」が9.7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が62.2%、女性が61.5%となり、男性と女性で差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』の割合は50歳代が最も高く67.0%となったが、どの年代も6割以下で、財政関係の施策同様に、他の施策に比べ低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が62.8%、多摩地区が60.6%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

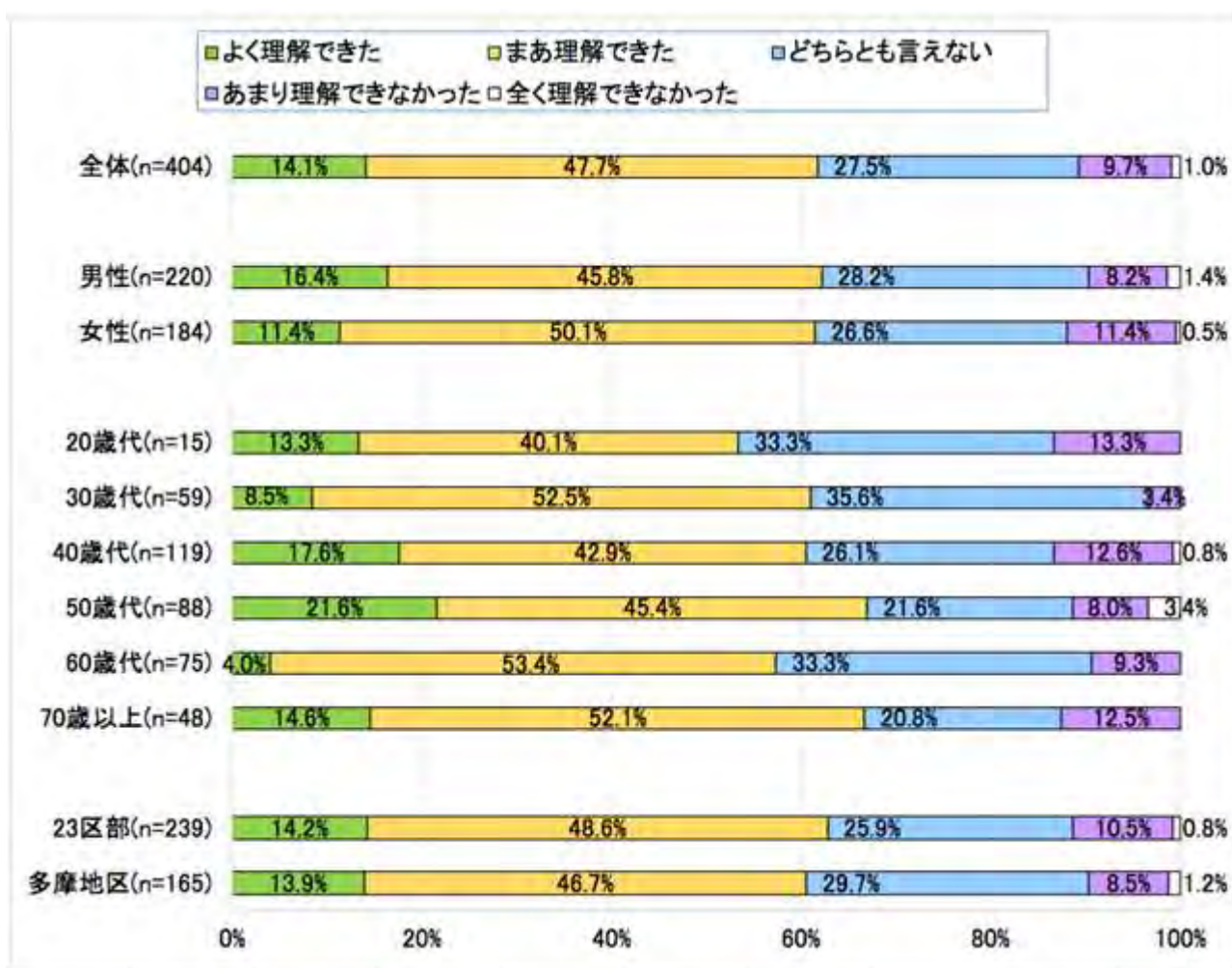


図4-1-1-13 【事業指標の達成状況一覧】への理解度

4.1.1.14 【事業効果の状況】への理解度

- ◆ 【事業効果の状況】への理解度について、「よく理解できた」と「まあ理解できた」を合わせた『理解できた』が61.9%、「どちらとも言えない」が30.0%、「あまり理解できなかった」が7.4%「全く理解できなかった」が0.7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『理解できた』では男性が63.1%、女性が60.4%となり、男性と女性で顕著な差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『理解できた』は30歳代が最も高く67.8%となった。
- ◆ 地区別にみると、『理解できた』では23区部が61.5%、多摩地区が62.4%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。

Q5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

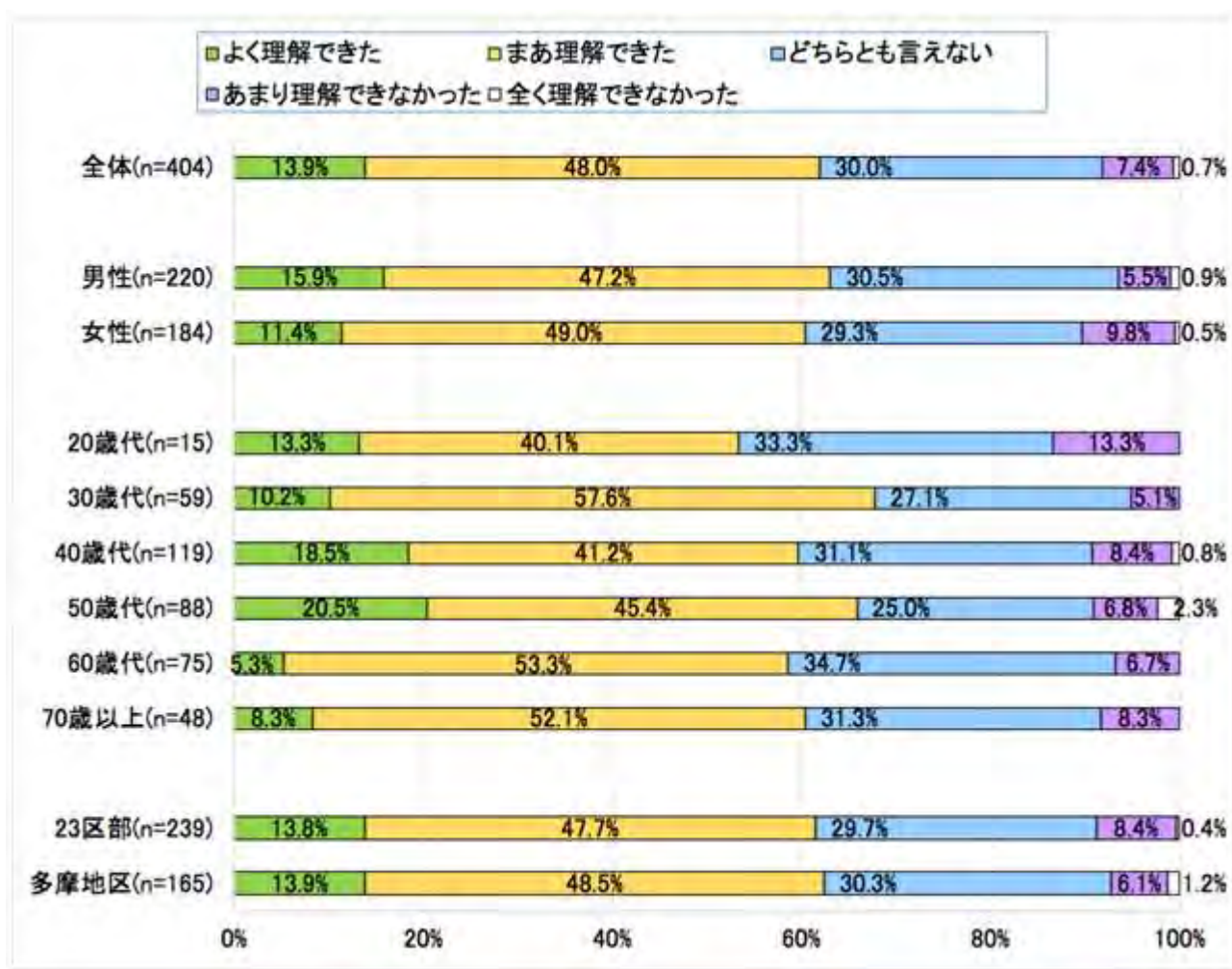


図4-1-1-14 【事業効果の状況】への理解度

4.1.2 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』の各施策への理解度が低い理由

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への理解度が低い理由について、「理解できた/ほぼ理解できた」が54.8%と最も高く、次いで「専門用語が多く内容が難しい」が10.4%となった。

Q6 上記Q5の中で、「よく理解できた」、「まあ理解できた」、または「あまり理解できなかった」、「全く理解できなかった」と思われるのはなぜですか？その理由について具体的にお答えください。(自由回答)

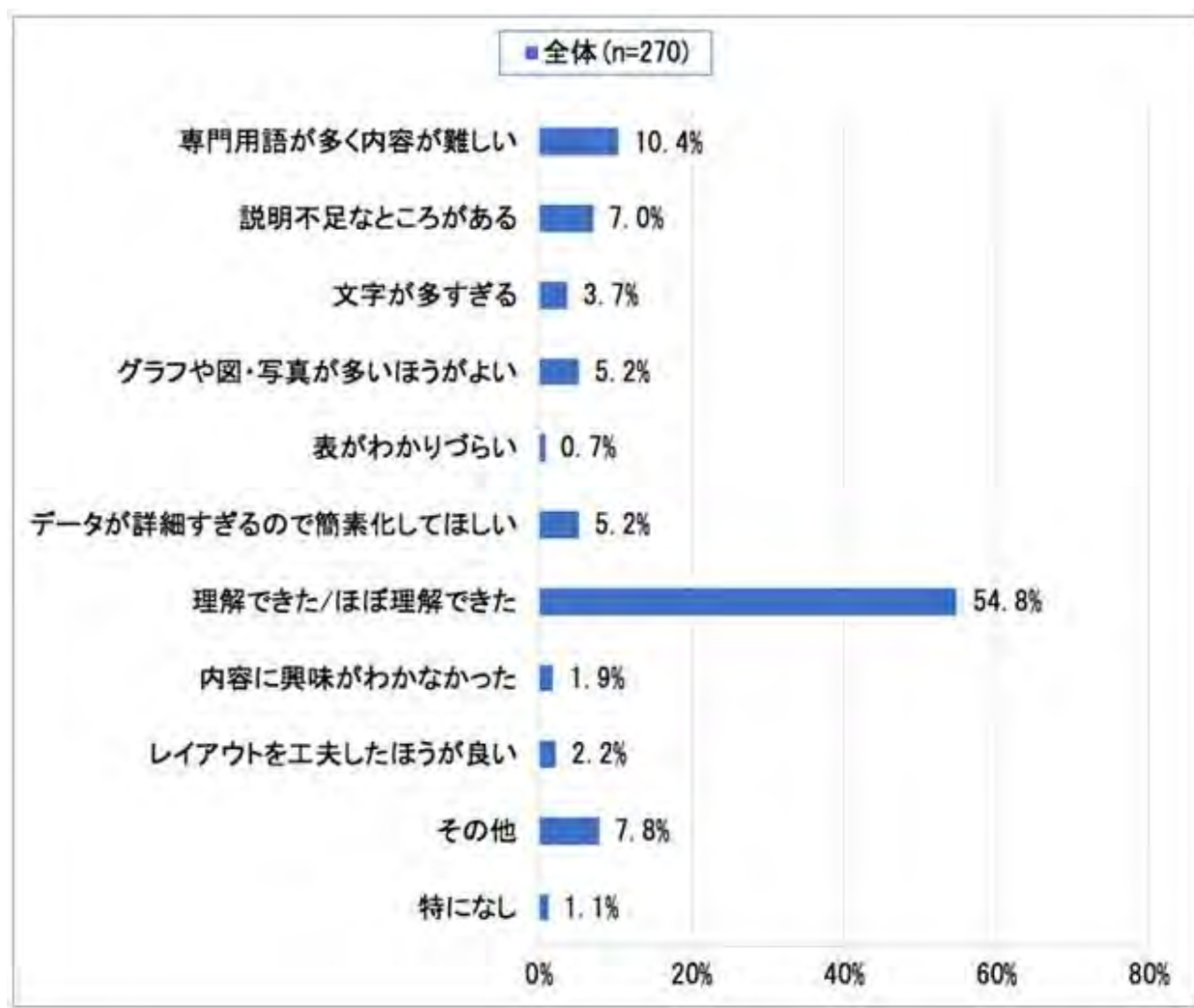


図4-1-2 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』の理解度が低い理由

表4-1-2 理解度が低いその他の理由

No	内容
1	数値が適正かどうかのイメージができなかったから。
2	数字のことはよくわかりませんが、色々な問題に対応して頂いていることはよくわかりました。画面で見ると出来たらマルチページで載せて頂けると閲覧が楽になると思います。
3	各事業目標と達成状況はわかりやすく確実に遂行されていることがわかりました。浸水、震災対策を進めていることはわかりました。一方で、日頃から気になっている昨今の地球温暖化の影響と考えられる数十年に一度あるかどうかの豪雨がいった場合、下水はどうなるのか？発生が予想される南海地震発生に対する下水道の被害想定がどうなっているのかわからなかった。

No	内容
4	「区部下水道」、「流域下水道」という名前の分け方が理解しにくい。 「下水道局の評価」という題名も、トップの人の評価ですか？と疑問だった。 全体的に本当に伝えたいところがどこなのかわかりにくい。
5	「企業努力と財政収支について」は、はっきり言ってあまり理解できない。不透明な部分があるのでは？
6	雨季や台風シーズンになると、自宅周辺の下水道がどうなっているのか非常に気になるが、平素はあまり関心の度合いが少ない。自分が住んでいる市の整備状況はどうなっているのか非常に関心があるが、東京という全体をとらえた場合は理解度が少ない。
7	下水道事業は都民生活にとって大変重要な事業です。現在使用している「下水道管」は耐用年数がだいぶ経過しているため交換の時期がきています。多額の費用がかかりますが、そのための財政収支の内容がわかりません。どの程度の費用が掛かってくるのか、また交換に関してどのくらいの期間を要するのかわかりません。都民に対して、詳しく丁寧に説明してほしいです。
8	身近に関心のある項目の理解度は高かったが、達成状況や効果の状況などは、それがどの程度評価できるのか判断が難しく、よく理解できたとは言えなかった。
9	現況は頭に入りますが、過程が具体的にイメージしづらいです。
10	全体的にみて「まあ理解できた」としました。その理由は、現在、上下水道に関して民営化の議論が報道されていますが、その面からアンケート調査の資料を読み解くことができなかつたからです。この点について、次の工場見学等の折にレクチャー頂ければと思います。
11	集中豪雨、ゲリラ豪雨などの場合、都市部には森が少ないため大地の保水力が乏しいです。いったん水を貯めておく施設、または雨水のみを速やかに海に流すことが必要と思います。
12	下水道応援団のページにあった見学に是非行きたい。体験したい。
13	下水道事業の予算は他のインフラに比べて少ないと思いましたが、上下水道料金にも関係するためでしょうか？ 民営化の問題では下水道はどのようなのでしょうか？危険が大きいため反対です。
14	文字が多すぎる。数字が細かすぎる。下水道応援団の写真はきれいすぎる。下水道はきれいな世界ではないと思う。汚れている水、何が流れているかわからない水、硫化水素の世界、免疫力が無い子供が入ると病気になる可能性がある水、そんな水がきれいになる、そういった実情を伝えた方がよいのでは。
15	資料はよく作成できていると思います。ただ、ホームページ上での見せ方が悪いと思います。PDFファイルを一回一回開かなければいけない、開いた後に目次に戻るボタンがないのでブラウザの戻るボタンで戻らなければいけない、これらはとても不親切だと思います。PDFファイルで運営されるのならば、PDFを冊子にしてください。ここで（3、4ページ）と表示されても何の意味もありませんから。
16	浸水対策では説明そのものは理解できたが、「施設整備」と「拡充施設整備」、「対策促進地区」と「拡充対策地区」、というように名称が似通っていてわかりにくい。外部に発信する場合は、用語の違いがわかるように工夫していただきたいと思います。
17	企業努力と財政収支について 「企業努力の額が計画を下回った」とあるが、今後の収入減少と支出増大の見込みなどから、「不断の経営効率化に努め、安定的な経営の実現に取り組んでいく」ためのより具体的な実効性のある説明が求められる。
18	PDFが開かなかつた。
19	「よく理解できた」、「まあ理解できた」とした項目については、大都市である東京都の取組がここまでやっているということが理解できた。 「あまり理解できなかった」とした理由は、判断する材料をもっと与えてくれないと、他の事業との比較は困難ということ。 総じて言えることは、「下水道モニター」を委任するに当たって、東京都下水道局はモニターに結果を期待していないと思わずにはいられない。交通局はモニターに対し資料も豊富だった。何も与えないモニターから良い結果は出ないと思う。
20	この設問は下水道局職員向けの問いであり、一般都民には全て理解できない。この質問自体が問題です。また、浸水対策で50mm、75mm対策とあるが、昨今報道がある100mm/h以上の記述がない。
21	一部、表現が回りくどくてわかりにくい部分がありました。経営レポートなので、収支についてはもう少し詳しい説明があってもよいと思いました。

4.1.3 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』 への評価

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』 への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』の割合は、「2. 【浸水対策】」が 74.0%と最も高く、次いで「3. 【震災対策】」が 68.1%、「5. 【高度処理】」が 67.9%となった。一方、「8. 【企業努力と財政収支】」は 53.2%となり、理解度と同様に、実施内容が見えづらい施策では評価も低い傾向となった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

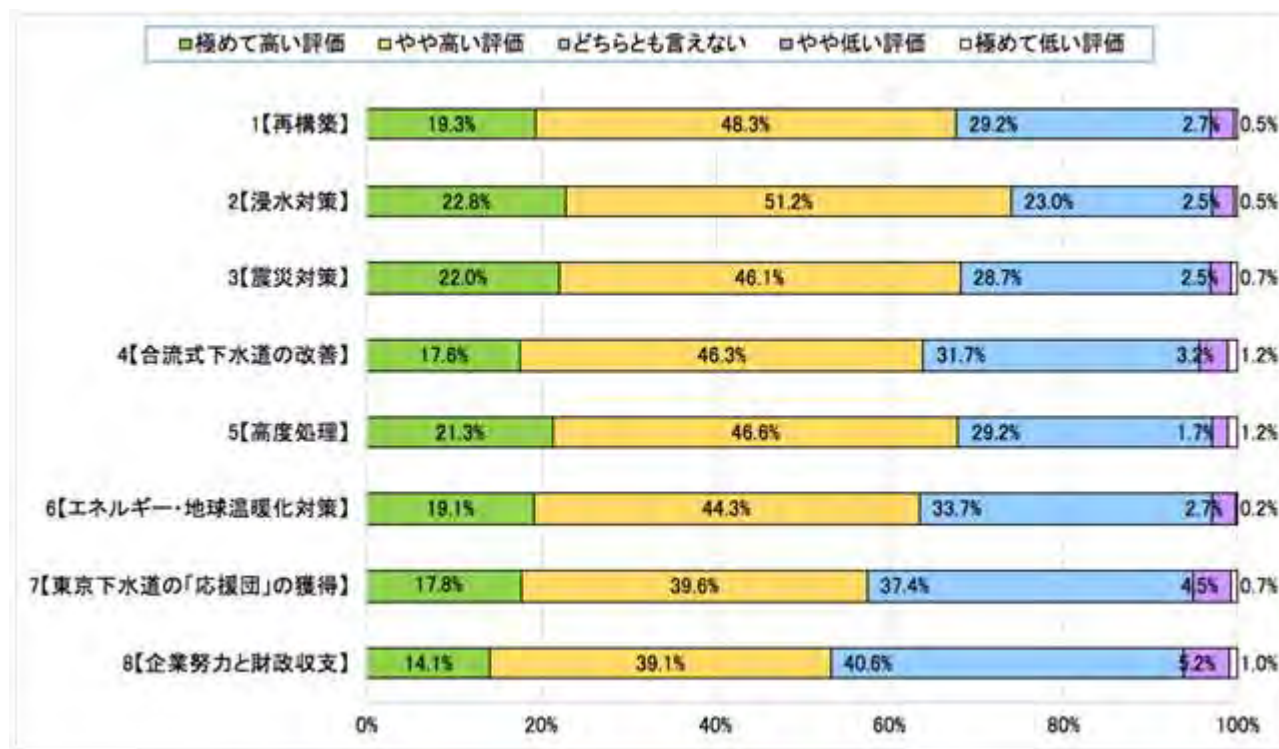
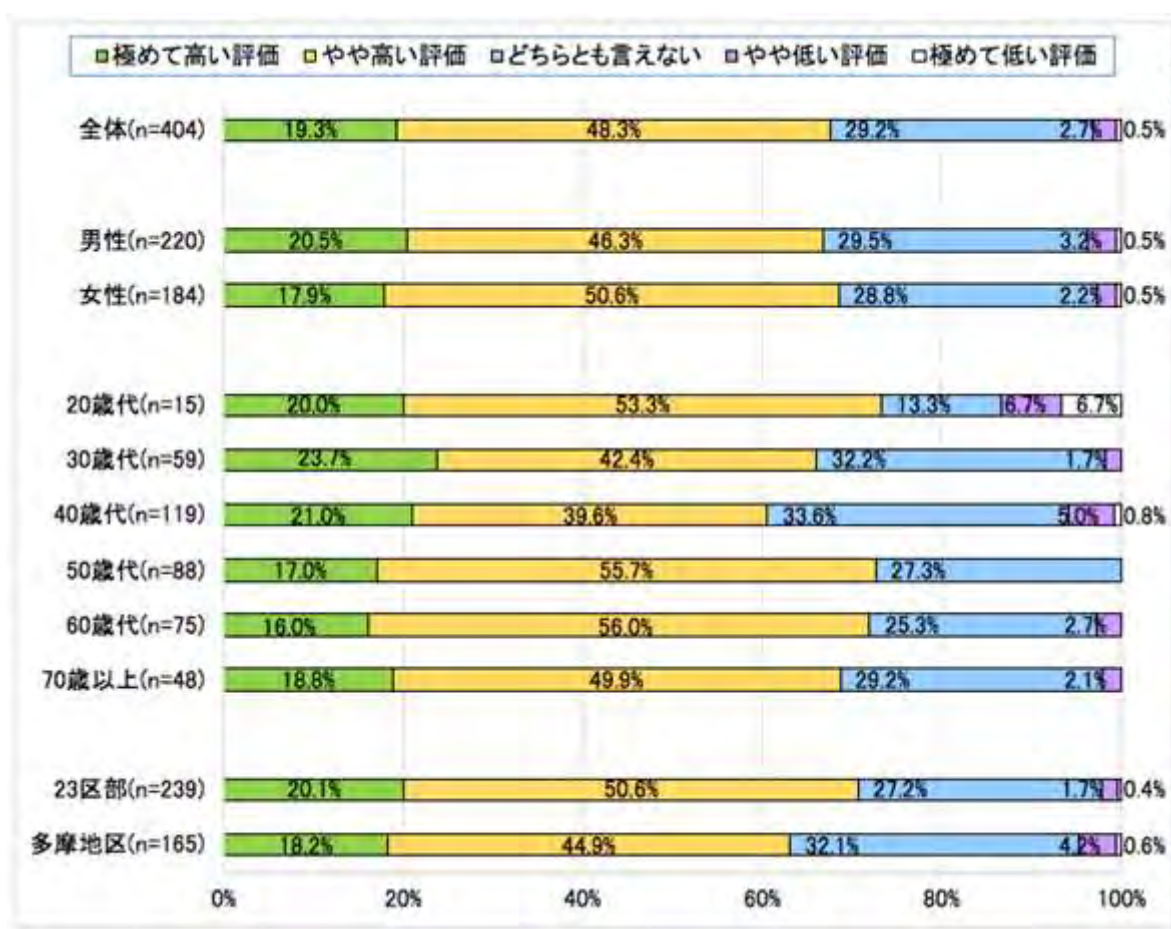


図 4-1-3 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』 への評価

4.1.3.1 【再構築】への評価

- ◆ 【再構築】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が67.6%、「どちらとも言えない」が29.2%、「やや低い評価」が2.7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が66.8%、女性が68.5%となり、男性と女性で差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』の割合は、20歳代、50歳代、60歳代が高く、中でも20歳代は73.3%と最も高かった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が70.7%、多摩地区が63.1%となり、23区部が多摩地区より7.6ポイント高い結果となった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

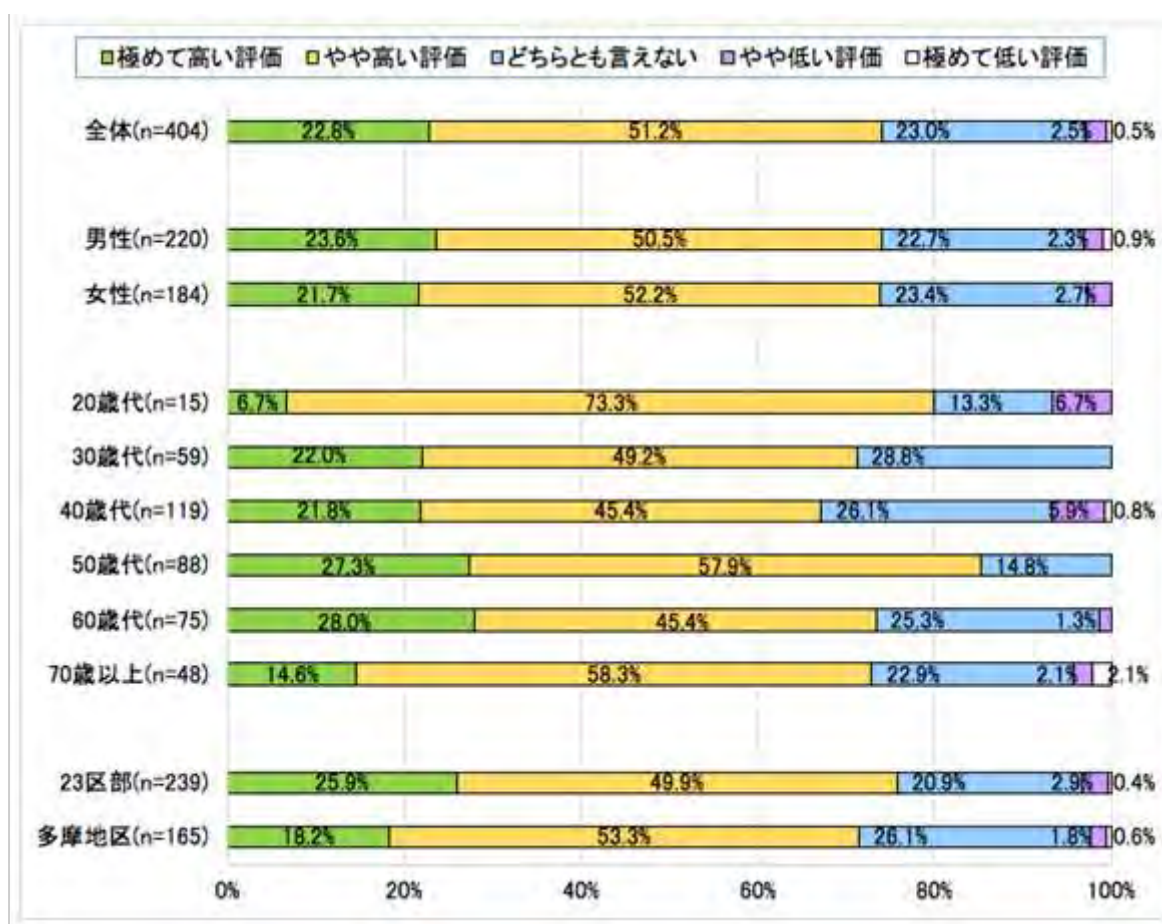


図4-1-3-1 【再構築】への評価

4.1.3.2 【浸水対策】への評価

- ◆ 【浸水対策】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が74.0%、「どちらとも言えない」が23.0%、「やや低い評価」が2.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が74.1%、女性が73.9%となり、ほとんど差はみられなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』の割合は、20歳代、50歳代が高く、中でも50歳代は85.2%と最も高かった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が75.8%、多摩地区が71.5%となり、23区部が多摩地区より4.3ポイント高い結果となった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

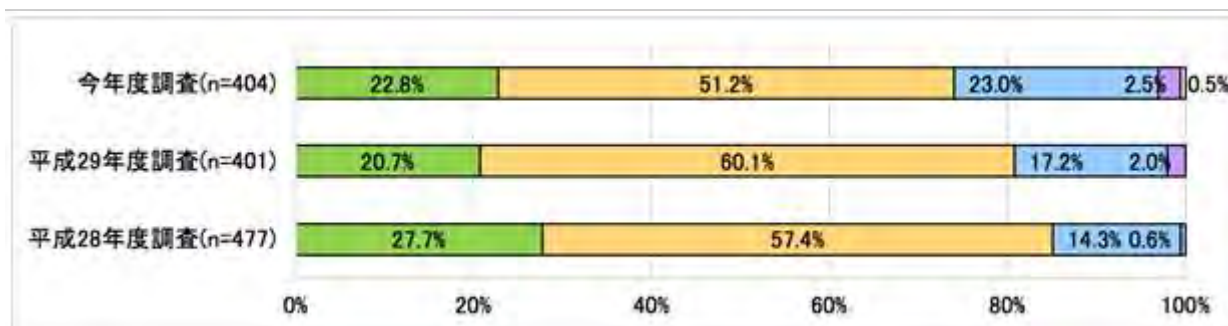
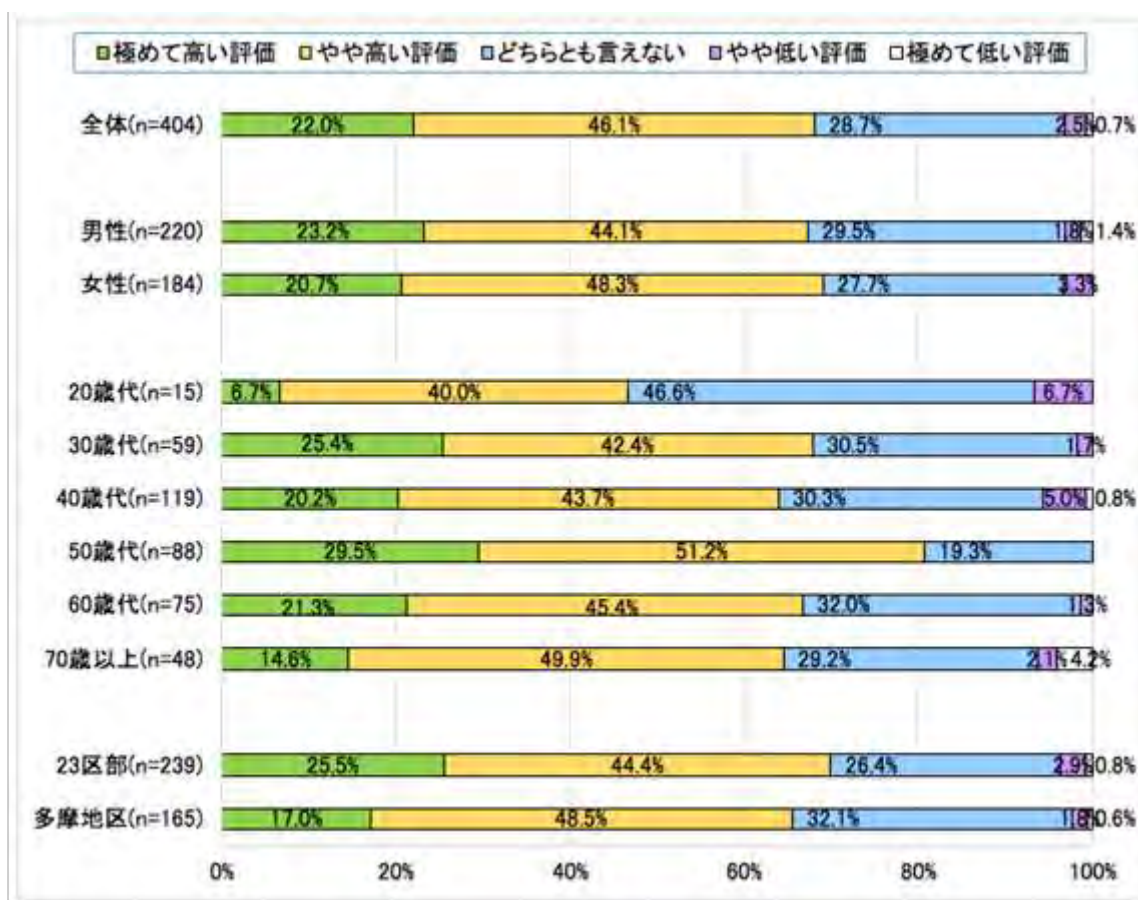


図4-1-3-2 【浸水対策】への評価

4.1.3.3 【震災対策】への評価

- ◆ 【震災対策】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が68.1%、「どちらとも言えない」が28.7%、「やや低い評価」が2.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が67.3%、女性が69.0%となり、顕著な差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』の割合は、どの年代も同等の値を示したが、20歳代は46.7%と極めて低く、逆に50歳代は80.7%と極めて高かった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が69.9%、多摩地区が65.5%となり、23区部が多摩地区より4.4ポイント高い結果となった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

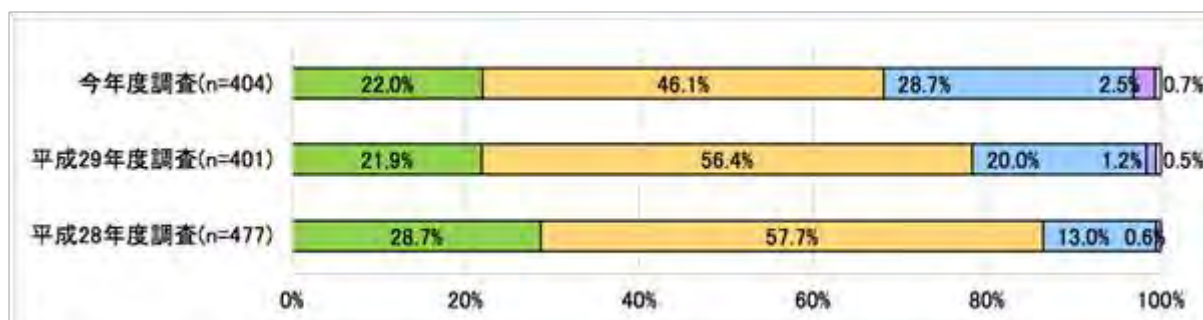
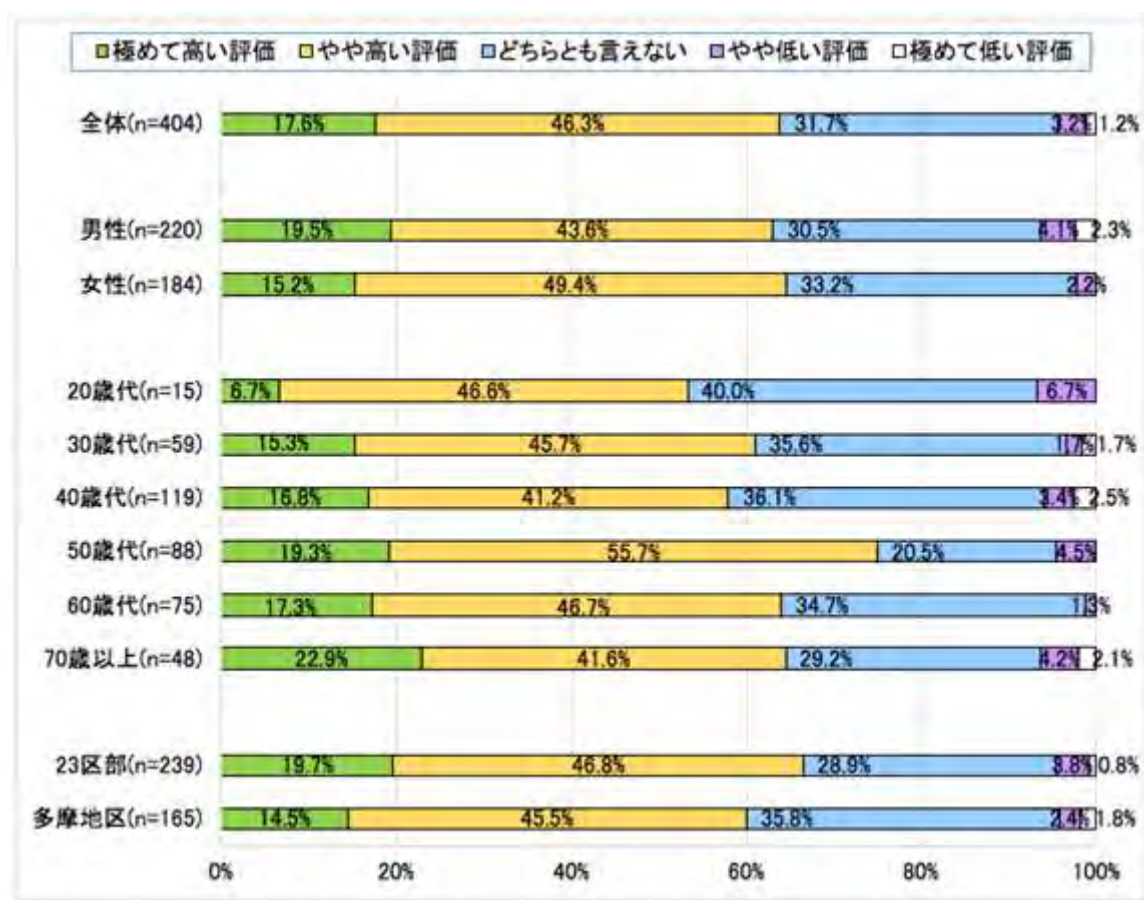


図4-1-3-3 【震災対策】への評価

4.1.3.4 【合流式下水道の改善】への評価

- ◆ 【合流式下水道の改善】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が63.9%、「どちらとも言えない」が31.7%、「やや低い評価」が3.2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が63.1%、女性が64.6%となり、ほとんど差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』の割合は、どの年代も5割から6割と低かったが、50歳代だけは7割を超え75.0%となり、最も高かった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が66.5%、多摩地区が60.0%となり、23区部が多摩地区より6.5ポイント高い結果となった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

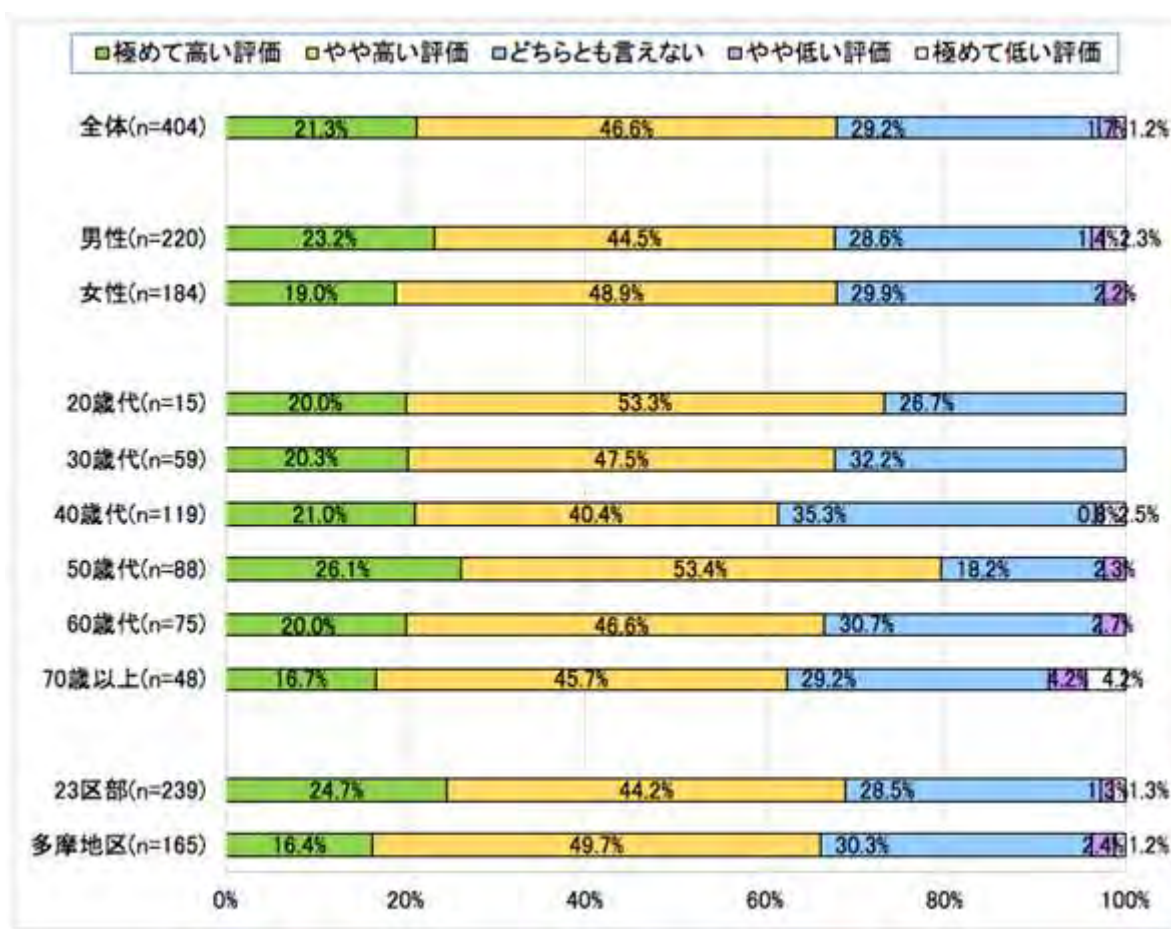


図4-1-3-4 【合流式下水道の改善】への評価

4.1.3.5 【高度処理】への評価

- ◆ 【高度処理】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が67.9%、「どちらとも言えない」が29.2%、「やや低い評価」が1.7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が67.7%、女性が67.9%と、ほとんど差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、他の施策への評価と同様に、『高い評価』の割合は50歳代が最も高く79.5%となった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が68.9%、多摩地区が66.1%となり、23区部と多摩地区で顕著な差はなかった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

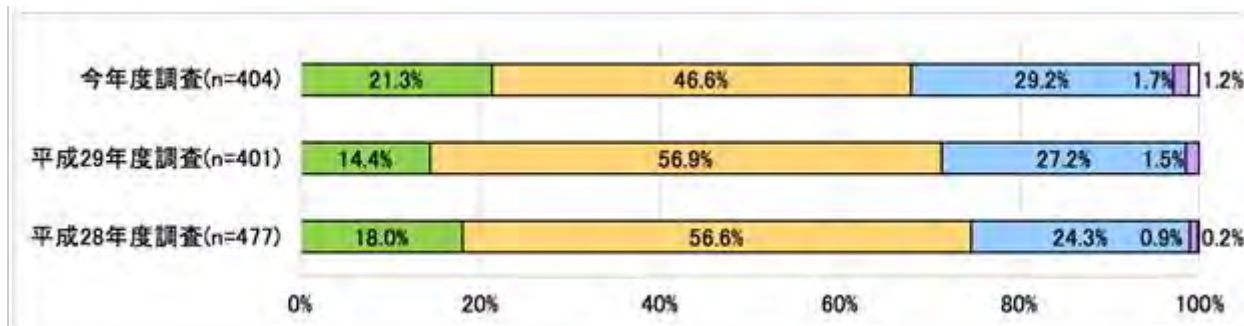
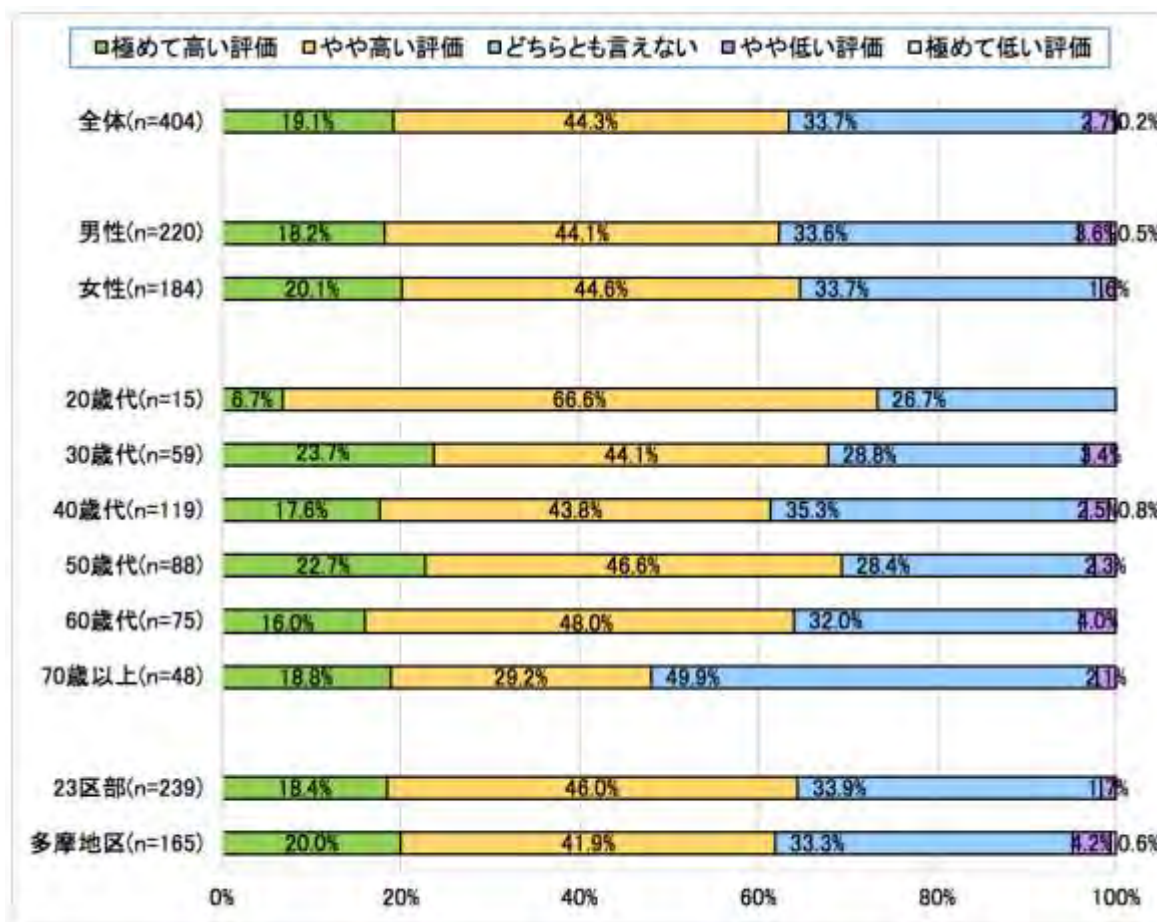


図4-1-3-5 【高度処理】への評価

4.1.3.6 【エネルギー・地球温暖化対策】への評価

- ◆ 【エネルギー・地球温暖化対策】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が63.4%、「どちらとも言えない」が33.7%、「やや低い評価」が2.7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が62.3%、女性が64.7%となり、顕著な差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』の割合はどの年代も6割を超えていたが、70歳以上での割合は極めて低く48.0%であった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が64.4%、多摩地区が61.9%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

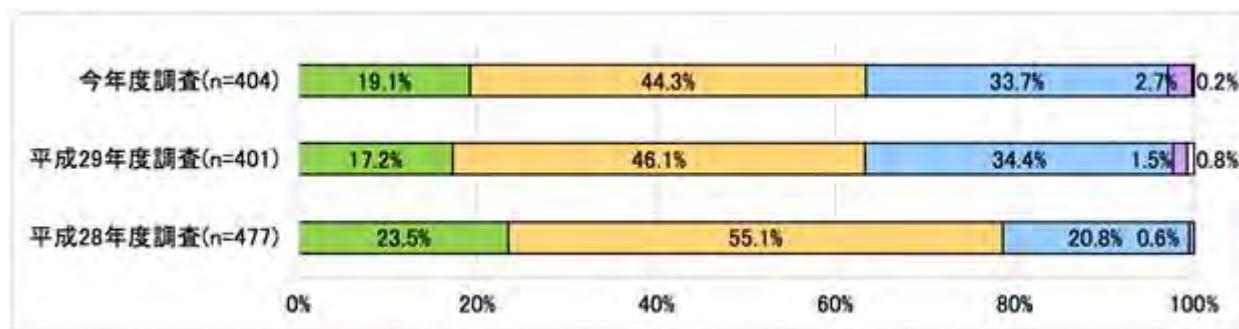
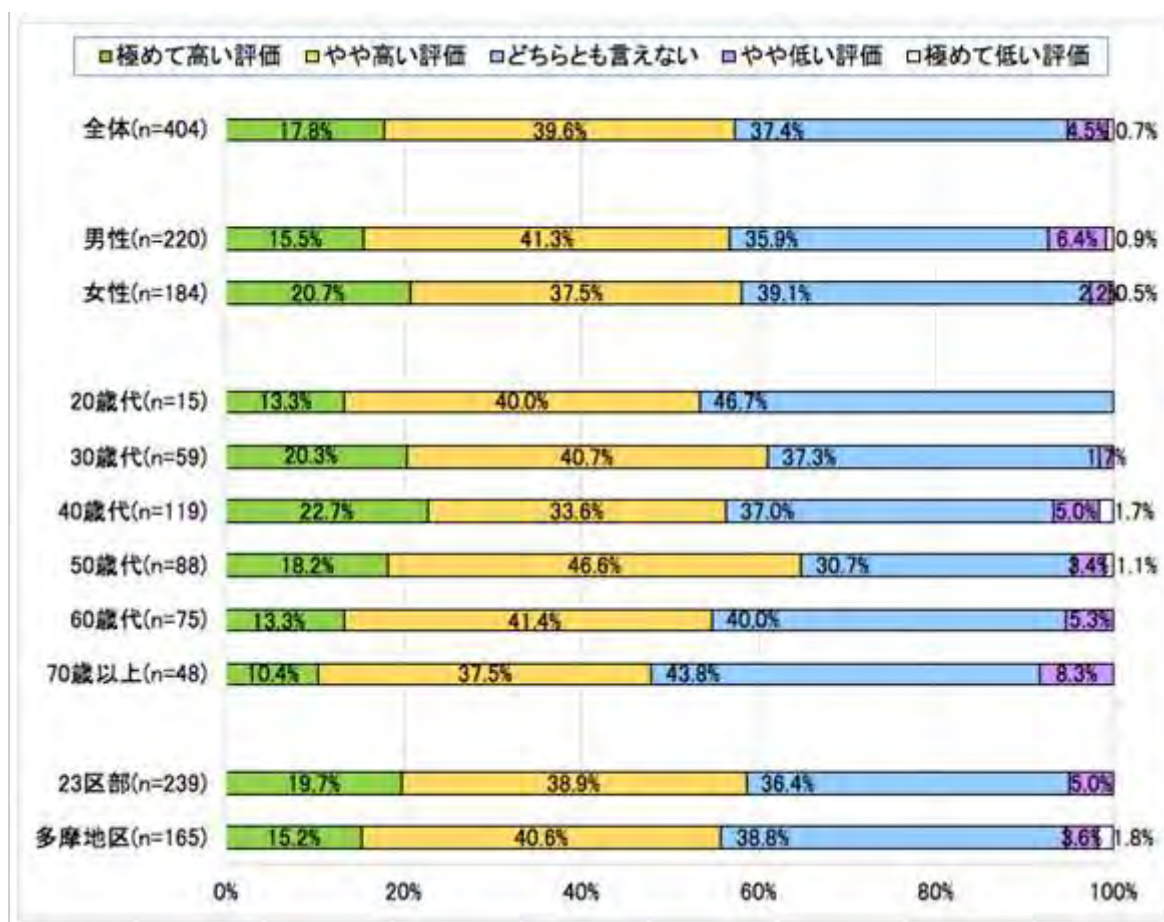


図4-1-3-6 【エネルギー・地球温暖化対策】への評価

4.1.3.7 【東京下水道の「応援団」の獲得】への評価

- ◆ 【東京下水道の「応援団」の獲得】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が57.4%、「どちらとも言えない」が37.4%、「やや低い評価」が4.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が56.8%、女性が58.2%となり、男性と女性で大きな差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』の割合は、50歳代が最も高く64.8%となったが、どの年代での割合も7割に達しておらず低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が58.6%、多摩地区が55.8%となり、23区部と多摩地区で顕著な差はなかった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

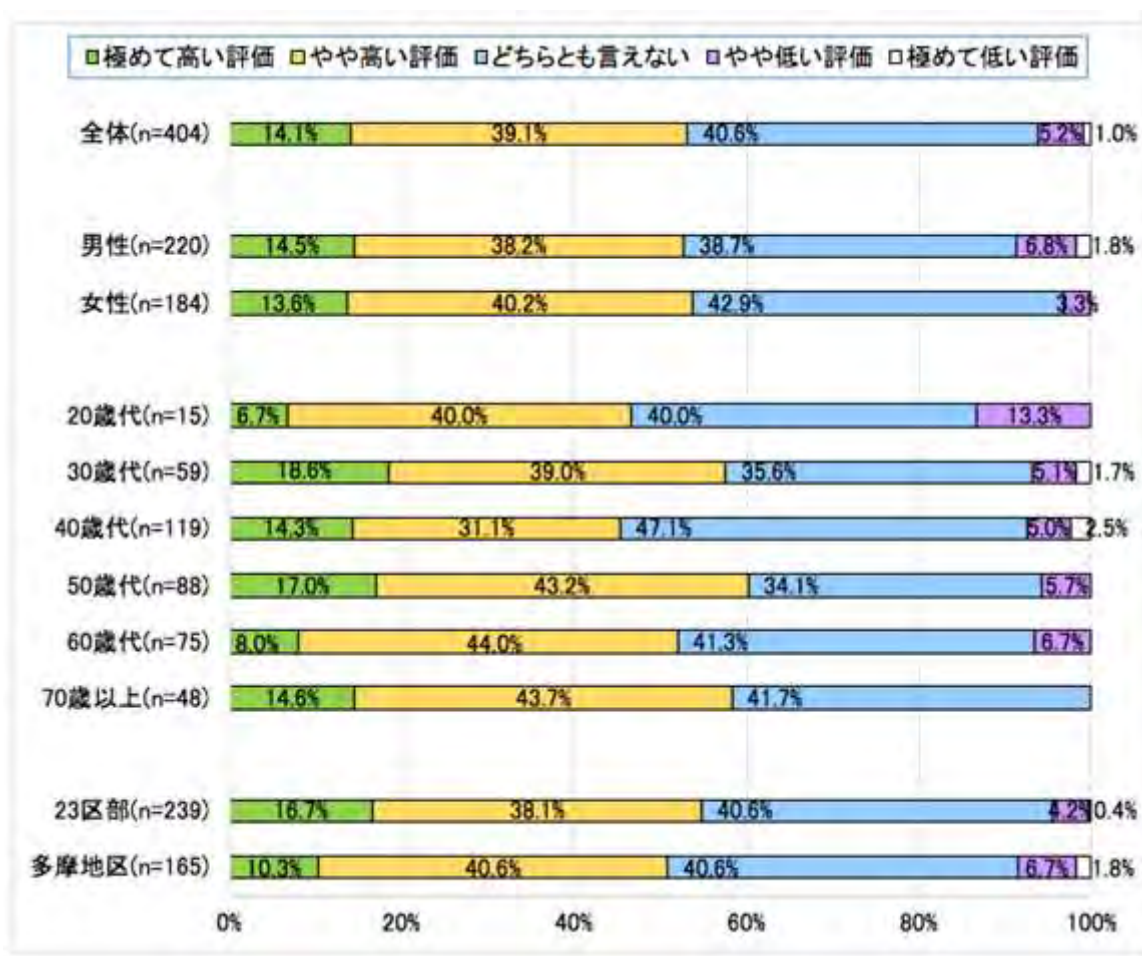


図4-1-3-7 【東京下水道の「応援団」の獲得】への評価

4.1.3.8 【企業努力と財政収支】への評価

- ◆ 【企業努力と財政収支】への評価について、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が53.2%、「どちらとも言えない」が40.6%、「やや低い評価」が5.2%となった。
- ◆ 男女別にみると、『高い評価』では男性が52.7%、女性が53.8%となり、ほとんど差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』の割合が突出して高い年代はなかったが、50歳代が最も高く60.2%となった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が54.8%、多摩地区が50.9%となり、23区部が多摩地区に比べ3.9ポイントと若干高い結果となった。

Q7 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】



図4-1-3-8 【企業努力と財政収支】への評価

4.1.4 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』の各施策への評価が低い理由

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』の各施策への評価が低い理由について、「(選択肢にない区分だが)高い評価」が60.4%と最も高く、次いで「その他」が22.5%、「内容が分かりづらい」が9.9%となった。

Q8 上記Q7の中で、「極めて高い評価」「やや高い評価」、または「やや低い評価」「極めて低い評価」と思われるのはなぜですか？その理由について具体的にお答えください。(自由回答)

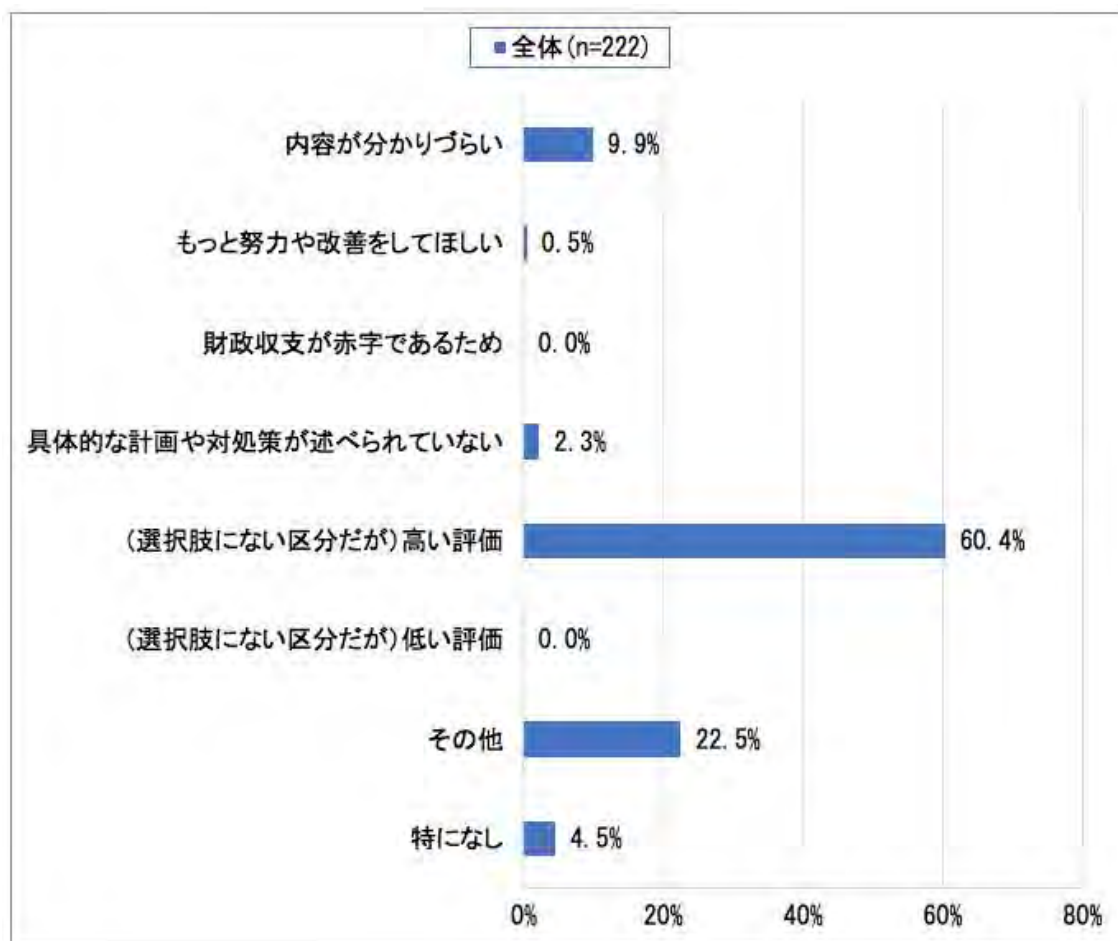


図4-1-4 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』の各施策への評価が低い理由

表 4-1-4 各施策への評価が低いその他の理由

No	内 容
1	震災はいつどこで起こるか分からないから。
2	施策が成功していて、その取り組み方に共感できるものには「極めて高い」、「やや高い」をつけました。一方、成功した事例が書かれていても、「本当は十分に効果を上げていない部分もあるが、それは記していないのでは？」と想像されるものは評価を下げました。「震災対策」などがそれに当たります。
3	東京都の下水道システムはよく運用されていると思う。掛かっている費用が適正かは判断のしようがない。
4	施策内容の評価基準がわかりにくいから。
5	はっきり言って、このアンケート調査の狙いが理解できません。答えに窮しています。
6	個人的に重要な内容と思ったものには評価をし、あまり重要と思わないものは低い評価にした。
7	PR促進拡大すべき。
8	こちらの希望しているとおりの内容が書かれているかどうかです。
9	相対的評価ができない。
10	反省を踏まえて次の目標が立てられているが、なかなか難しいやりくりがされているんだなあと思った反面、もっとこうしたらいいのではないかと思う点もあった。
11	対策の重要性に応じて、それなりの効果的な対策を講じているか否か。
12	喫緊の課題から解決していくことに期待しています。
13	管とマンホールの耐震化。
14	色々。
15	色々な面で工夫？努力されているのがわかりましたが、これを多くの方にとって頂けたらもっと評価されるのでは？
16	大震災や洪水時、下水道管理を通常どおりできるのか不安です。
17	実行して頂きたいと思います。
18	異常気象のような喫緊の課題にもしっかり取り組んでいる点は高評価であるが、省エネはどこでも取り組んでいることでもあり、評価するにはコスト効果などの視点も必要と思われる。
19	震災対策で地震に強い水道管への交換などの対策がとられているが、その工事の後の舗装がガタガタ。
20	これでゲリラ豪雨などに耐えられるならよいと思う。
21	応援団は、子供達だけでなく、高齢者や若者への施策やイベントを増やすとよいと思う。
22	下から目線で検討されている。
23	「応援団」という言葉と実際が合っていない。
24	合流式下水道の改善場所が多くあること。
25	都市インフラの老朽化対策と温暖化対策は、最重要かつ喫緊の課題だと思うので高い評価とした。財政収支は、建設コストとそのため資金調達コストの比率が高すぎて、本来の下水道事業の具体的収支実態が見えにくく透明度が低いので評価は低い。公益事業なので、インフラの更新、再投資は税金で賄わざるを得ない。そうであれば、財政面でも事業会計とある程度分離して表示する方法を検討されたい。
26	企業努力について、国民にとり切っても切れない重要インフラなのだから、事業性や採算性などに縛られずに粛々と遂行すればよいのでは。
27	河川保護のための努力が理解できました。地下にある鉄道、商店街などの保護対策は規模が大きく大変だが、多くの人命に係わるので早急に進めてほしい。
28	これからは自然災害等に取り組んでいくことが必要と思っているから。
29	震災対策、地球温暖化対策は急務と考えます。
30	浸水及び震災対策は緊急課題だから。

No	内容
31	やっていることの必要性の説明が足りない。東京都の低地ばかりの施策であり、高地の人はただただそれを助けているだけ、という構図になっている。下水道料金は同じなのだから公平性が足りないと思う。どんな仕事でも難しいのは当たり前で、それをどう克服していくかが企業努力である。大変だから協力して、は安易な発想と言える。
32	概ね高い評価にしました。震災対策は震災時に起こりうるどういう問題への対策なのか、具体的にわかりづらく感じたので評価がしにくかったです。 応援団については、もっと大人にも関心を持ってもらえる取組ができればいいなという期待を込めて、やや高い評価にしました。 下水道問題は、都市環境や災害などの問題とともに、電気、ガス、(上)水道などと同じ社会インフラの一つとして重要なものなのにあまり意識されていないと思うので、まずは、電気、ガス、(上)水道のレベルまで引き上げて感じてもらえるようになればよいと思います。都市インフラについての講演会とか、他の分野と一緒にアピールしていければよいのかなと思いました。
33	安全な生活のためにメンテナンスを行いながら、将来のために温暖化対策などにも取り組んでいるのは評価できるが取組が弱いように感じる。大企業をはじめ、もっと周りを巻き込んでいくことが必要だと思う。取組が対外的なアピールになるだけでなく、一人ひとりが危機感を持って取り組むべき問題だというPR活動がもっと必要なのではないかと思います。
34	進んで見たいというものをもっと多く取り入れられたらと考えます。
35	下水(雨水対策、合流式の改善、温暖化対策、応援団)の重要性をもっとアピールしてもよいと思います。
36	ゴールが見えない。
37	浸水や震災対策は、いつどれくらいの規模の災害に見舞われるか不確定なものに対して、現状では十分対応していると思われるために高評価をつけた。より強固な対策も考えるが、自然相手のものではキリがないというのが正直なところだと思う。
38	下水道は社会インフラであり、経営の視点では掴みきれない。赤字でも整える必要がある。
39	浸水対策・合流式下水道は、早めに達成することを期待したい。
40	前年度からの積み上げで作業が行われている対策は継続が必要である。ただ、それだけでよいのか、疑問が残る。
41	重要な社会インフラです。Q6にも記しましたが、ただやっていればではなく、広く知らせて関心を高め、高い意識を持てるようにしていく必要があると思います。
42	合流式下水道の改善は、事実上、海に垂れ流しをしていることになるので早急な対応が必要だと思うが、まだ不十分だと思う。
43	震災対策についてはまだまだ不十分なところがあると感じたため。中川の氾濫があったらどうなるか?浸水対策は大丈夫か疑問に思う。
44	下水道をよりよくするを行っています、まだまだ改善していくことがあるので、やや高い評価にしました。
45	ここ数年、異常気象による集中豪雨の災害があまりに多く、多数の死者が出ています。従来の考え方ですと河川の氾濫が浮かびますが、23区では特に、都心にある地下鉄の駅構内、地下にある飲食店街や市街化区域に人が集中する傾向があるので特に気がかりです。都の北西部にある練馬区や板橋区は、地盤の起伏が激しく工事の難航が予想されます。都全体では、下水道局が着実に工事をしてくださり、施設整備も半数は完了していますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。
46	安全、安心の暮らしのためには、災害対策等が不可欠であり、対応していただきたいです。
47	できることは何でもやってみたらよい。やりながら修正すればよいと思う。
48	問7、問8について比較したものをモニターに提示すればよいのではないかと。特に「高度処理」などは、工場等が多い地区には当然導入すべきだと思うが、それ以外の地区については除害施設の設置義務があるのだから監視業務に力点を置いた方がよい。高度処理するには建設費も高いことから財源問題からも高度処理は限定的にすべきではないのか。公共用水域が汚染されない範囲で実施し、あとは行政能力で対応するのではないかと。
49	地道に努力されていることは理解できました。しかしながら、震災対策はもっとスピード感を持って行かないと、来るべき首都直下地震などの災害に対応できなくなる恐れがあり対応を望みます。
50	先日、下水処理場を見学して下水道事業は重要で大変だと思ったので、少しでも良くなるなら是非やってほしい。

4.1.5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への期待度

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』で「2.【浸水対策】」が78.5%と最も高く、次いで「3.【震災対策】」が76.3%、「1.【再構築】」と「5.【高度処理】」が同率で72.8%となっている。一方、理解度や評価と同様に、実施内容が見えづらい施策では期待度も低い傾向にあり、「8.【企業努力と財政収支】」は54.9%と最も低い結果となった。
- ◆ 経年変化を見ると、全ての施策で、『期待できる』の割合に低下傾向が見られる一方、「どちらとも言えない」「あまり期待できない」の割合は増加しており、各施策の見せ方を再検討する必要性が示唆された。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)

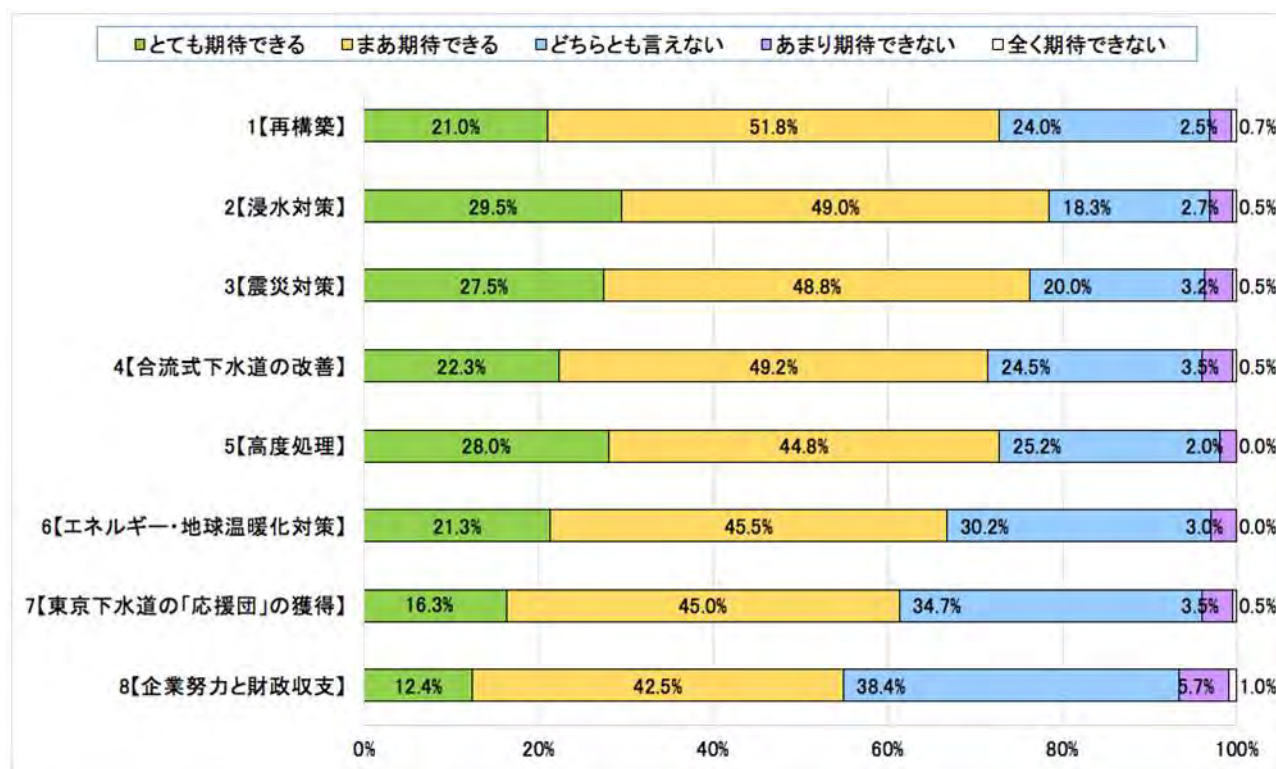
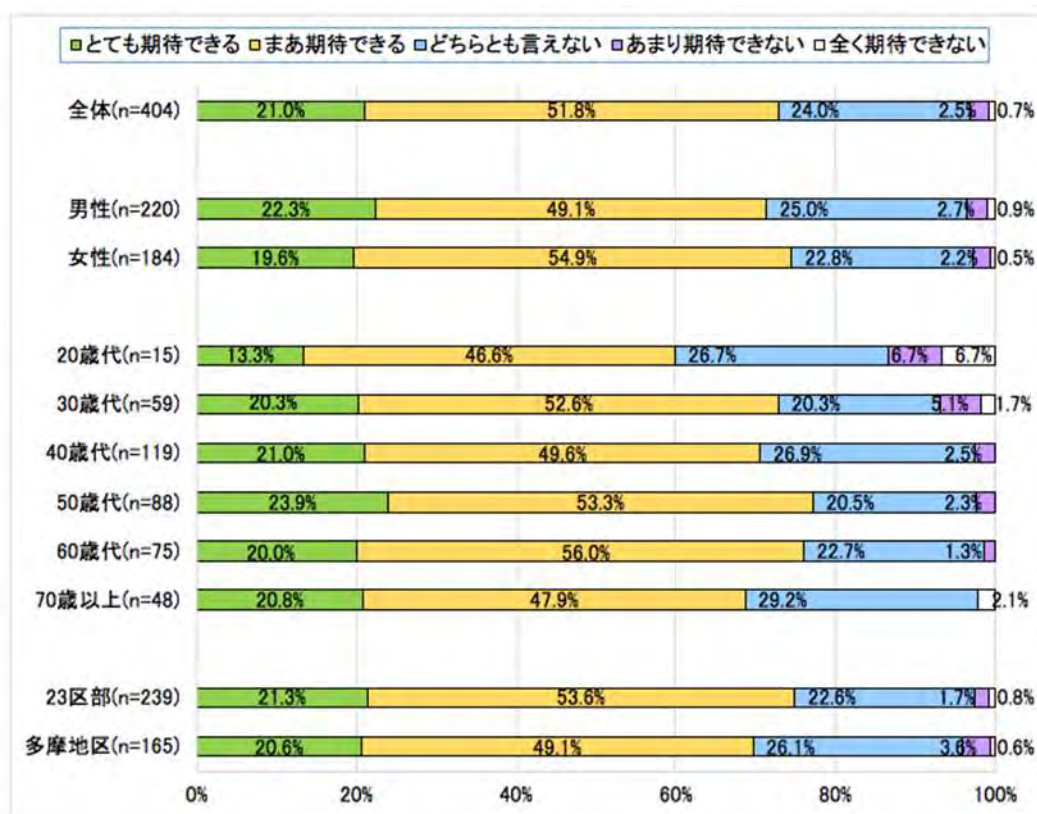


図4-1-5 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』への期待度

4.1.5.1 【再構築】への期待度

- ◆ 【再構築】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が72.8%、「どちらとも言えない」が24.0%、「あまり期待できない」が2.5%、「全く期待できない」が0.7%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が71.4%、女性が74.5%となり、女性が男性より3.1ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では50歳代が77.2%と最も高く、次いで60歳代が76.0%、30歳代が72.9%となった。一方、20歳代は59.9%と他の年代に比べ低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が74.9%、多摩地区が69.7%となり、23区部が多摩地区より5.2ポイント高い結果となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

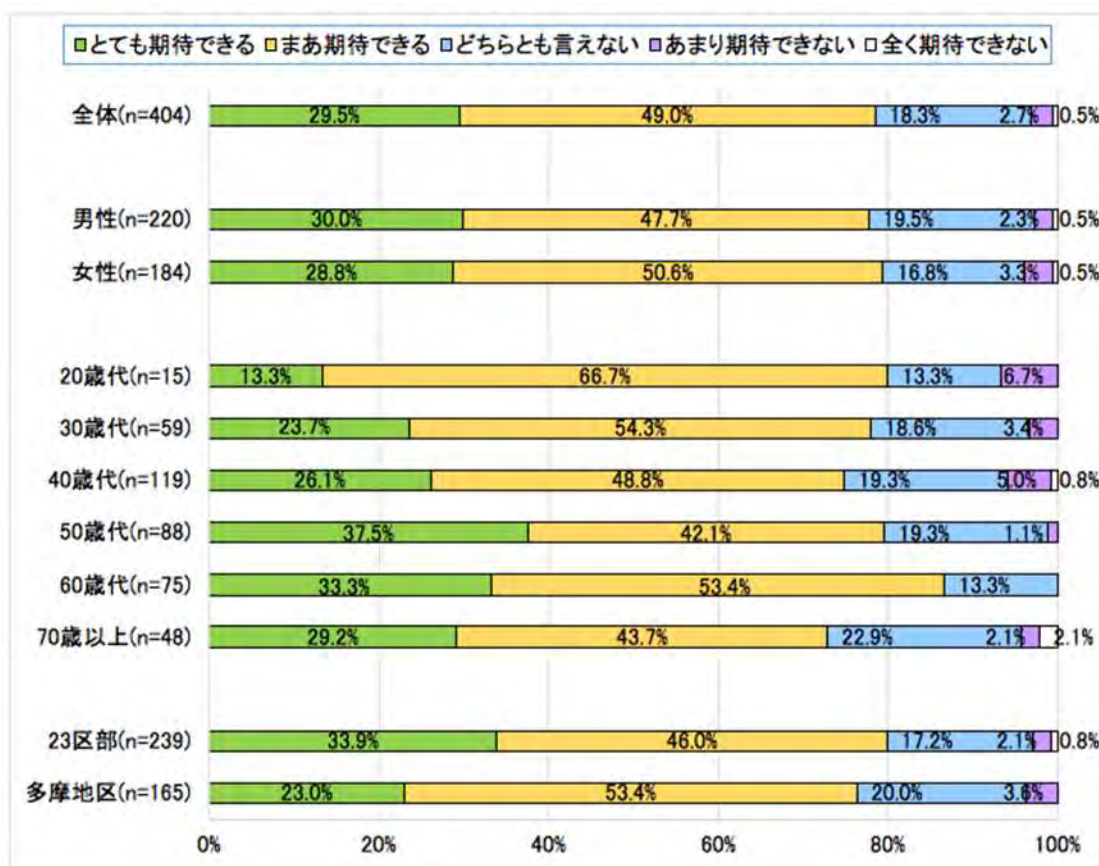


図4-1-5-1 【再構築】への期待度

4.1.5.2 【浸水対策】への期待度

- ◆ 【浸水対策】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が78.5%、「どちらとも言えない」が18.3%、「あまり期待できない」が2.7%、「全く期待できない」が0.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が77.7%、女性が79.4%となり、男性と女性で大きな差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では60歳代が86.7%と最も高く、次いで20歳代が80.0%、50歳代が79.6%となったが、どの年代も『期待できる』の割合は7割を超え、期待度が高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が79.9%、多摩地区が76.4%となり、23区部が多摩地区に比べ3.5ポイントと若干高い結果となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

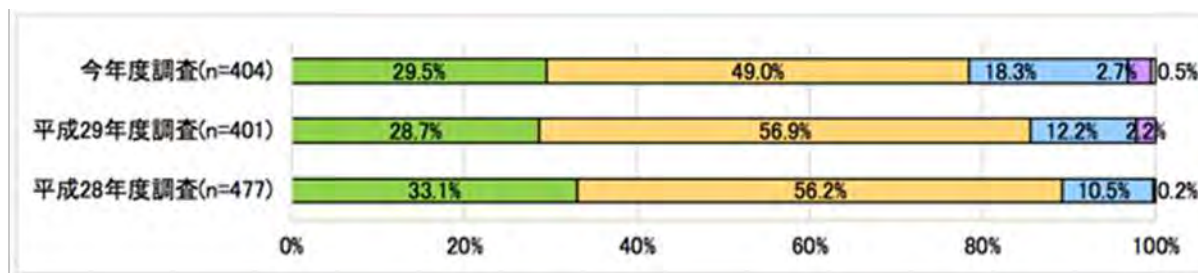
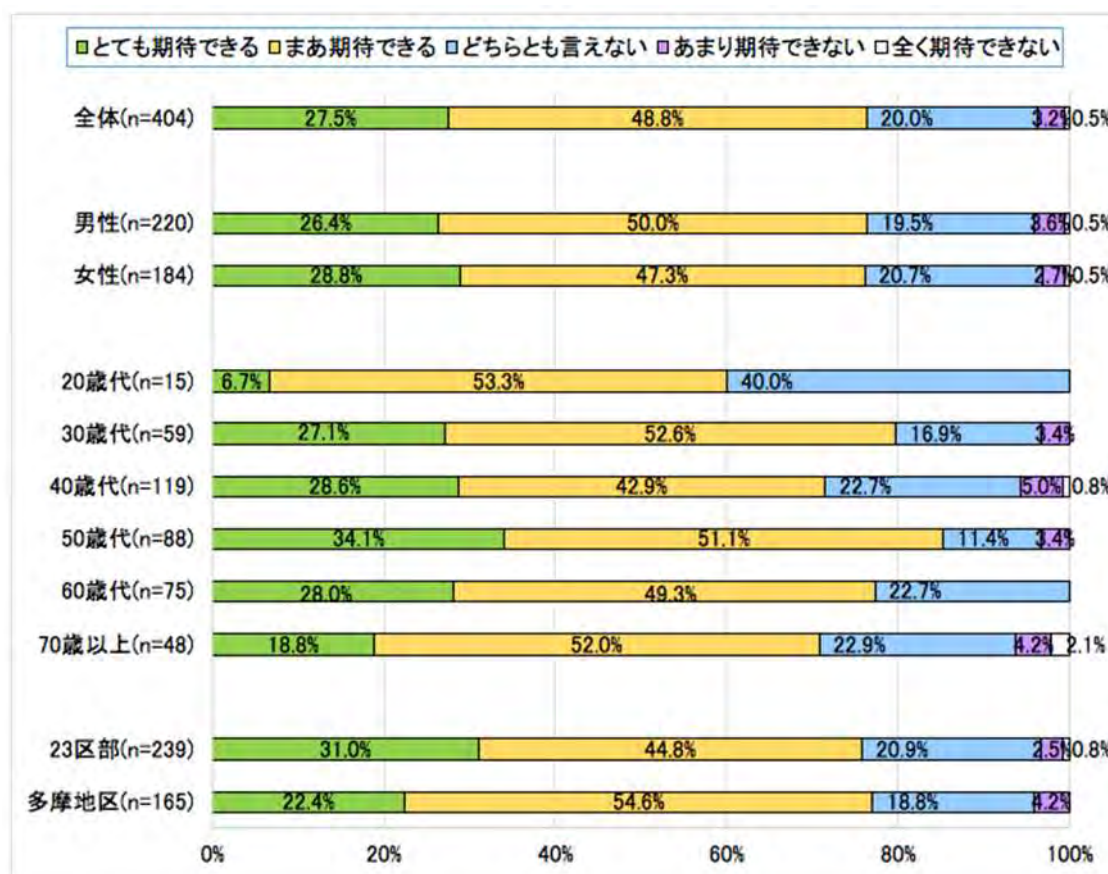


図4-1-5-2 【浸水対策】への期待度

4.1.5.3 【震災対策】への期待度

- ◆ 【震災対策】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が76.3%、「どちらとも言えない」が20.0%、「あまり期待できない」が3.2%、「全く期待できない」が0.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が76.4%、女性が76.1%と、男性と女性でほとんど差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では50歳代が85.2%と最も高く、次いで30歳代が79.7%、60歳代が77.3%となった。全体的に期待度は高い結果となったが、20歳代は60.0%と低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が75.8%、多摩地区が77.0%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

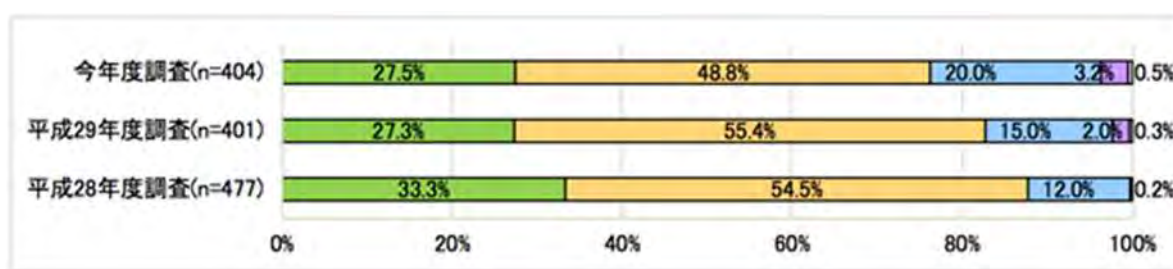
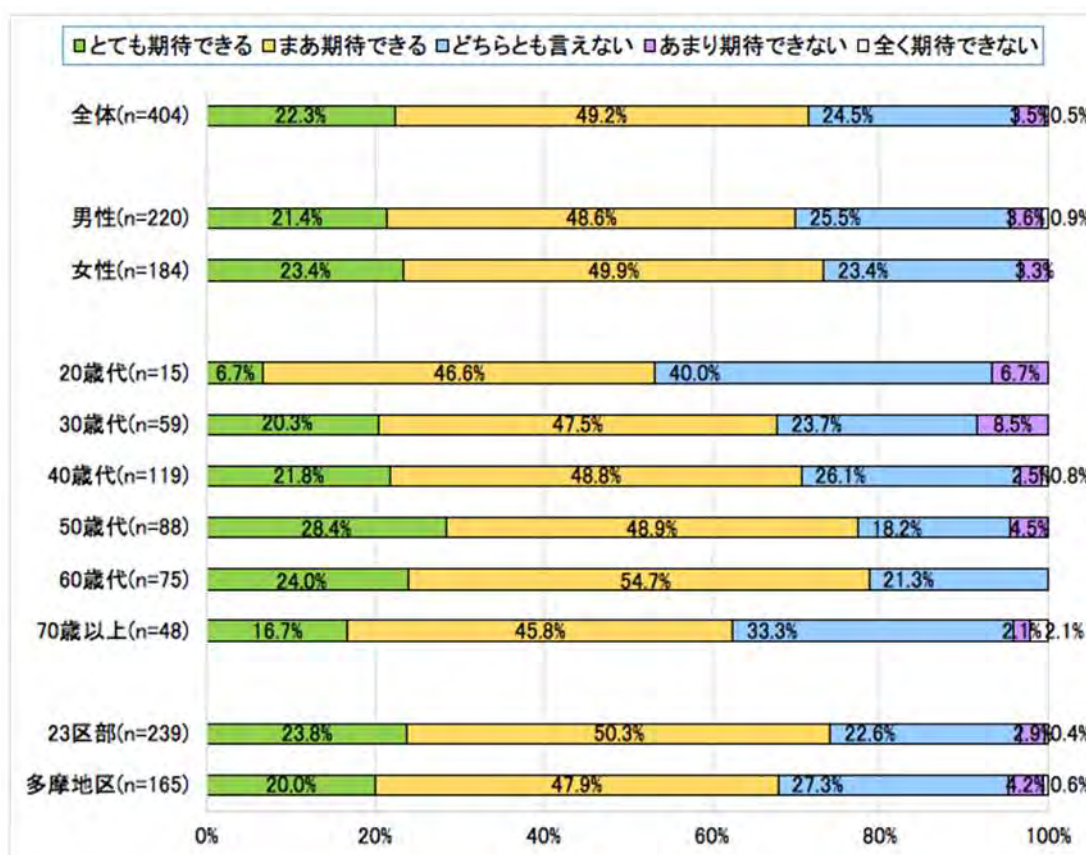


図4-1-5-3 【震災対策】への期待度

4.1.5.4 【合流式下水道の改善】への期待度

- ◆ 【合流式下水道の改善】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が71.5%、「どちらとも言えない」が24.5%、「あまり期待できない」が3.5%、「全く期待できない」が0.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が70.0%、女性が73.3%と、女性が男性に比べ3.3ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では60歳代が78.7%と最も高く、次いで50歳代が77.3%、40歳代が70.6%となった。一方、20歳代は53.3%となり、6割を超える他の年代に比べ低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が74.1%、多摩地区が67.9%となり、23区部が多摩地区より6.2ポイント高い結果となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

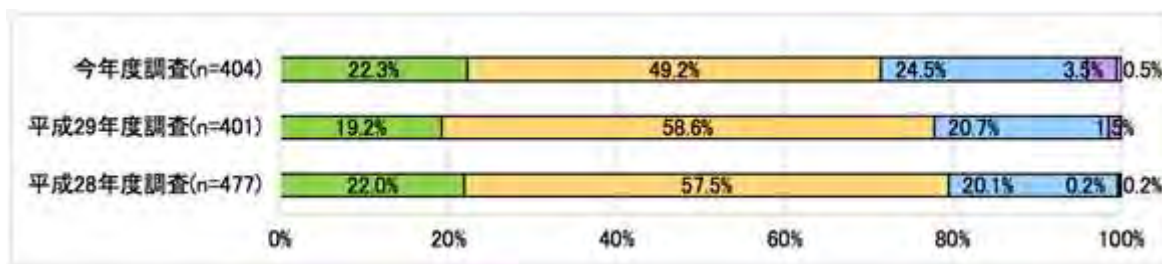
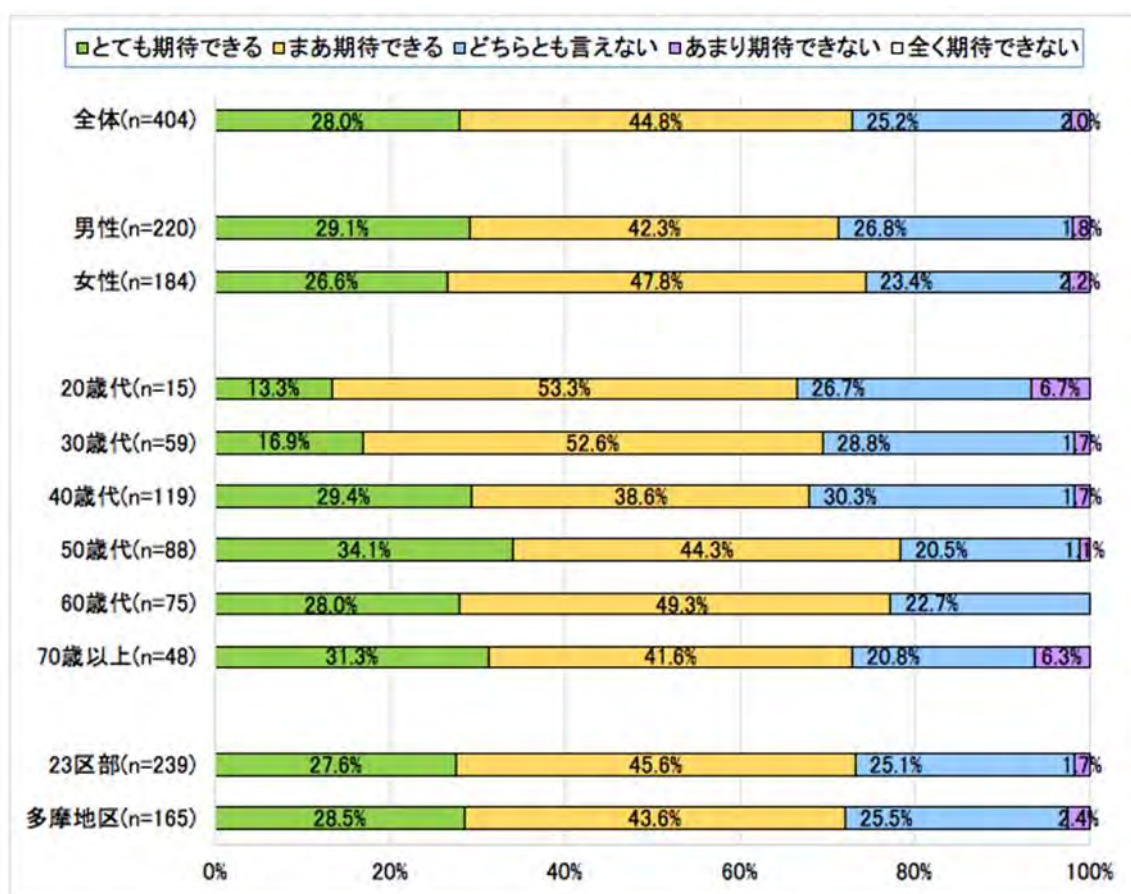


図4-1-5-4 【合流式下水道の改善】への期待度

4.1.5.5 【高度処理】への期待度

- ◆ 【高度処理】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が72.8%、「どちらとも言えない」が25.2%、「あまり期待できない」が2.0%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が71.4%、女性が74.4%となり、女性が男性に比べ3.0ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では50歳代が78.4%と最も高かった。また、他の年代は50歳代を頂点に年代の上昇、低下ともに『期待できる』の割合は低下傾向を示した。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が73.2%、多摩地区が72.1%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

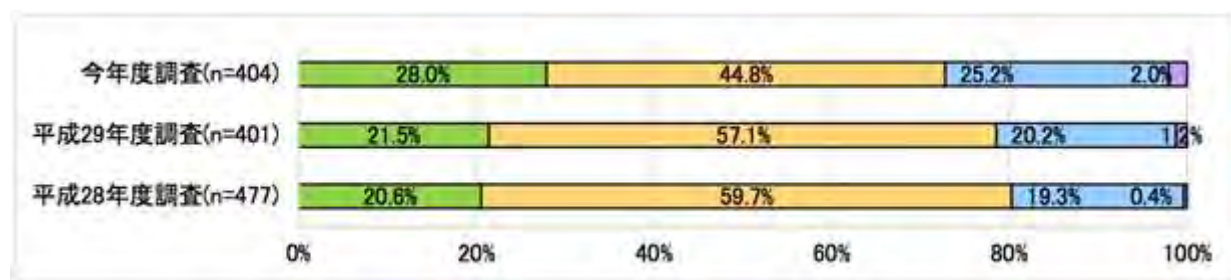
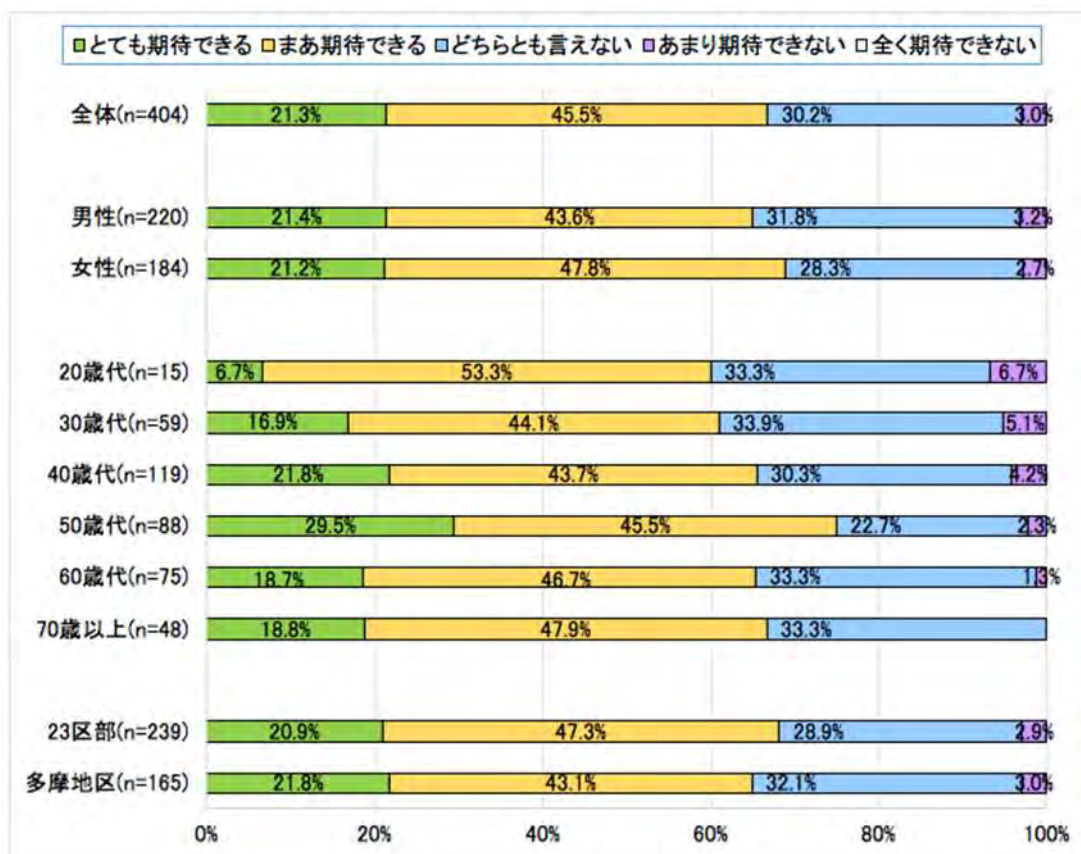


図4-1-5-5 【高度処理】への期待度

4.1.5.6 【エネルギー・地球温暖化対策】への期待度

- ◆ 【エネルギー・地球温暖化対策】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が66.8%、「どちらとも言えない」が30.2%、「あまり期待できない」が3.0%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が65.0%、女性が69.0%となり、女性が男性より4.0ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では50歳代が75.0%と最も高かったが、他の年代では大きな差は見られなかった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が68.2%、多摩地区が64.9%となり、23区部が多摩地区に比べ3.3ポイントと若干高い結果となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

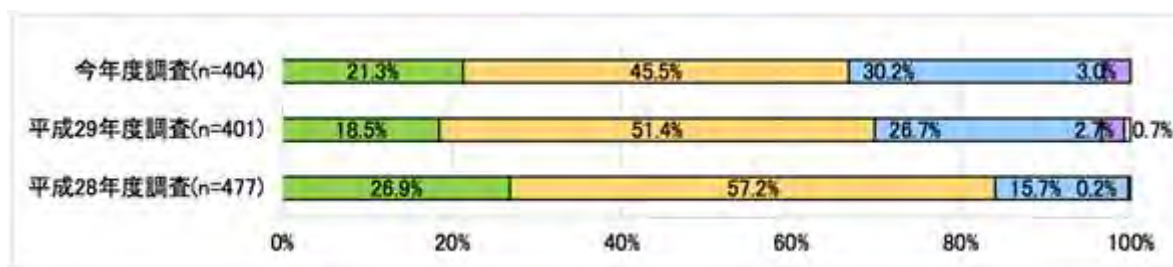
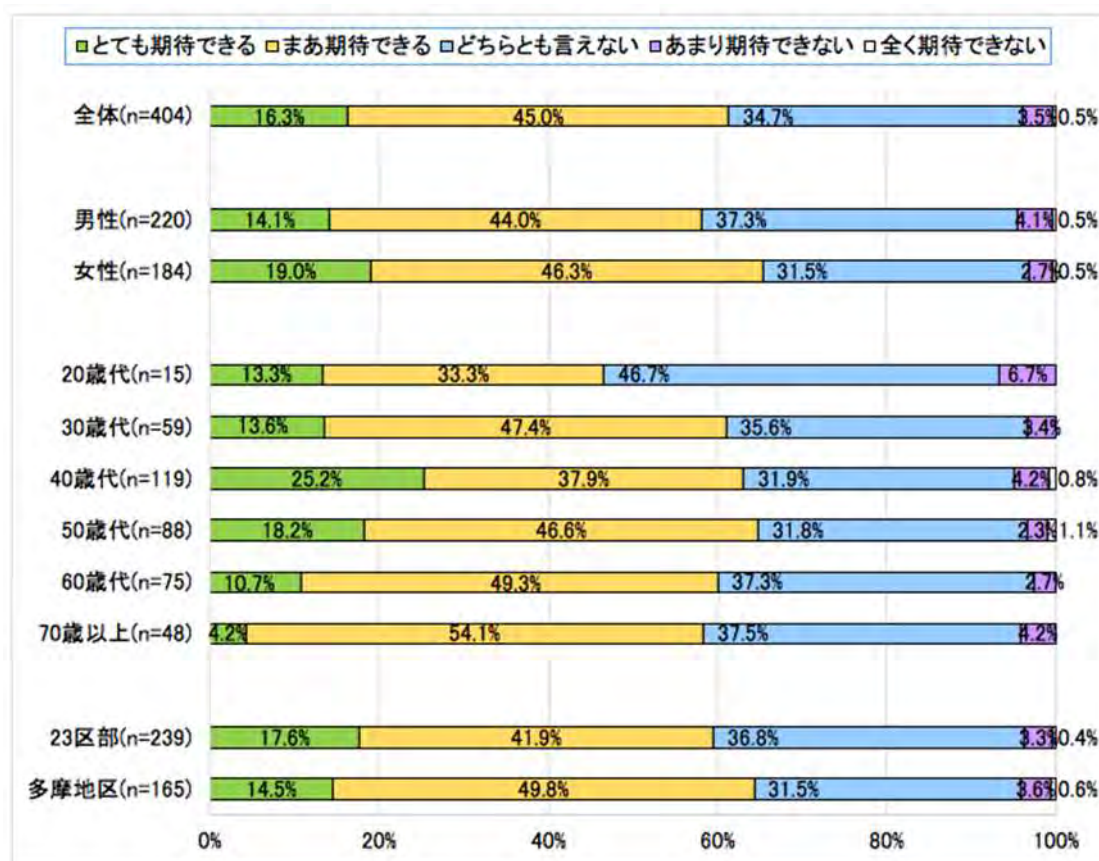


図4-1-5-6 【エネルギー・地球温暖化対策】への期待度

4.1.5.7 【東京下水道の「応援団」の獲得】への期待度

- ◆ 【東京下水道の「応援団」の獲得】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が61.3%、「どちらとも言えない」が34.7%、「あまり期待できない」が3.5%、「全く期待できない」が0.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が58.1%、女性が65.3%となり、女性が男性より7.2ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』では20歳代が46.6%と最も低かったが、他の年代では大きな差は見られなかった。一方、「とても期待できる」の割合は40歳代から上の年代で低下傾向が見られたことから、今後は40歳代から上の年代への、効果的なPRが必要と考える。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が59.5%、多摩地区が64.3%となり、多摩地区が23区部に比べ4.8ポイント高い結果となった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

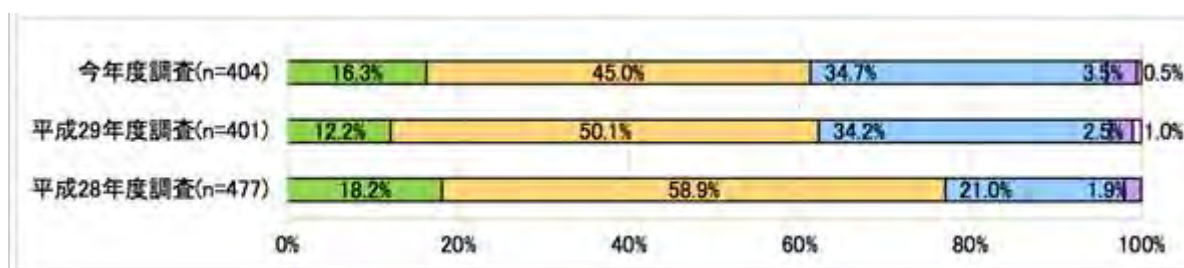
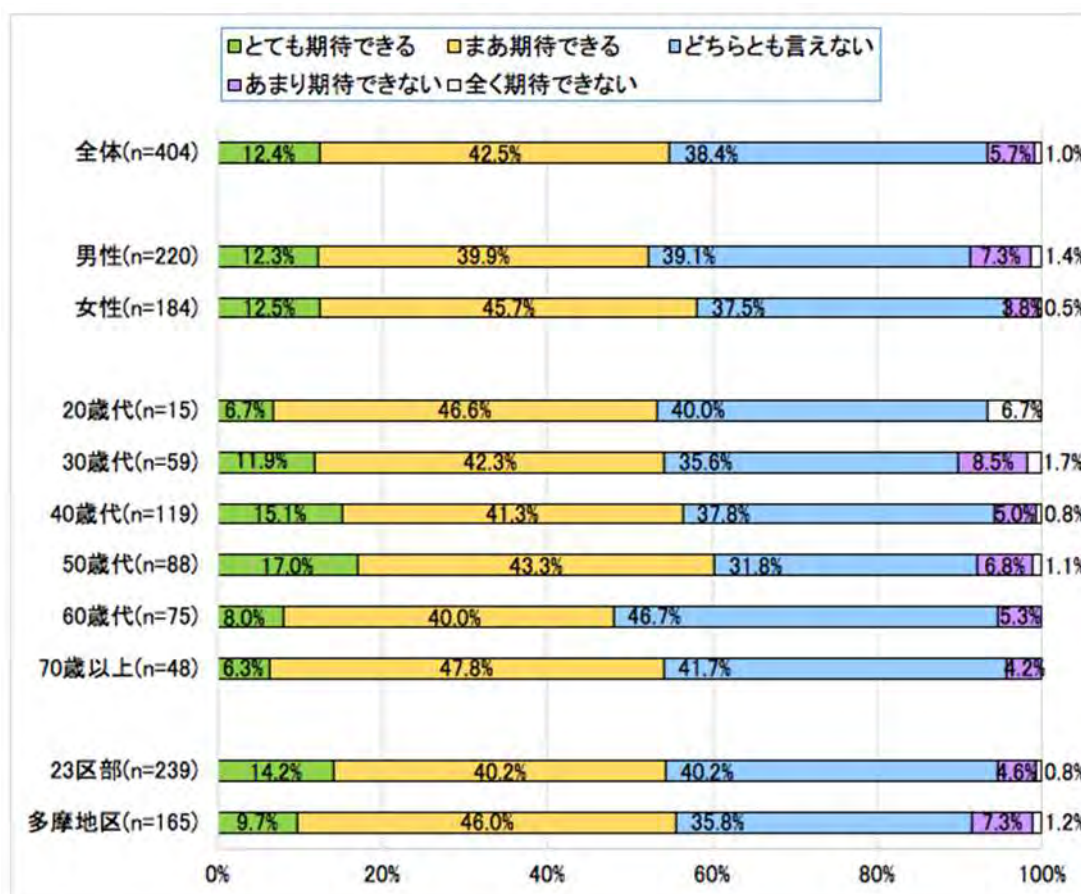


図4-1-5-7 【東京下水道の「応援団」の獲得】への期待度

4.1.5.8 【企業努力と財政収支】への期待度

- ◆ 【企業努力と財政収支】への期待度について、「とても期待できる」と「まあ期待できる」を合わせた『期待できる』が54.9%、「どちらとも言えない」が38.4%、「あまり期待できない」が5.7%、「全く期待できない」が1.0%となった。
- ◆ 男女別にみると、『期待できる』では男性が52.2%、女性が58.2%となり、女性が男性より6.0ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『期待できる』の割合は50歳代が60.3%となり最も高かったが、全体的に、どの年代も『期待できる』の割合は4割から5割の間で低かった。
- ◆ 地区別にみると、『期待できる』では23区部が54.4%、多摩地区が55.7%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。

Q9 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』をお読みにになり、以下に示す各施策等について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

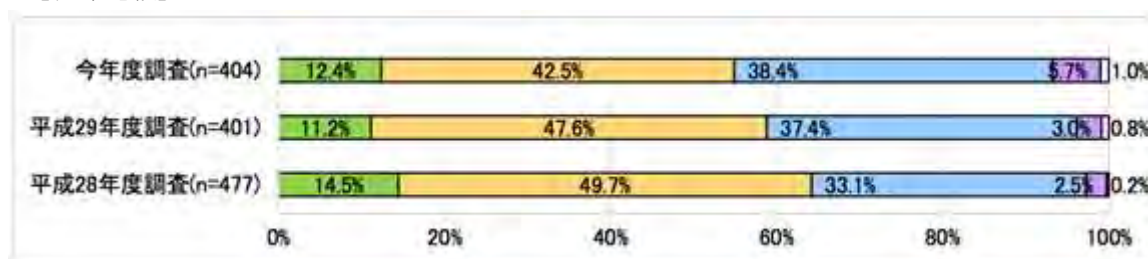


図4-1-5-8 【企業努力と財政収支】への期待度

4.1.6 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』に対する感想や意見

- ◆ 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』に対する感想や意見については、「活動に期待している/がんばってください等の激励や感謝」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「知ることができてよかった/理解することができた」の割合が 17.2%となった。

Q10 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』に対する率直なご感想やご意見などをお聞かせください。
(自由回答)

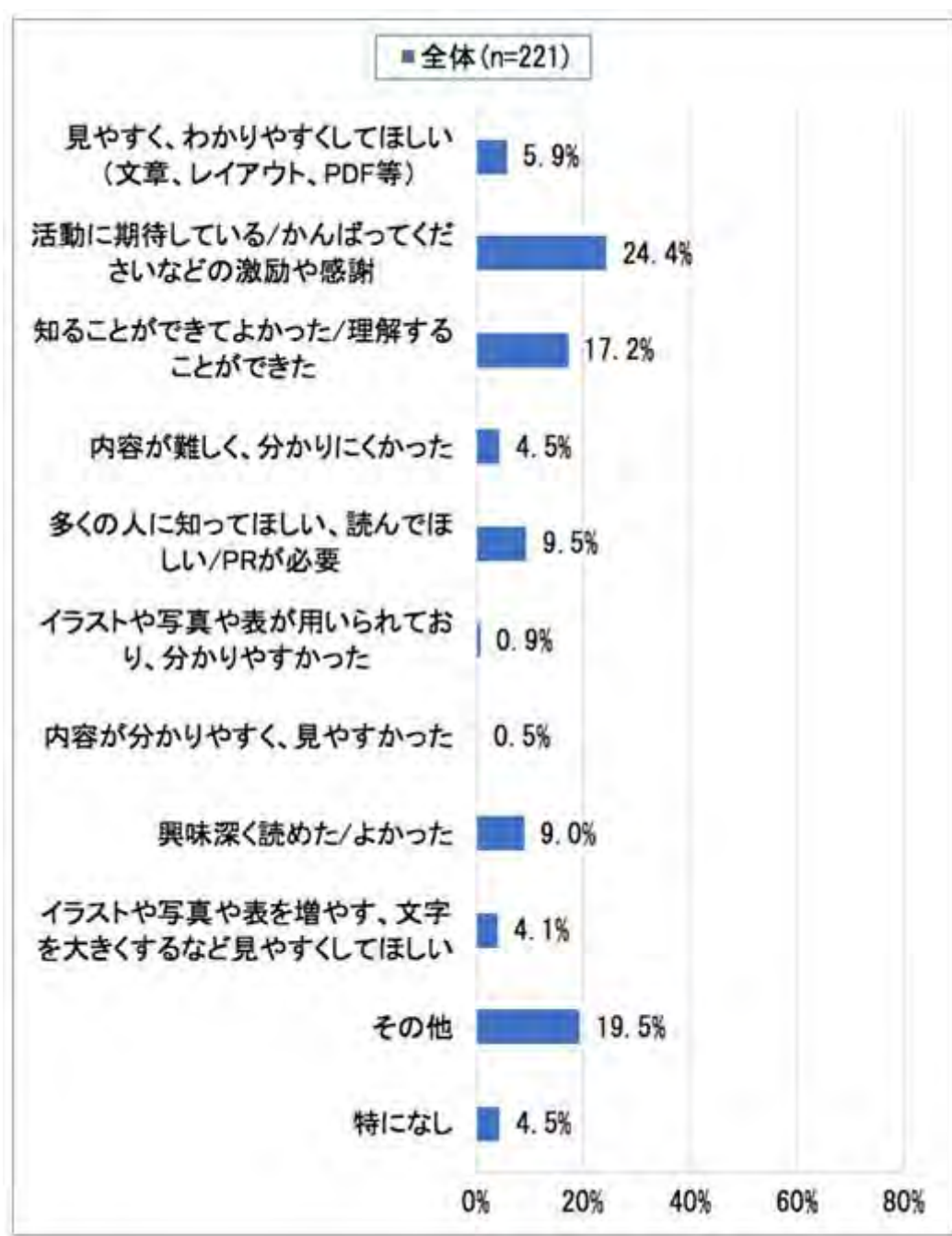


図 4-1-6 『東京都下水道事業 経営レポート 2018』に対する感想や意見

表4-1-6 『東京都下水道事業 経営レポート2018』に対する感想や意見

No	内容
1	このあたりではありませんが、大雨による浸水被害のニュースを見た時、他人事ではないと考えさせられました。少しでも災害の可能性があるのであれば対策をお願いします。
2	莫大な費用を掛ければいくらでも良くなるだろうが、目標をどこに置くのかが重要だと思う。
3	下水道事業の財政収支の状況が「黒字」なのか「赤字」なのかがわかりません。都民として、下水道事業は絶対に重要な事業ですので、黒字にはならなくても、赤字財政には絶対になってはなりません。
4	実際の浸水対策は、ゲリラ豪雨の雨量を考えるとなかなか厳しいと感じるため。
5	浸水対策はこまめにチェックするべきだと思います。
6	超過密都市の東京都には、もっと予算がないと十分な下水道は造れないと思います。
7	文章量が多く読むのが大変な感がある。今後、下水道の維持管理を行うためのコストの将来予測がほしい。
8	浸水対策において、自分の住んでいる場所がどんな分類にあたるのか、よくわからない。
9	コスト削減対策などの記事があると良かったと思います。
10	水道民営化が話題となっているので、27、28 ページの内容は次回からもう少し情報量を増やしてほしい。
11	中身は見やすいですが、興味を持って見る人はいるのかと思いました。
12	予算が限られているであろう中で、どれほど納得できる施策が可能なのか気になる。
13	3年後にならないと評価は難しいのではないのでしょうか。
14	レポートから伝わってきたことが少なすぎた。
15	課題に対する対策の進捗を示すという方向性はよいと思います。計画から遅れがある部分については、今後の対応の説明があればよいと思いました。
16	もっと下水道料金が安くなるとよいと思う。
17	温暖化対策や応援団は必要な活動なのかどうか不明。
18	必要な取組であることは理解できましたが、費用対効果が見えにくく、どのようにアピールするかが大事であると感じました。
19	「合流式下水道の改善」に関して、世田谷区では計画がないのが少々疑問です。必要がないのか？できないのか？
20	真摯な取組に対して素直に敬意を表します。ただ、経営レポートなので結果説明で十分とは思いますが、浸水対策は昨今話題になっている異常気象対応について、震災対策では震災後の復旧技術の研究もしくは取組の方向性について、それらの一端をお示しいただくと次世代へ向けた長期戦略につながるのかなと思いました。
21	中長期計画に基づき粛々と進められている感があるが、進めていく上での課題や年度ごとに特徴的な点があれば良かった。
22	いつ起きてもおかしくない震災への対策などは今後とも注目していきたい。
23	2016 との違いがわからない。
24	震災時の対応について確実な対応を検討していただきたい。
25	素人にはわかりやすくしてくれればよかったし、一つのレポートを読ませて、そのあとでチャッチャアンケートを取ってくれた方が記憶されているから、もっと正確に答えられたと思います。
26	地球温暖化対策はしなくてもよいと思います。少なくとも下水道は関係ないし、寒冷化に向かう確率の方が高そうだから。
27	ISO9001 を取得した方がよいのではないのか？リスクと機会という観点で資料がまとまっていないため、提示されたことを実施すると、どのリスクが解消されるのかが全体を通してわからない。
28	企業努力が満足の域に達していない気がする。人と金と独占的地位があるのだからもっとできる。
29	2つか3つ前の質問部分にも書いたのですが、できれば、「紙のコピー」を送ってほしかったです。 【コラム2】東京下水道の「見せる化」というところは結構面白かったので、もっと「へえ！」と思えるようなトピックを各所に散りばめておくのはいかがでしょう。
30	上場企業のレポートや分析資料と比べると見劣りする。また、そういったレポート作成ができないからと言って外部に委託するのは間違っている。どこの企業もやっている。
31	高度処理は期待できるがその他は疑問。

No	内 容
32	達成感がわからない。とりあえずこの数字はやっときましよう的なお役所仕事になるのかな。民間企業のように飽くなき探究心を持って改善努力を惜しまない、という働きぶりはあまり期待できない。
33	現在政府が提案している、都税予算の一部を移行する案が具体的にどこまで下水道対策に影響するのか、都と国の役割、責任について知りたい。
34	下水道管や排水管破裂などのニュースを聞くと不安になる。
35	東京都は23区と多摩地区で成り立っているので、多摩地区への取組を23区と同様に取扱うべきである。多摩地区への差別に感じる。今、法人事業税の再配分が議論されているが、不公平な取扱いは様々な分野で東京都もやっていることなので、国にとやかく言える立場ではない。
36	計画と達成感が一目瞭然となるような見やすいものでないと、開いてみてもあまり興味を感じない。大きな流れとして、公共事業ゆえに必要なに応じて予算がつき実施されていくものと考えてるので、具体的な費用対効果まで判断できない。実施部門の方々に信じて事業を遂行して頂くべきと考える。ただ、先日の豊洲市場移転を掌る責任者には呆れたが。
37	直近でやるべきこと、数年かけてやるべきこと、将来に渡ってやるべきこと、がうまく整理されていない気がした。
38	一般市民の下水道モニターに問う資料は、もう少し整理して端的な問いをお願いします。
39	希望する回答者には冊子を送付してもらえた方が、電波を通してよりも熟読できると思いました。
40	企業努力をしていることはわかったが、累計資金不足が今後どれほど減っていくのか見当がつかないから。
41	エネルギー温暖化対策は、以前と比較すると多くの場所で見かけるようになりましたが、全体では微々たるものと思われるので、資源のリサイクル、熱エネルギーや中水道など、無駄にしない有効利用を望みます。
42	これだけやっていて、水道が民営化されるって、どうなんでしょうか？

4.2 下水道モニターの感想について

4.2.1 下水道モニターアンケートの頻度

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度について、「1.【実施数（4回／年）】」では、「適当」の割合が82.4%と最も高く、次いで「少ない（短い）」が15.1%、「多い（長い）」が2.5%となった。
- ◆ 「2.【設問数（15～20問）】」では、「適当」の割合が80.7%と最も高く、次いで「多い（長い）」が18.6%、「少ない（短い）」が0.7%となった。
- ◆ 「3.【実施期間（約2週間）】」では、「適当」の割合が84.2%と最も高く、次いで「少ない（短い）」が10.6%、「多い（長い）」が5.2%となった。
- ◆ 「4.【実施間隔（約2か月ごと）】」でも、「適当」の割合が85.4%と最も高く、次いで「少ない（短い）」が9.4%、「多い（長い）」が5.2%となった。
- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度については、多くのモニターが適当と考えていることがわかった。

Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15～20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。（単一回答）

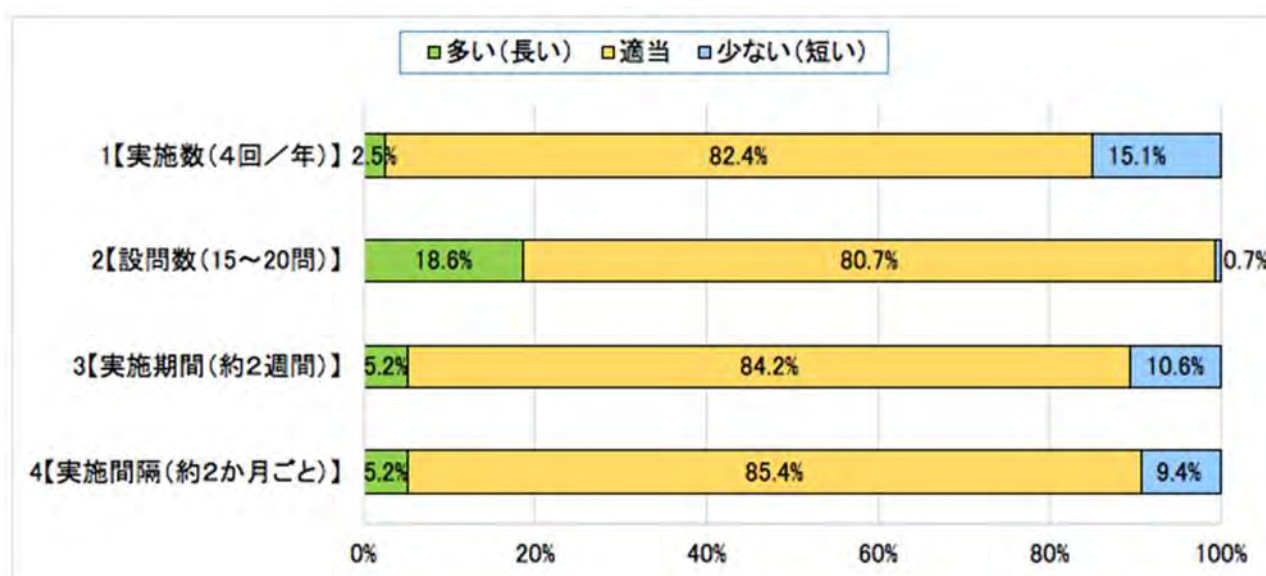
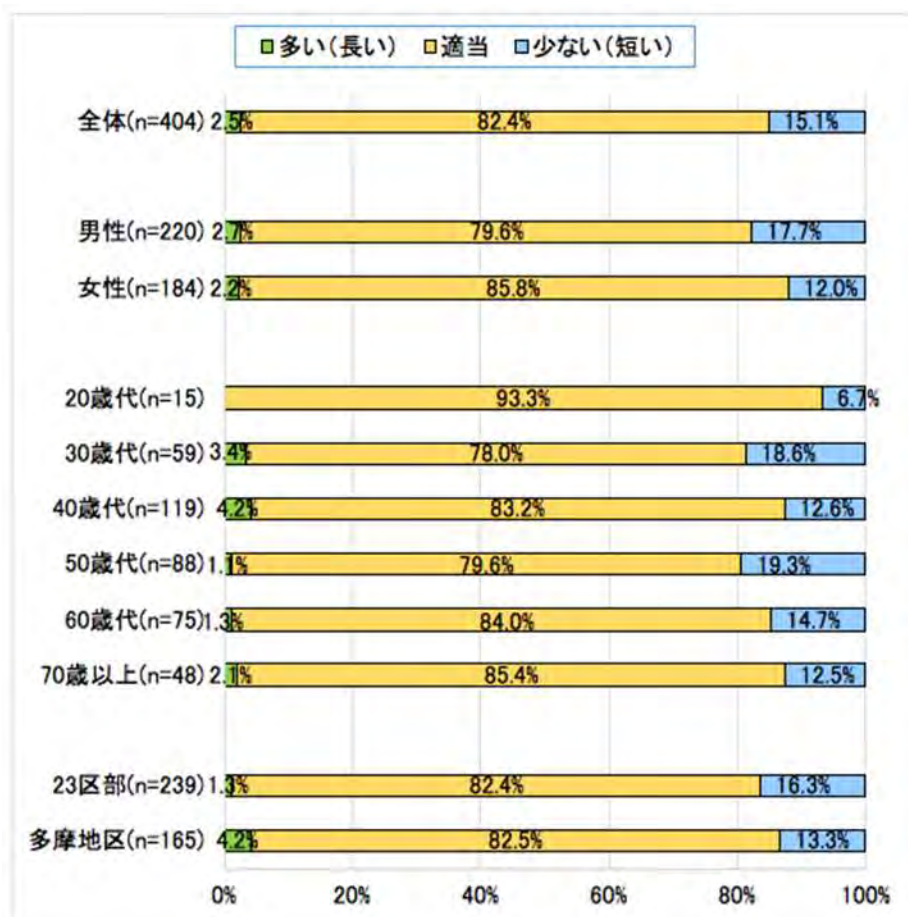


図4-2-1 下水道モニターアンケートの頻度

4.2.1.1 下水道モニターアンケートの頻度【実施数（4回／年）】

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度【実施数（4回／年）】を男女別にみると、「適当」では男性が79.6%、女性が85.8%と、女性が男性より6.2ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「適当」では20歳代が93.3%と最も高く、次いで70歳以上が85.4%、60歳代が84.0%となったが、どの年代も7割を超える高い割合を示した。
- ◆ 地区別にみると、「適当」では23区部が82.4%、多摩地区が82.5%となり、23区部と多摩地区で差は見られなかった。
- ◆ 経年比較でみると、「適当」の割合は年度の違いによる顕著な差は見られなかった。

Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15～20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するもの一つだけお選びください。（単一回答）



【経年比較】

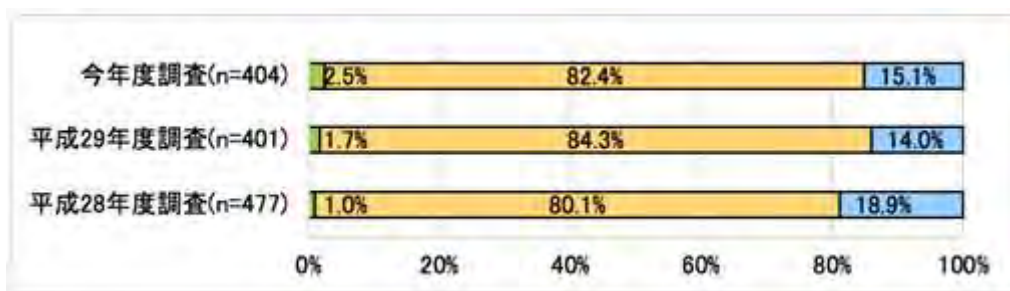
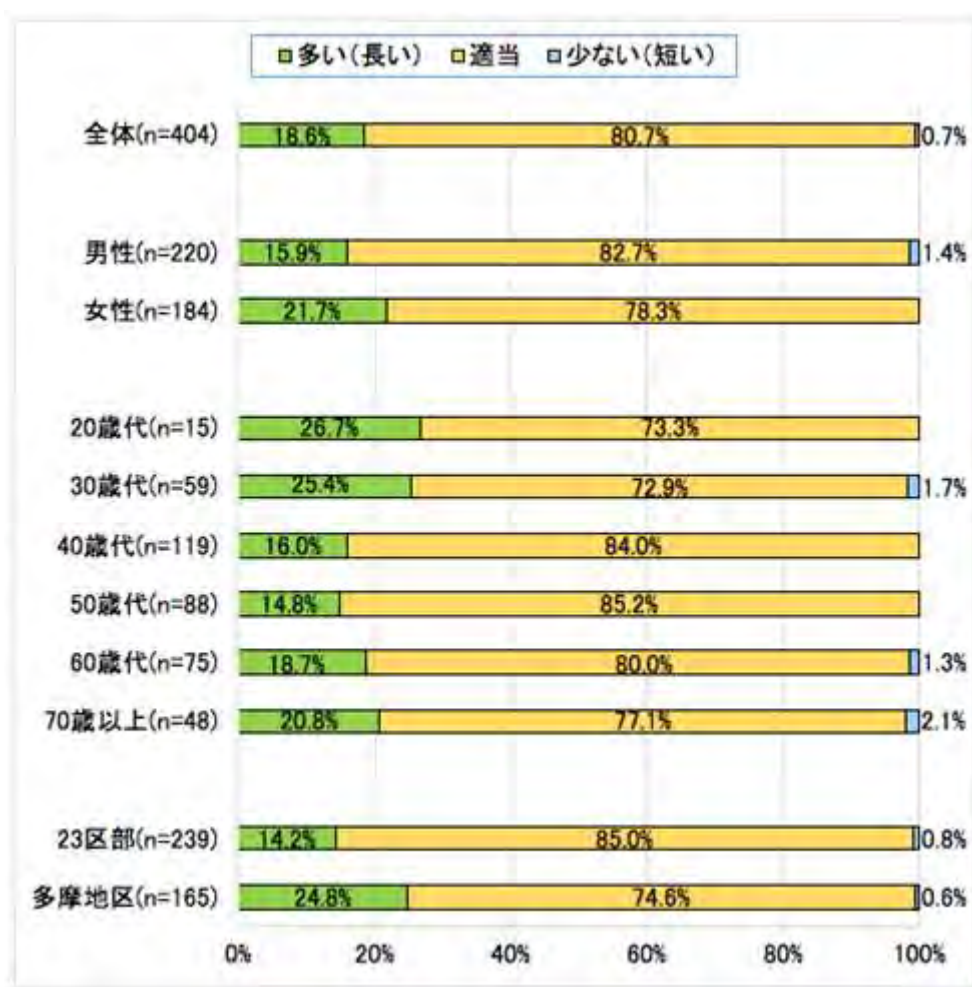


図4-2-1-1 下水道モニターアンケートの頻度【実施数（4回／年）】

4.2.1.2 下水道モニターアンケートの頻度【設問数（15～20問）】

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度【設問数（15～20問）】を男女別にみると、「適当」の割合は男性が82.7%、女性が78.3%となり、男性が女性より4.4ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「適当」の割合は、50歳代が85.2%と最も高く、次いで40歳代が84.0%、60歳代が80.0%となった。
- ◆ 地区別にみると、「適当」の割合は、23区部が85.0%、多摩地区が74.6%となり、23区部が多摩地区より10.4ポイント高い結果となった。
- ◆ 経年比較でみると、「適当」の割合は年度の違いによる顕著な差は見られなかった。

Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15～20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。（単一回答）



【経年比較】

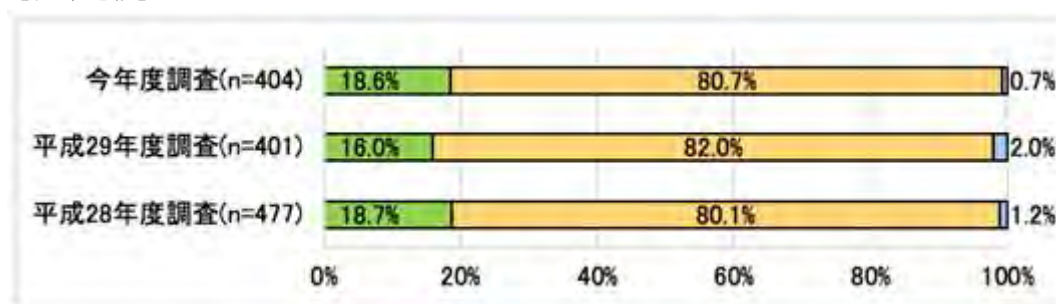
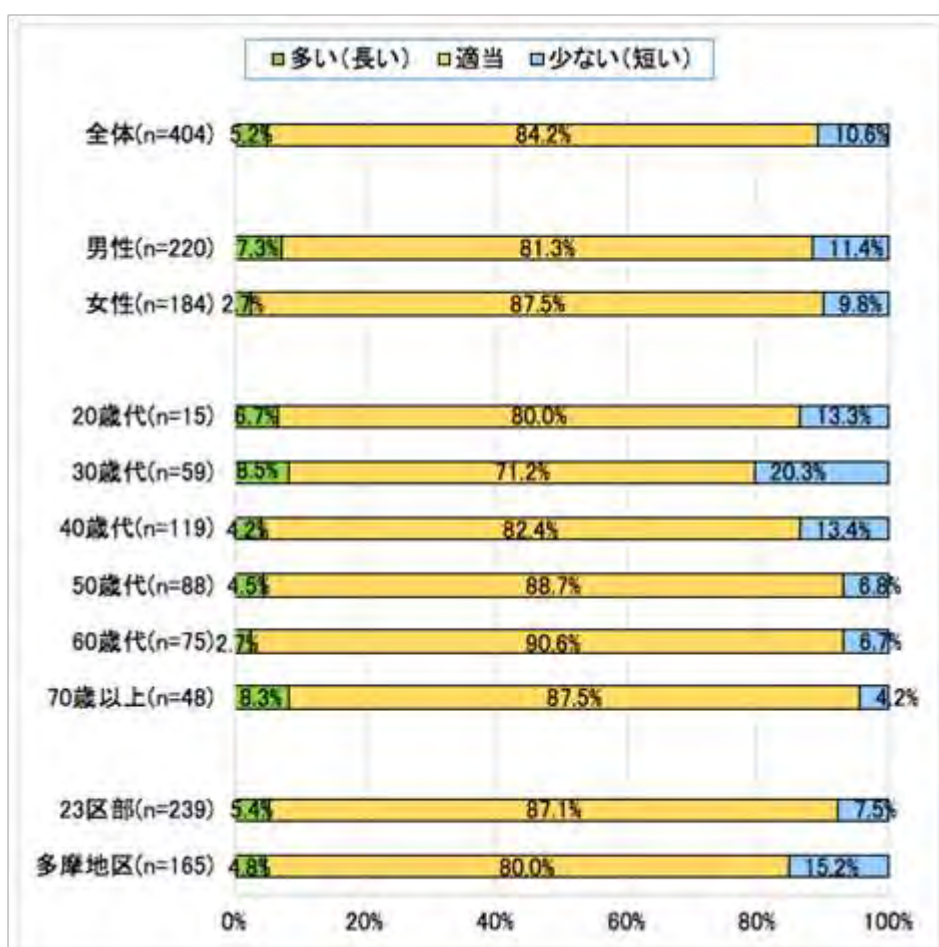


図4-2-1-2 下水道モニターアンケートの頻度【設問数（15～20問）】

4.2.1.3 下水道モニターアンケートの頻度【実施期間（約2週間）】

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度【実施期間（約2週間）】を男女別にみると、「適当」の割合は、男性が81.3%、女性が87.5%となり、女性が男性に比べ6.2ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「適当」の割合は60歳代が90.6%と最も高く、次いで50歳代が88.7%、70歳以上が87.5%となったが、全体的に、年代が上がるとともに「適当」の割合が上昇する傾向が見られた。
- ◆ 地区別にみると、「適当」の割合は23区部が87.1%、多摩地区が80.0%となり、23区部が多摩地区より7.1ポイント高い結果となった。
- ◆ 経年比較でみると、「適当」の割合は年度の違いによる顕著な差は見られなかった。

Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15~20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。（単一回答）



【経年比較】

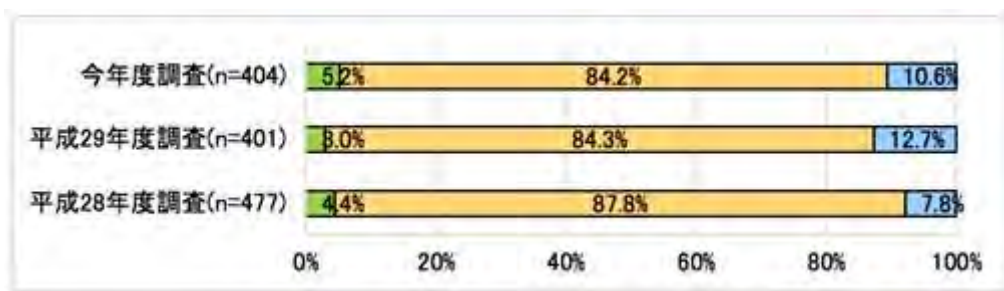
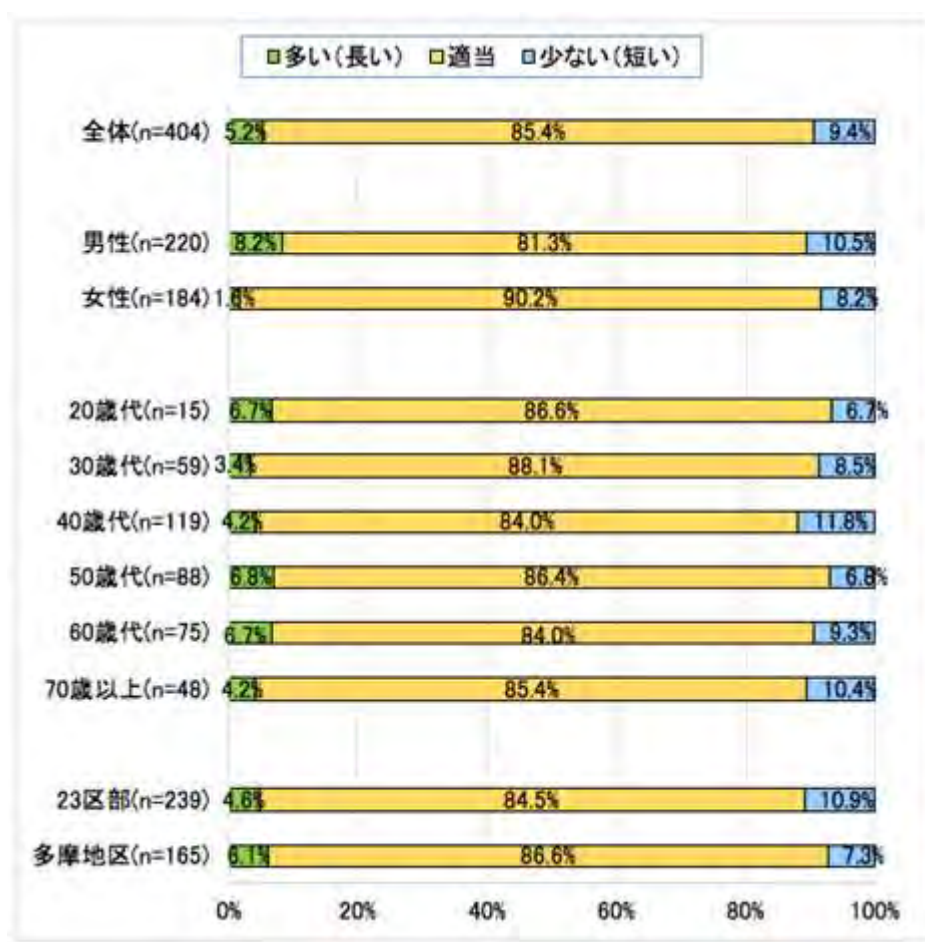


図4-2-1-3 下水道モニターアンケートの頻度【実施期間（約2週間）】

4.2.1.4 下水道モニターアンケートの頻度【実施間隔（約2か月ごと）】

- ◆ 下水道モニターアンケートの頻度【実施間隔（約2か月ごと）】を男女別にみると、「適当」の割合は、男性が81.3%、女性が90.2%となり、女性が男性に比べ8.9ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「適当」では30歳代が88.1%と最も高く、次いで20歳代が86.6%、50歳代が86.4%となったが、どの年代も8割を超える高い割合を示し、年代間で顕著な差は見られなかった。
- ◆ 地区別にみると、「適当」の割合は、23区部が84.5%、多摩地区が86.6%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。
- ◆ 経年比較でみると、「適当」の割合は年度の違いによる顕著な差は見られなかった。

Q11 下水道モニターアンケートは、4回実施しました。設問数は属性に関するものを除きおよそ15～20問、1回あたりの実施期間は約2週間でした。本アンケートの頻度等について、以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。（単一回答）



【経年比較】

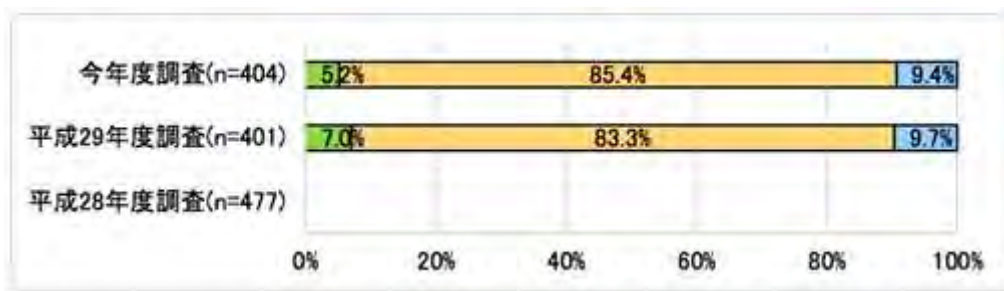
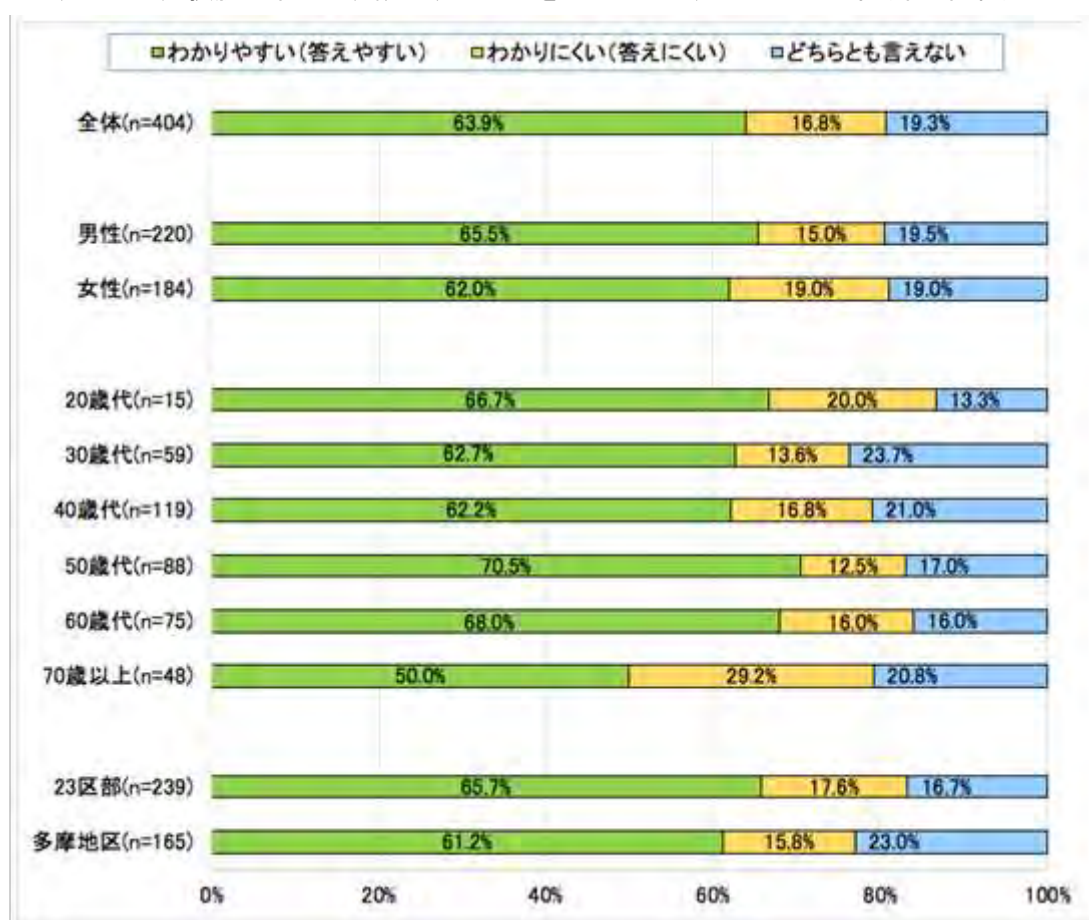


図4-2-1-4 下水道モニターアンケートの頻度【実施間隔（約2か月ごと）】

4.2.2 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ

- ◆ 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさについては、「わかりやすい」が 63.9%、「わかりにくい」が 16.8%、「どちらとも言えない」が 19.3%となった。
- ◆ 男女別にみると、「わかりやすい」の割合は、男性が 65.5%、女性が 62.0%となり、男性が女性より 3.5 ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「わかりやすい」の割合は、50 歳代が 70.5%と最も高く、次いで 60 歳代が 68.0%、20 歳代が 66.7%となった。一方、70 歳以上は 50.0%と低く、今後の課題となった。
- ◆ 地区別にみると、「わかりやすい」の割合は、23 区部が 65.7%、多摩地区が 61.2%となり、23 区部が多摩地区より 4.5 ポイント高い結果となった。
- ◆ 経年比較でみると、「わかりやすい」の割合に顕著な傾向は見られなかった。

Q12 下水道モニターアンケートにおける、アンケートの設問内容のわかりやすさ（答えやすさ）について、以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。（単一回答）



【経年比較】



図4-2-2 下水道モニターアンケートの設問内容のわかりやすさ

4.2.3 下水道モニターアンケートがわかりにくい（答えにくい）理由

- ◆ 下水道モニターアンケートがわかりにくい（答えにくい）理由について、「資料の専門用語や内容が難しい」が18.8%と最も多く、次いで「設問や資料をよく読まないと答えられない/時間がかかる」が17.5%となった。

Q13 上記Q12の中で、「わかりにくい（答えにくい）」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答えください。（自由回答）

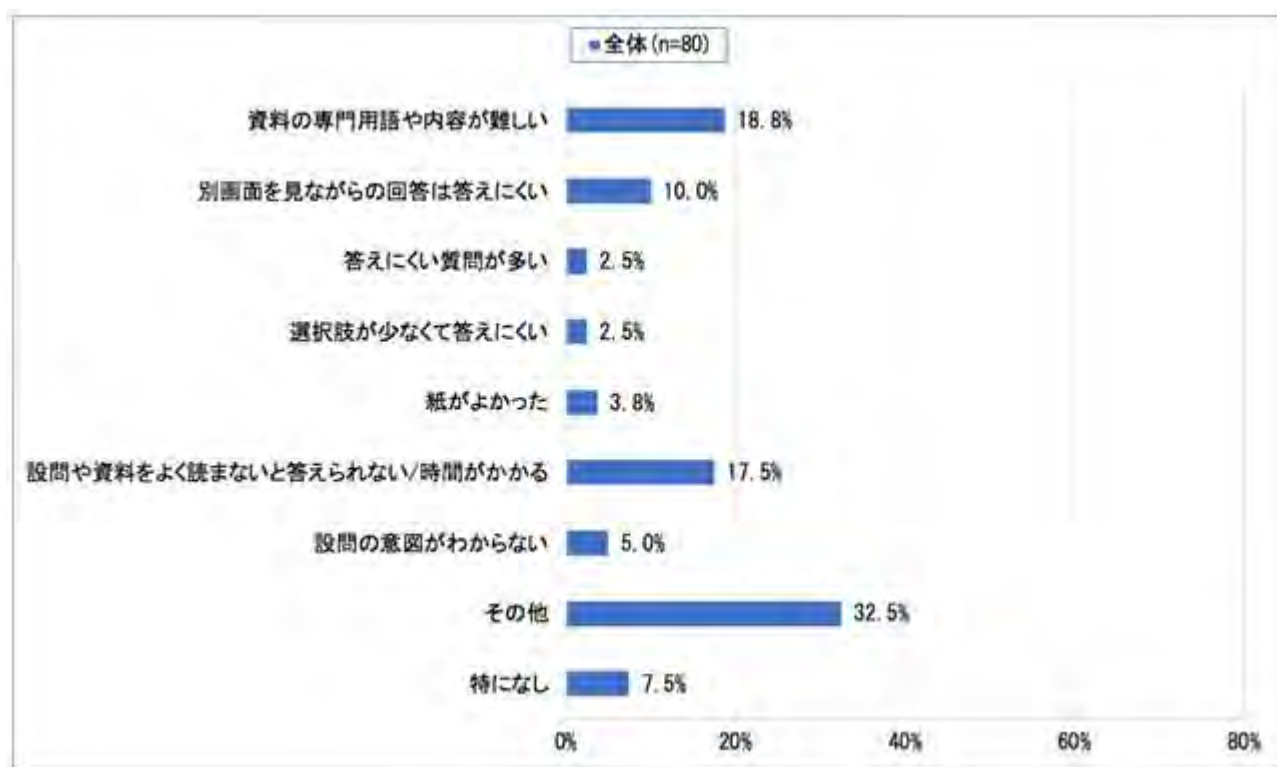


図4-2-3 下水道モニターアンケートがわかりにくい（答えにくい）理由

表4-2-3 その他のわかりにくい（答えにくい）理由

No	内 容
1	文字が多すぎる。
2	アンケートがいつ行われているのかがわかりにくいと思いました。今回もアンケートを受け付けているのがあとから分かり、やや慌てました。
3	レポートのデザインが悪く、字も細かく読みづらい。
4	アンケートの項目ごとに理解・評価・期待できるかと質問してくれた方が、より答えやすい。
5	施設見学会に参加したことでアンケートの設問についてわかりやすくなった。施設見学もセットにしてほしい。
6	理解度を問う質問は主観で回答できたが、単一回答の部分で基準に困ることがあった。
7	誘導的質問が多い。
8	設問について考えさせると感じたから。
9	回答のために見なければいけないサイトのページの内容の良しあしより、そのページまでたどり着いて見る人がいるのか、気になります。わざわざダウンロードしてまで見たいと思いがどれだけいるのでしょうか。
10	長い報告書を読む場合は、モニター期間の予告をしてあらかじめ文書を送ってほしい。モニター依頼メールはそのような分かりやすい件名で送ってほしい。
11	「どちらとも言えない」にしたのですが、確か最初の頃は、「これからやりますよ」というメールが来ていた気がします。しかし、今回は「第4回下水道モニターアンケートの実施について 12月3日（月）から第4回下水道モニターアンケートを実施します」というメールを12月11日に受け取りました。もっと早く知らせてくれるか、あるいは、「今日から2週間です」というメールにしてくれないと、「答える時間」が足りません。また、今回に関しては、「読むべきもの」を先に配布してほしかったです。
12	何となく答えに窮してしまう。何故なのか。文章が細かすぎるからでは。
13	できれば記述式（自由回答）部分にひと工夫頂きたい。どの程度読まれて、どのような統計となり、どのように活用いただけるのかがイマイチ不明瞭。
14	ホームページをもう少し身近に感じられると閲覧する人も増えると思う。
15	ものによる。
16	多分、回答者に専門技術者は少ないと思われるが、「下水」とは何か、そしてそれに掛かる費用対効果はどのようなものか、を明確にできないものか。今後、水道法の改悪は下水道に及ばないことを望む。ライフラインを民間委託するなどは絶対に避けなければならない。
17	端的に整理して質問してほしい。内容を短く簡素な質問にしてもらいたい。

4.2.4 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価

- ◆ 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価について、
- ◆ 1.【メールマガジン】では、「極めて高い評価」と「やや高い評価」を合わせた『高い評価』が62.9%、「どちらとも言えない」が32.9%、「やや低い評価」と「極めて低い評価」を合わせた『低い評価』が4.2%となった。
- ◆ 一方、「2.【施設見学会】」では『高い評価』が62.4%、「どちらとも言えない」が32.9%、『低い評価』が4.7%となった。

Q14 下水道モニターでは、下水道局の事業施策の評価等をうかがうアンケートにご回答いただくほか、下水道モニターの皆さまに向けたメールマガジンの配信や、施設見学会の実施により、下水道事業に広く関心をもっといただく取組も行っています。メールマガジン及び施設見学会について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

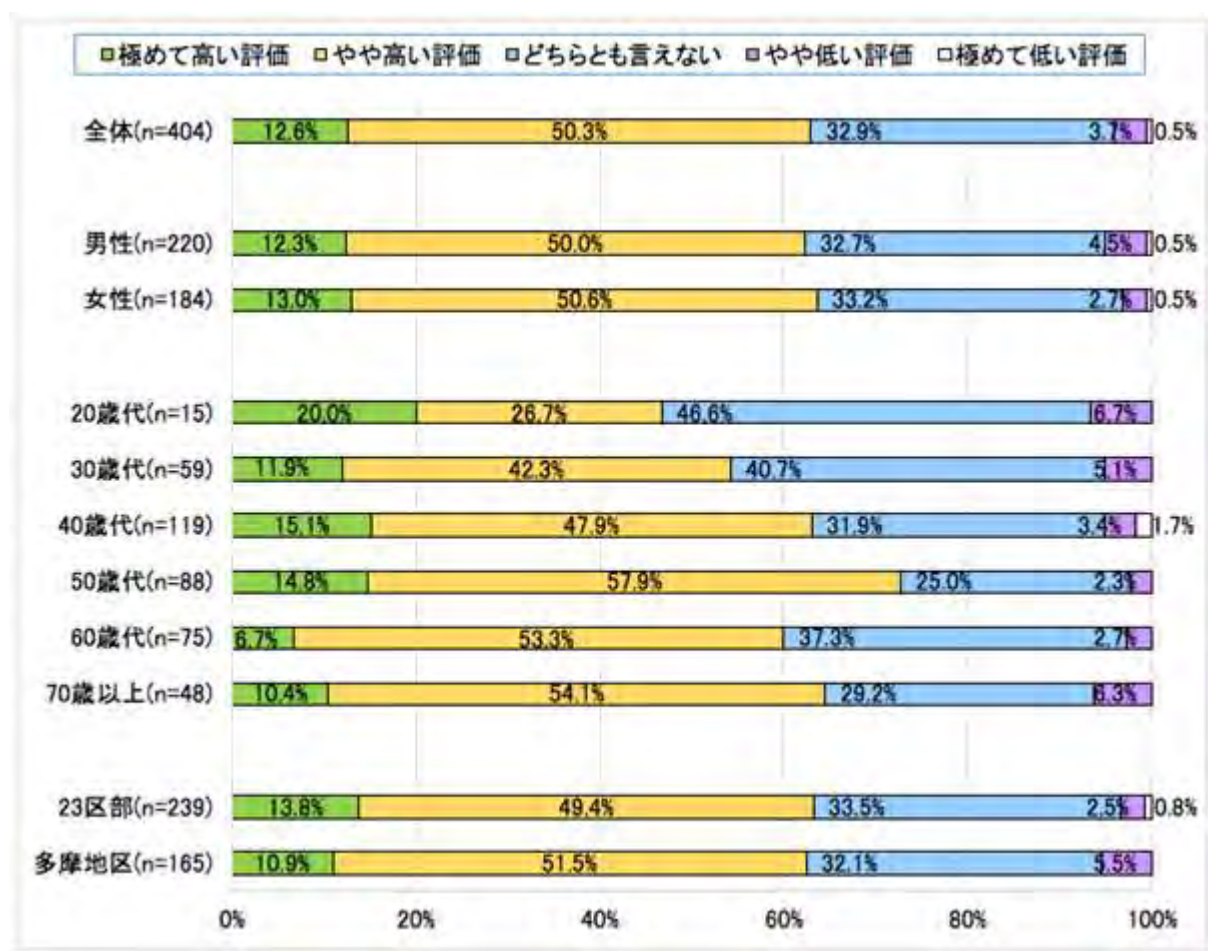


図4-2-4 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価

4.2.4.1 【メールマガジン】への評価

- ◆ 【メールマガジン】について男女別にみると、『高い評価』では、男性が62.3%、女性が63.6%となり、女性と男性で顕著な差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』では50歳以上が72.7%と最も高く、次いで70歳以上が64.5%、40歳代が63.0%となった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』では23区部が63.2%、多摩地区が62.4%となり、23区部と多摩地区で大きな差は見られなかった。
- ◆ 経年比較でみると、今年度の『高い評価』の値は平成29年度調査に比べ4.7ポイント減少した。

Q14 メールマガジン及び施設見学会について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

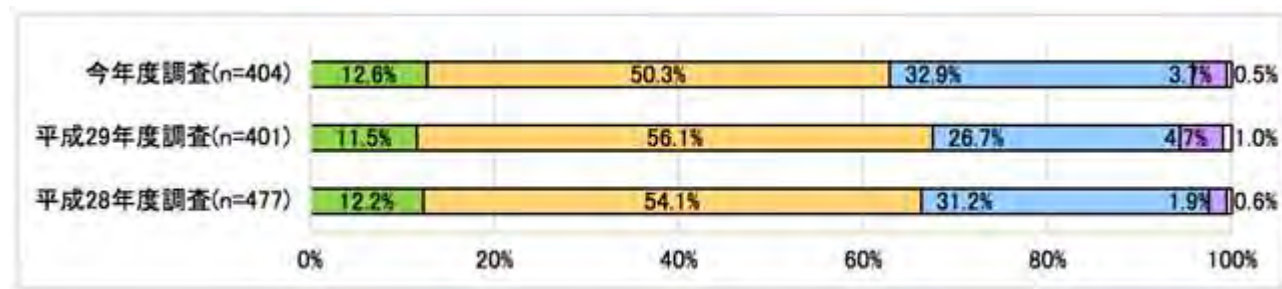
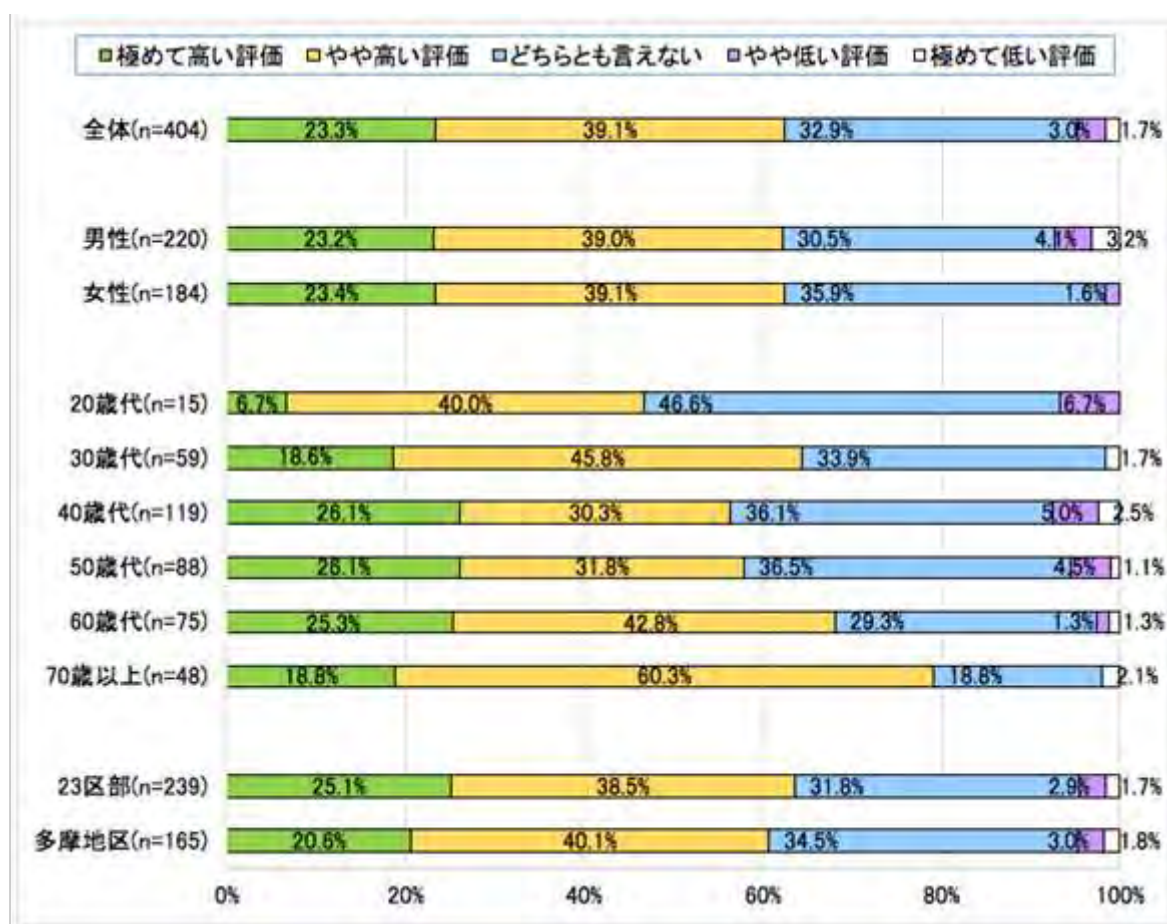


図4-2-4-1 下水道事業に広く関心をもつていただくための取組への評価【メールマガジン】

4.2.4.2 【施設見学会】への評価

- ◆ 【施設見学会】について男女別にみると、『高い評価』では男性が62.2%、女性が62.5%と、大きな差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『高い評価』の割合は、年代が上がるに従い上昇する傾向が見られ、70歳以上が79.1%と最も高かった。
- ◆ 地区別にみると、『高い評価』の割合は、23区部が63.6%、多摩地区が60.7%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。
- ◆ 経年比較でみると、『高い評価』の割合は、年々低下する傾向が見られた。

Q14 メールマガジン及び施設見学会について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)



【経年比較】

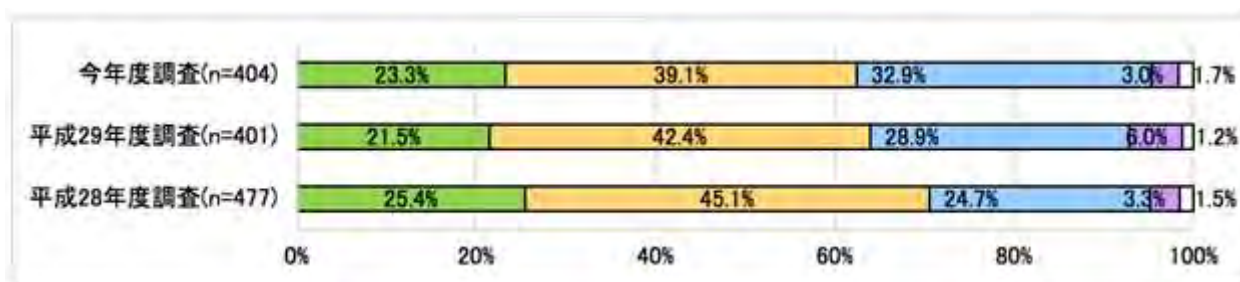


図4-2-4-2 下水道事業に広く関心をもっていたいただくための取組への評価【施設見学会】

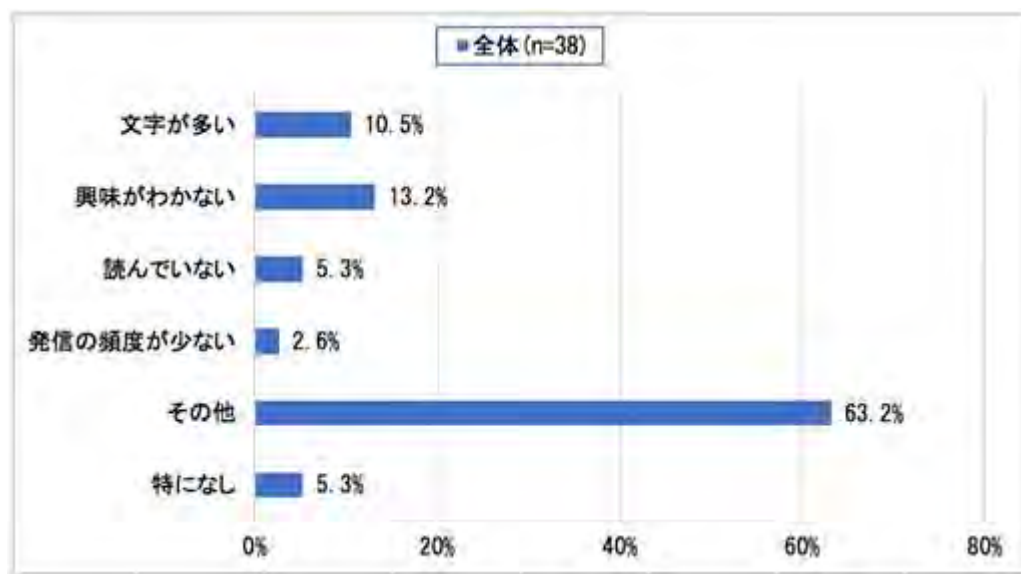
4.2.5 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価が低い理由

- ◆ 【メールマガジン】の評価が低い理由は、「興味がわからない」が 13.2%と最も高く、次いで「文字が多い」が 10.5%となった。
- ◆ 【施設見学会】にて評価が低い理由は、「都合がつかず参加できなかった」が 26.4%と最も高く、次いで「参加していない」が 18.9%となった。

Q15 上記Q14の中で、「やや低い評価」「極めて低い評価」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答えください。（自由回答）

- (1) メールマガジン ()
 (2) 施設見学会 ()

【メールマガジン】



【施設見学会】

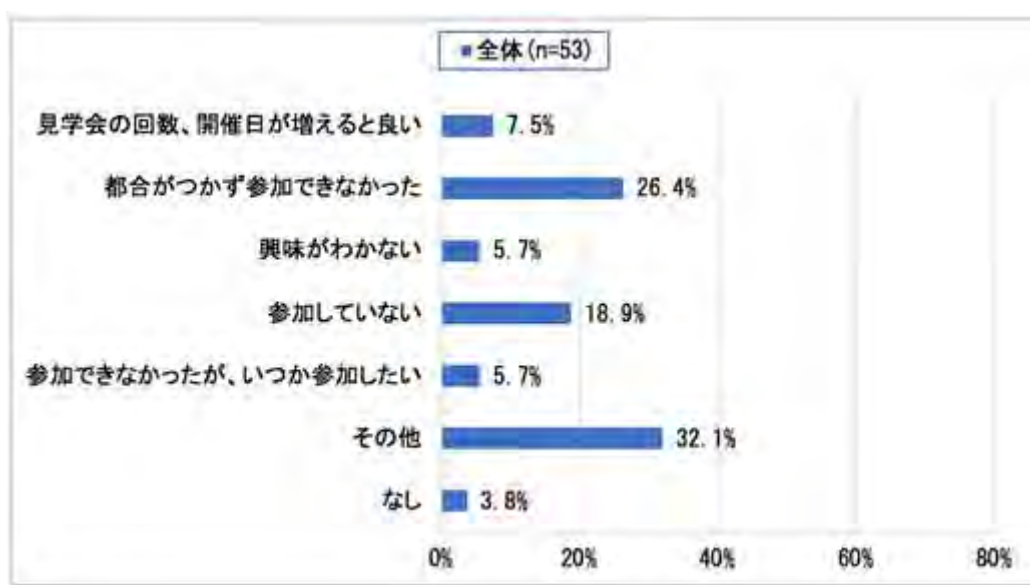


図4-2-5 下水道事業に広く関心をもっといただくための取組への評価が低い理由

表 4-2-5 下水道事業に広く関心をもっていただくための取組への評価が低い理由（その他）

【メールマガジン】

No	内 容
1	楽しかった。
2	少し砕けた記事があってもよい。
3	今まで知らなかったイベントなどを知ることができた。
4	毎回きちんと読んだから。
5	意外と興味を持って読めた。
6	市民に向けて読みやすいよう、理解しやすいように砕いて説明がしてあるので好感が持てます。
7	情報発信することに意義があると思うから。
8	広報努力していると思う。
9	リンクをたどるのは厄介。メルマガで読む内容になっているとありがたい。
10	まめに整理されているから。
11	下水道のことを知るきっかけになったから。
12	情報共有には有効な手段だと思う。
13	配信されれば読んでいました。
14	実際にどれくらいの人が真面目に読んでくれているかわからないから。
15	良いアナウンスだった。
16	長くまとめたメールではなく、短いメール、中身は一つなど、を何回も送ってもらったほうが読みやすい。
17	似たような内容だった。PDFが開かなかった。
18	ダイレクトに届いて分かりやすかったから。
19	ペーパーレスの時代だが、事業施策を評価する立場からは、やはり紙の資料が必要ではないか。

【施設見学会】

No	内 容
1	今、スマホ等での個人の発信が盛んなことを考慮すれば、施設見学会はかなり有用だと思う。
2	友人が行きましたが、とても良かったと聞きました。どんどんやってほしい。
3	他の自治体ですが、子供の頃に下水をどう処理しているかの見学会があり、とても記憶に残っているから。
4	実際に見ることの効果を感じた。実際に見て、仕組みがどのようになっているのかわかるから。
5	是非、参加すべき。下水道の仕事への関心と視野が格段に飛躍しました。
6	食事があってもよいのではないか。お迎えがない。餌がない。
7	現場を見られるのはよい。実際に見ないとわからない。
8	施設については、こんなところでこういう作業を行っているということがわかりました。
9	見学会についても報酬をつけるべきだと思います。
10	わかりやすく丁寧な対応で質問にも優しく答えていただけた。良い印象を持ちました。
11	「下水道」はやはり施設を見なければダメだと思う。見学を超えた理解が必要。
12	子供が参加するものばかりで、参加対象になるイベントがなかったから。

4.2.6 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について

- ◆ 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について、「適当である」の割合が 86.7%と最も高く、次いで「少ない」が9.9%、「必要ない」が2.2%、「多い」が1.2%となった。
- ◆ 男女別にみると、「適当である」の割合は、男性が84.5%、女性が89.1%となり、女性が男性に比べ4.6ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、どの年代も「適当である」の割合が8割を超えたが、中でも60歳代が93.4%と最も高く、次いで70歳以上が89.6%、50歳代が87.5%となり、50歳代以上で高い結果であった。
- ◆ 地区別にみると、「適当である」の割合は、23区部が87.9%、多摩地区が84.9%となり、23区部が多摩地区より3.0ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 経年比較でみると、「適当である」の割合に顕著な傾向は見られなかった。

Q16 下水道モニターでは、すべてのアンケート終了時にアンケートの回答数に応じ、謝礼として1回あたり「500円の図書券」を贈呈しています。謝礼について、以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選びください。(単一回答)



【経年比較】

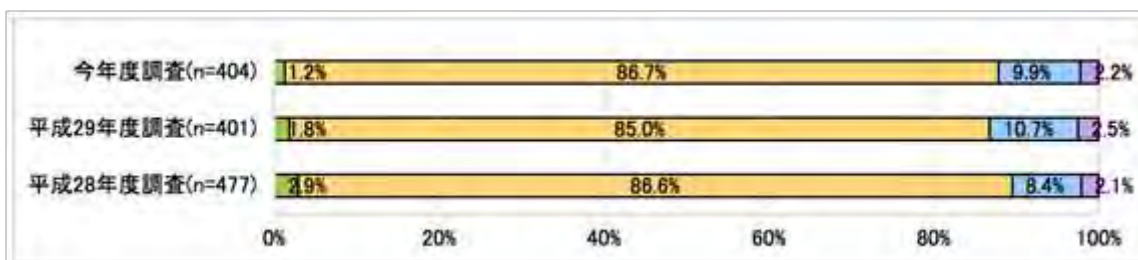


図4-2-6 下水道モニターアンケート終了時の謝礼について

4.2.7 下水道モニターになってからの意識や行動の変化

- ◆ 下水道モニターになってからの意識や行動の変化について、「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」の割合が56.2%と最も高く、次いで「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」が50.5%、「使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった」が39.6%となった。
 - ◆ 男女別にみると、「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」は、男性が51.8%、女性が61.4%となり、女性が男性より9.6ポイント高かった。また、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」では男性が48.6%、女性が52.7%となり、女性が男性より4.1ポイント高く、「海や川を見る時、「下水道」を意識するようになった」でも、男性が37.7%、女性が40.8%と、女性が男性より3.1ポイント高いなど、意識や行動変化として回答割合が高かった項目では、男性に比べ女性の割合が高い傾向がみられた。
 - ◆ 年代別にみると、「油汚れの多い皿や鍋は、洗う前に紙や布などで拭き取るようになった」では70歳以上の割合が68.8%と最も高く、次いで20歳以上が66.7%であった。「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」では70歳以上の割合が68.8%と最も高く、次いで50歳代と60歳代が52.3%、52.0%となり、「使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった」では70歳以上の割合が45.8%と最も高く、次いで30歳台が44.1%となった。また、「海や川を見る時、「下水道」を意識するようになった」では70歳以上の割合が64.6%と最も高かった一方、30歳代は16.9%と最も低い結果となった。
 - ◆ 地区別にみると、「雨や台風などの話題を見聞きした際、「下水道」を意識するようになった」の割合は、23区部が52.3%、多摩地区が47.9%となり、23区部が多摩地区より4.4ポイントと若干高く、「使い終わった油は、そのまま下水に流さなくなった」でも、23区部が41.0%、多摩地区が37.6%と、23区部が多摩地区より3.4ポイント高かった。一方、「トイレの水を流すときは、「大」と「小」を使い分けるようになった」の割合は、23区部が29.7%、多摩地区が32.7%となり、23区部が多摩地区より3.0ポイントと若干低い結果となった。
-

Q17 生活排水についての行動様式のうち、あなたが下水道モニターになって、意識や行動に特に変化があった事項はありますか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選びください。(複数回答)

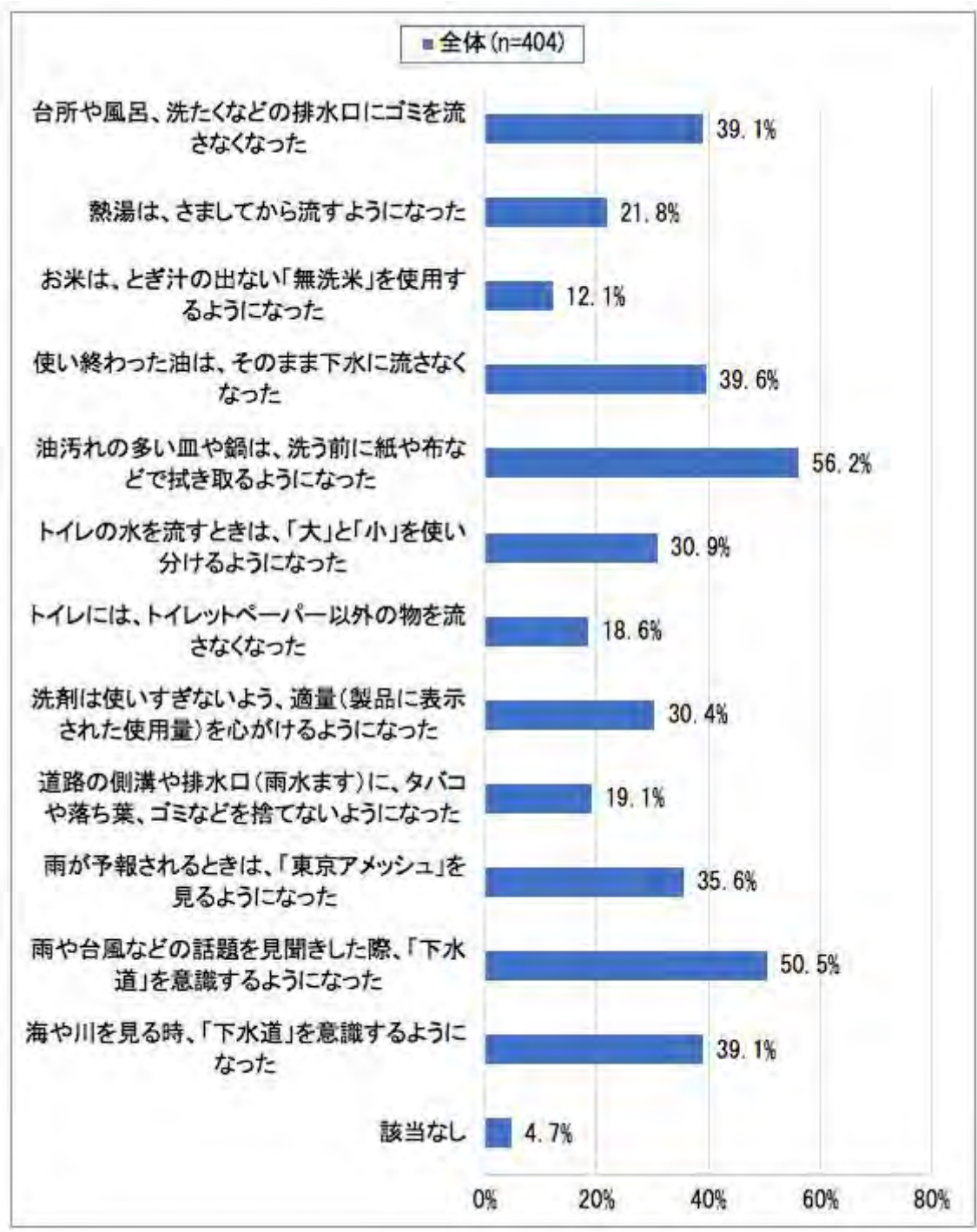


図 4-2-7 下水道モニターになってからの意識や行動の変化 (全体)

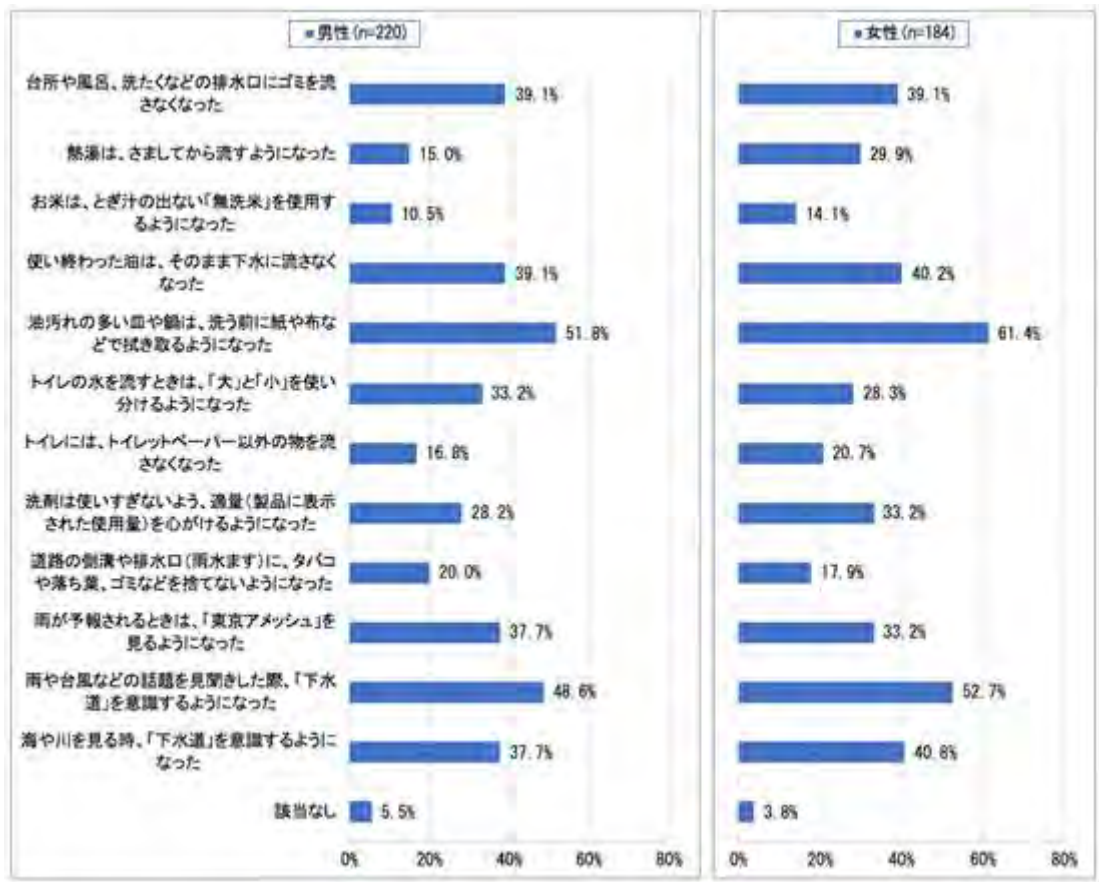


図 4-2-7-1 下水道モニターになってからの意識や行動の変化（性別）

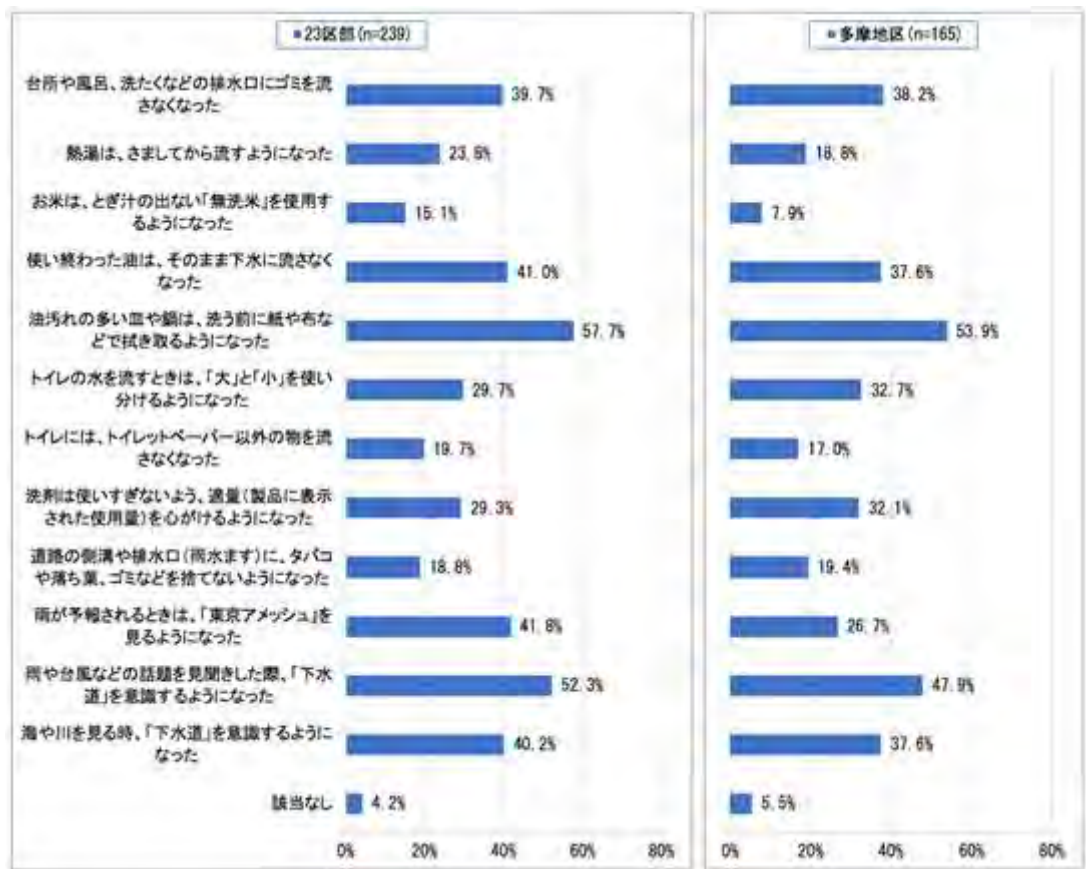


図 4-2-7-2 下水道モニターになってからの意識や行動の変化（地区別）

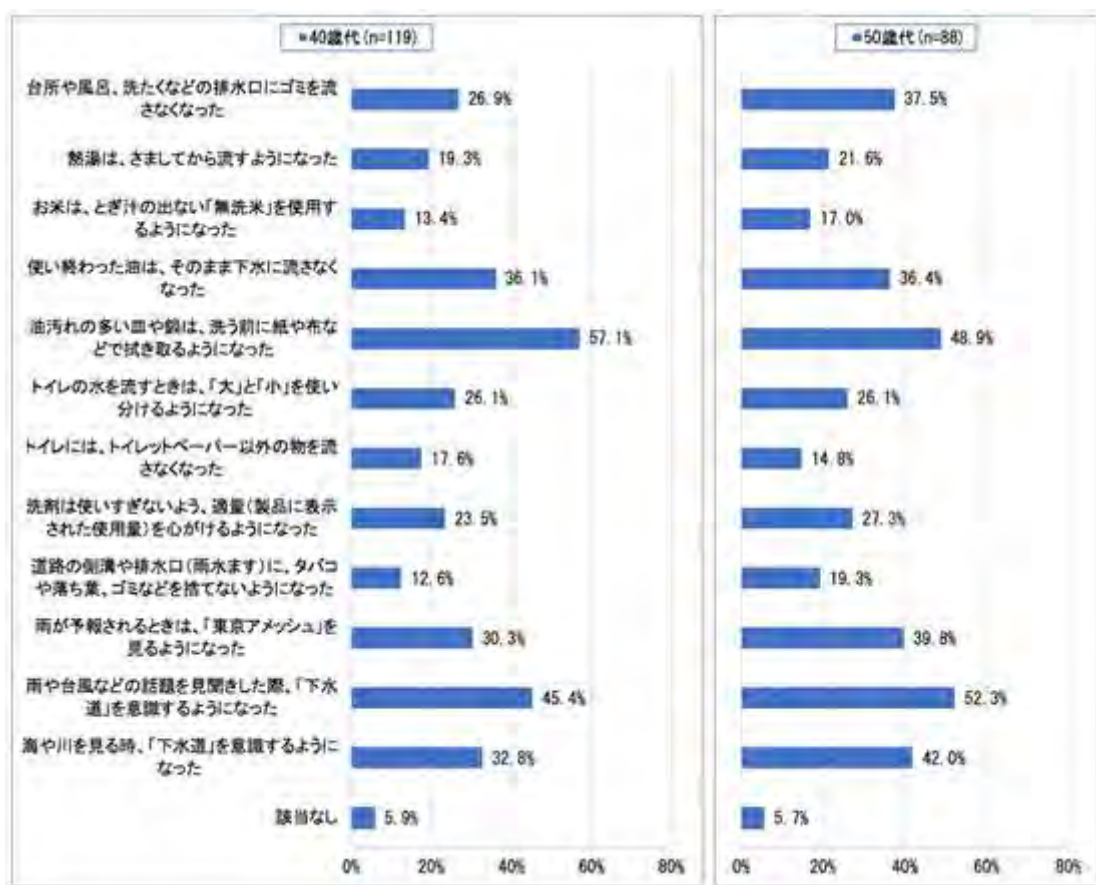
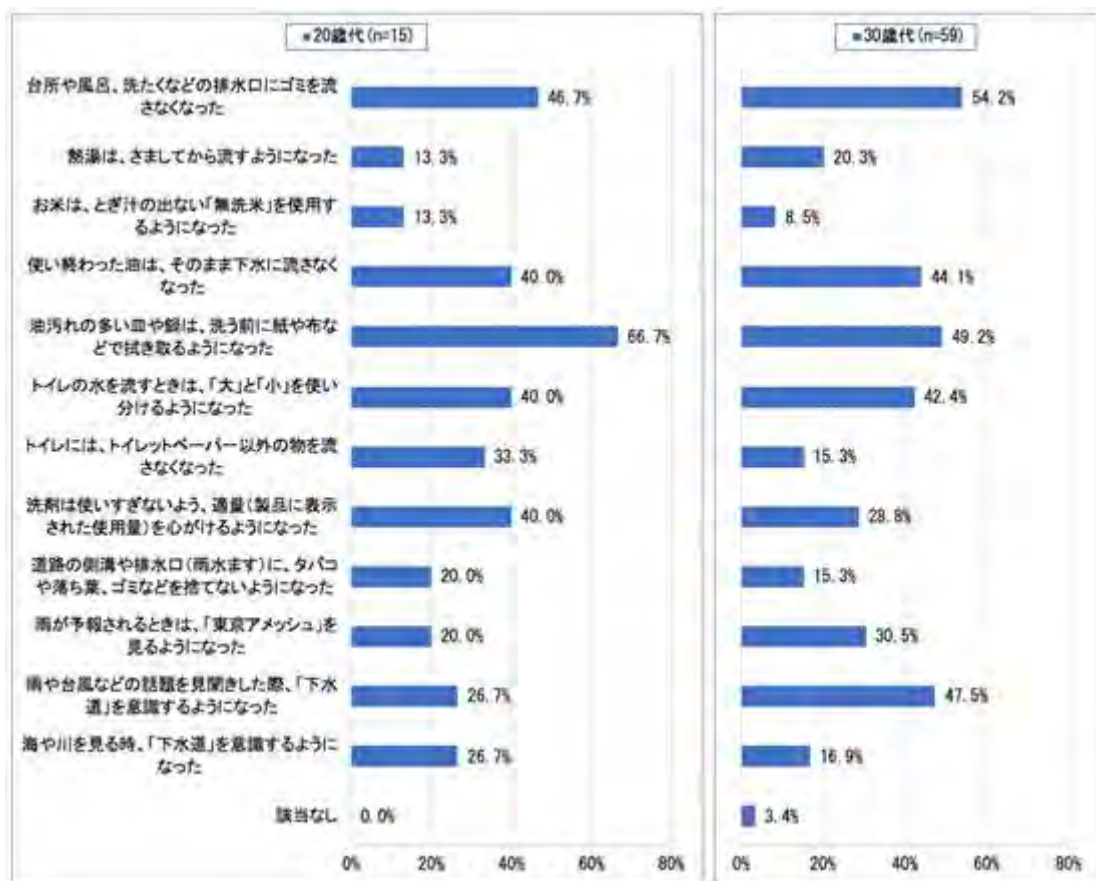


図 4-2-7-3 下水道モニターになってからの意識や行動の変化(年代別その1)

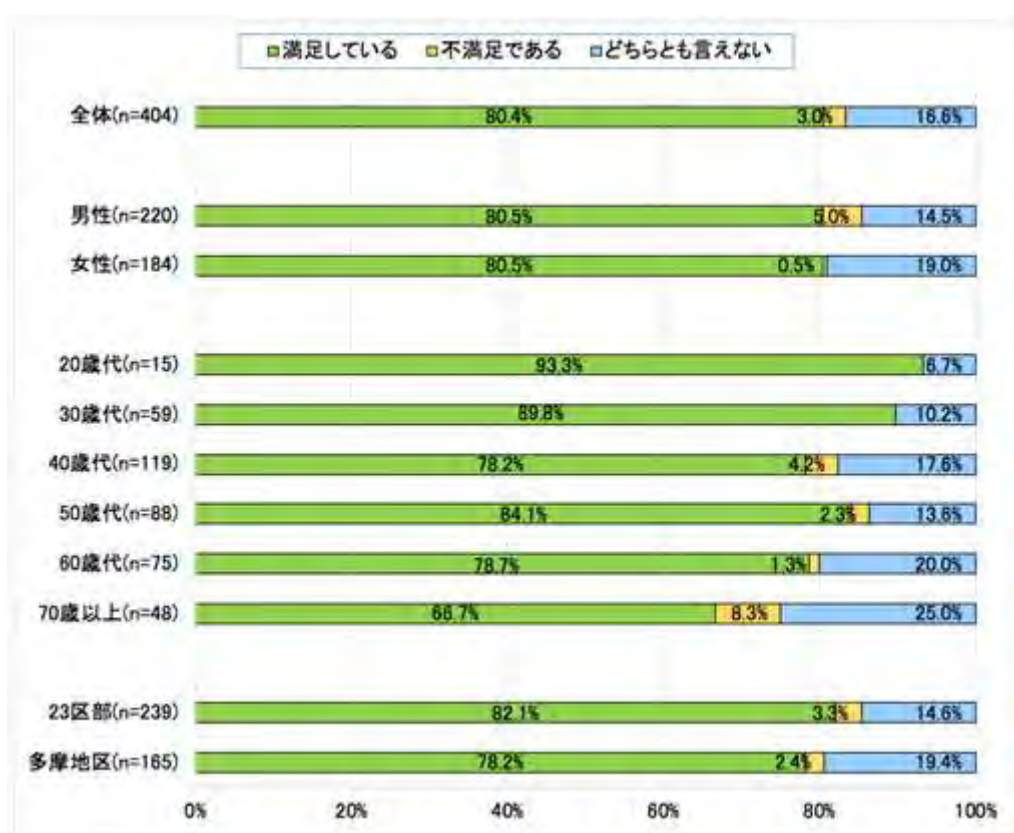


図4-2-7-4 下水道モニターになってからの意識や行動の変化(年代別その2)

4.2.8 下水道モニターの感想

- ◆ 下水道モニターの感想について、「満足している」が80.4%、「不満足である」が3.0%、「どちらとも言えない」が16.6%となった。
- ◆ 男女別にみると、「満足している」では男女とも80.5%となった。
- ◆ 年代別にみると、「満足している」の割合は20歳代が93.3%と最も高く、次いで30歳代が89.8%、50歳代が84.1%となった。
- ◆ 地区別にみると、「満足している」の割合は、23区部が82.1%、多摩地区が78.2%となり、23区部が多摩地区より3.9ポイントと若干高い結果となった。
- ◆ 経年比較でみると、「満足している」の割合に年度による大きな違いは見られなかった。

Q18 下水道モニターの感想として、以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選びください。(単一回答)



【経年比較】

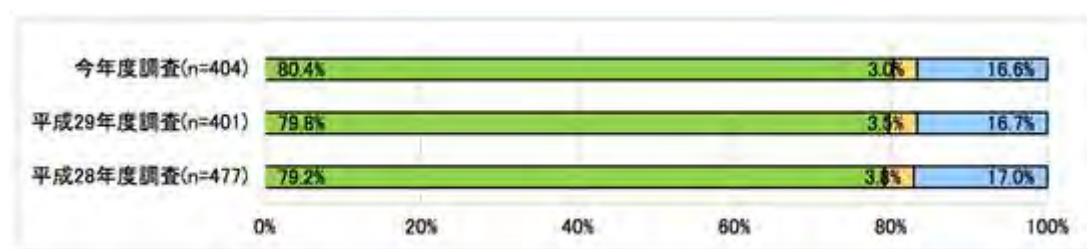


図4-2-8 下水道モニターの感想

4.2.9 下水道モニターに関する感想や意見

- ◆ 下水道モニターに関する感想や意見では、「下水道について関心・興味を持つようになった」の割合が12.0%と最も高く、次いで「勉強になった」が11.6%、「下水道について知ることができてよかった」が11.2%となった。

Q19 上記Q18の中で、具体的にどのような感想をお持ちですか。ご自由にお答えください。(自由回答)

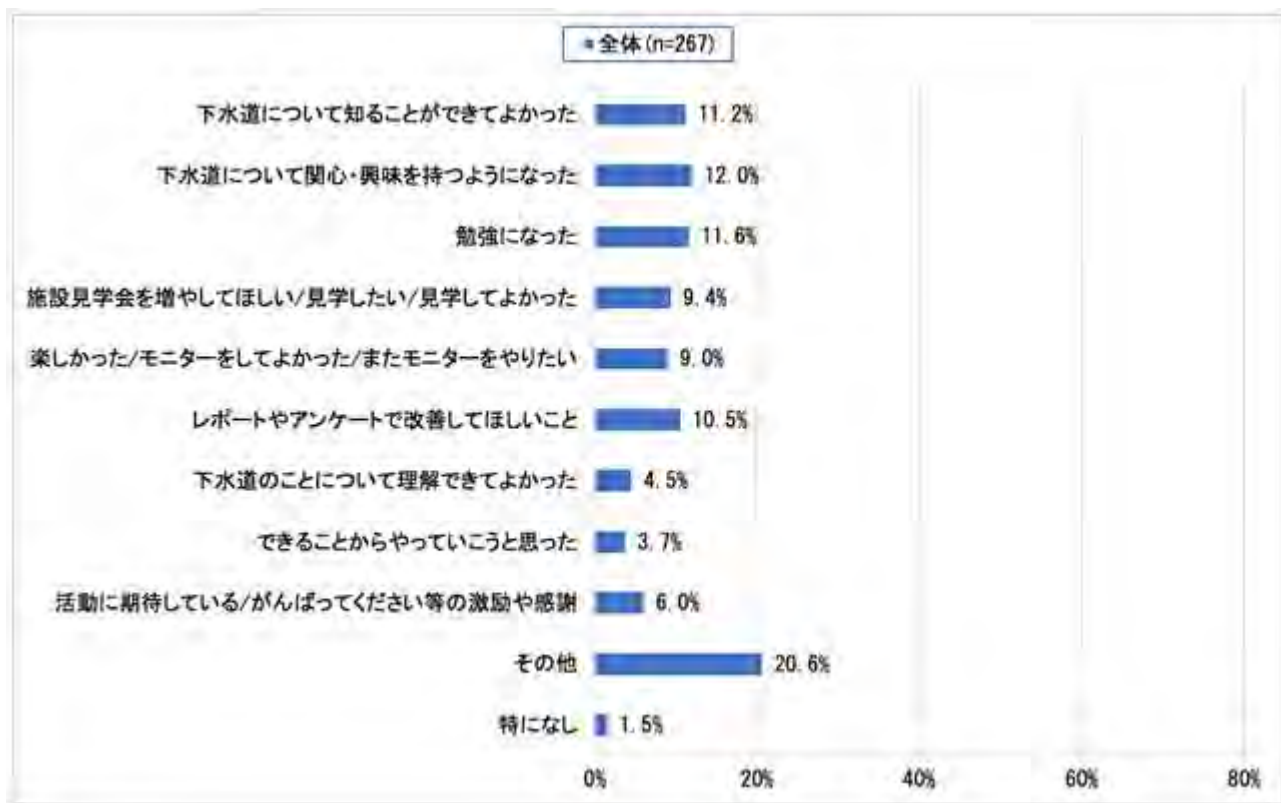


図4-2-9 下水道モニターに関する感想や意見

【下水道モニターに関する感想や意見】

➤ 下水道について知ることができてよかった

- ◇ 上水に比べて、意識の低さがあったことは、否定できません。特に下水処理場の見学は、水の大切さを知り、もっと社会投資の必然性を知りました。(70歳以上男性・多摩地区)
- ◇ このモニターによって、いかに自分が下水道事業や下水道の仕組みを理解していなかったかを、痛感させられました。多くの事柄を知ることが出来ました。ありがとうございました。(70歳以上男性・23区部)
- ◇ 下水道に関する色々な知識を得ることが出来、又、自身の生活の中で役立てることが出来たので本当に良かったです。ありがとうございました。(50歳代男性・23区部)

➤ 下水道について関心・興味を持つようになった

- ◇ 今まで下水道についてあまり興味がなかったが、モニターに参加したことで知らなかったことを知ることができた。私達が安心して生活していくための環境作りに下水道が日々、縁の下の力持ちとして頑張っていることに改めて気付いた。これを機会にこれからも下水道に興味を持ち続け、応援していきたいと思う。(40歳代女性・23区部)
- ◇ 今まであまり関心がなかった下水道のことをよく知るきっかけになり、今後も普段の生活の中で気にするようになると思うので良かったです。家族と話すようになり、周りにも広げていきたいです。(40歳代男性・23区部)
- ◇ 下水道は見えにくい所なので、以前はほとんど関心がありませんでした。しかし、昨今の大雨や津波による災害のひどさで、関心を向けるようになりました。よく、わざわざ下水道に汚水や油を流したり、たばこの吸い殻や道路のゴミを下水に投げ落としたりする光景を見ることがありました。これは環境に対して大変悪いことだということを確信できました。難しいことは理解しにくいですが、普段の生活でマナーとして知っておくべきことくらいは、もう少し一般に宣伝してみてもいいと思います。(70歳以上女性・23区部)

➤ 勉強になった

- ◇ 生活排水などが、どのようにして、どこへいくのか、どのような対策や施策が取られているのか、といったことなどが勉強になりました。都会の地下は[ものすごい]ものがあるものだと驚いております。これからも、よろしく願いいたします。(60歳代男性・23区部)
- ◇ 興味があつたが、知らないことを知ることができて非常に勉強になった。これを機に上下水道の取組みにも目を向けるようになった。今後も興味をもち、他の市民も汚染や環境、資源について考えるようになってほしい。何かできることをやっていきたいと思ひます。ありがとうございました。(50歳代女性・多摩地区)
- ◇ これまで下水道に関心をもつことなく生活していたが、下水道事業について読めば読むほど日々の安全な暮らしがあるのはこういった事業のおかげであることが分かり、いまさらながら勉強になった。(40歳代女性・23区部)

- 施設見学会を増やしてほしい/見学したい/見学してよかった
 - ◇ 下水処理場の見学で、微生物の活躍を見たことは非常に参考になった。微生物にとって有害なものは流さないよう注意するようになった。より多くの人に、見学する機会を与えたいものである。(70歳以上男性・多摩地区)
 - ◇ 施設見学会がよかったです。こういった機会がないと見られないような施設でしたので！(40歳代男性・多摩地区)
 - ◇ 南多摩水再生センターに個人として、また見学会として行きました。過去に下落合の水再生センターに行きました。もっとあちこちの水再生センターを見て、更に関心を持ち、感想などを身近な人、関心を持つ人に伝えたいです。(60歳代男性・23区部)

- 楽しかった/モニターをしてよかった/またモニターをやりたい
 - ◇ モニターをして、下水道について身近に感じ、水を大切に思うようになりました。忘れないように時々思い出そうと思います。またモニターなどがあれば応募したい。(40歳代女性・23区部)
 - ◇ モニターになることにより、下水道に関する記事、事業をより身近に感じ、かつ、折に触れホームページを観る機会を持た。モニターになるまでは、なかなか積極的にホームページを観る機会は無かったので。(60歳代男性・23区部)
 - ◇ 今まで下水道のことを意識して生活することはあまりなかったが、モニターになったことがきっかけで少し知識がつき、関心を持って生活できるようになった。今後も機会があれば、またモニターをやってみたいと思った。(50歳代女性・多摩地区)

- レポートやアンケートで改善してほしいこと
 - ◇ 忙しくて、下水道モニターメールマガジンを後から見たところ、アンケートの案内が入っていて回答期間を過ぎていたことがあった。メールマガジンのタイトル冒頭に「回答期限●月●日」とか「第●回回答結果報告」といった文字列を入れてくれるとありがたい。(30歳代男性・23区部)
 - ◇ Q17の質問は、ほとんどが従来から行っている事ばかりなので「該当なし」とした訳で、今回モニターをして始めて知った人だけが答えるような問いかけにすべきです。(70歳以上男性・23区部)
 - ◇ 割とざっくりとした質問が多かったので、アンケート結果が本当に活かせるのか疑問に思った。もっと意見を掘り下げる質問をした方が有益だと思う。(30歳代女性・多摩地区)

- 下水道のことについて理解できてよかった
 - ◇ 水というところから上水道を考えるが、下水道モニターになり当局の情報に接したり、施設を見学する貴重な機会が与えられ、安心して暮らせる都民生活も下水道が支えている部分大きいことを改めて理解できたこと。(70歳以上女性・23区部)
 - ◇ 下水道行政がよく理解できたこと、日常において自然環境を意識して生活するようになったことがとても有意義だったと思います。是非とも次世代の子どもたちにも下水道に関心をもってほしいと思います。(50歳代男性・23区部)
 - ◇ 下水道局の活動は目立たないが、アンケートを通じて、どのような考えで、どのような計画が進行中なのかよく理解できた。また、下水道を意識するきっかけになっている。(50歳代男性・多摩地区)

➤ できることからやっつけていこうと思った

- ◇ 杉並の下水施設も見学でき、都が相当力を入れていることが分かり、私も微力ですが汚れた下水をできるだけ流さないようにこれからも気を付けていきたいです。(60歳代男性・多摩地区)
- ◇ 下水道の大切さについて再認識しました。油を紙で拭き取って下水に流さないようにするなど、日常で気をつけられることを継続していこうと思いました。(40歳代女性・多摩地区)
- ◇ 上下水道の安全を維持し、環境を守るために大変な苦勞をしているのだなと感じました。
- ◇ 出来る限り節水をし、排水に気を付けていこうと思いました。(50歳代女性・23区部)

➤ 活動に期待している/がんばってください等の激励や感謝

- ◇ 皆さんの努力でいつでも安心安全なお水を使わせて頂きありがとうございます。一人一人がモニターを通して理解しり得たことを、生活に大切に活かしていきたい。(70歳以上女性・多摩地区)
- ◇ 豪雨の日は不安になりがちだったけれど、モニターを通して下水道局の方たちが頑張っていることを知ってからはあまり落ち込んだ気分にならなくなったように思います。下水道局によるものに限らず、あらゆる工事風景を見かけるたびに「今日も頑張ってくれているな」と安心やうれしさを感じるようになりました。(20歳代女性・23区部)
- ◇ 下水道局の皆さんが災害対策や資源活用など、絶え間ない努力をされていることに敬意を表します。三河島の施設見学に参加させていただきましたが、日本の歴史ある貴重な遺産をいつまでも大切に保存していただき、後世へ引き継いでいただきたいです。(40歳代男性・23区部)

➤ その他

- ◇ 日常生活で下水ってあまり意識しなかったが、それは下水のシステムが良くできているからだと思った。今問題になっている上水道管の老朽化問題、下水管は大丈夫なのだろうか。(40歳代男性・多摩地区)
- ◇ もともと、油汚れの皿は紙で拭き取っていました。防災や震災や省エネまでも網羅されていたことがびっくりです。もっと、その辺もアピールしてもいいでしょう。(50歳代女性・23区部)
- ◇ 子ども達に向けて、下水道についての理解を深める取り組みが増えると良いなと思います。小さい頃からの教育が大切だと考えます。(40歳代女性・23区部)